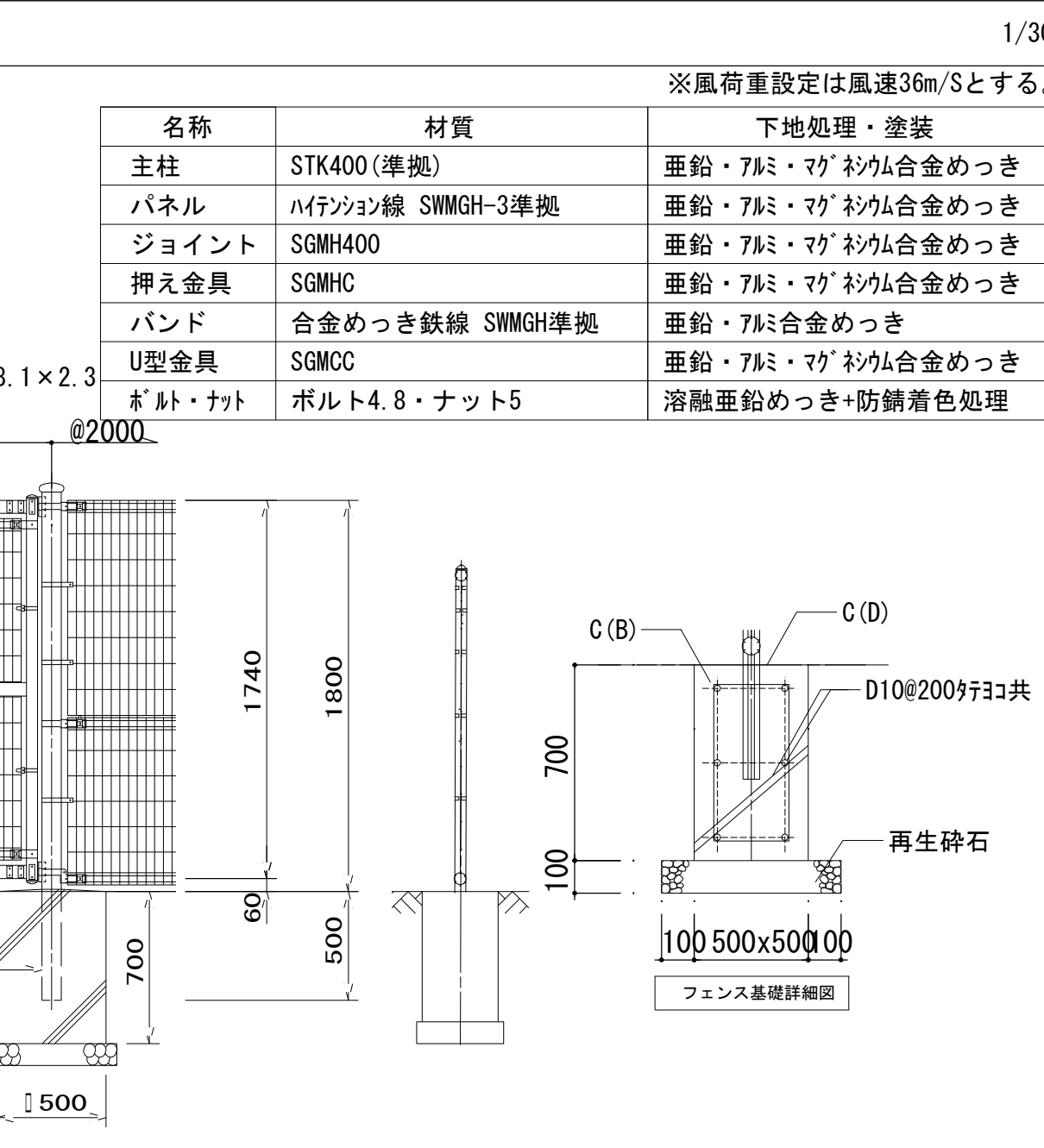
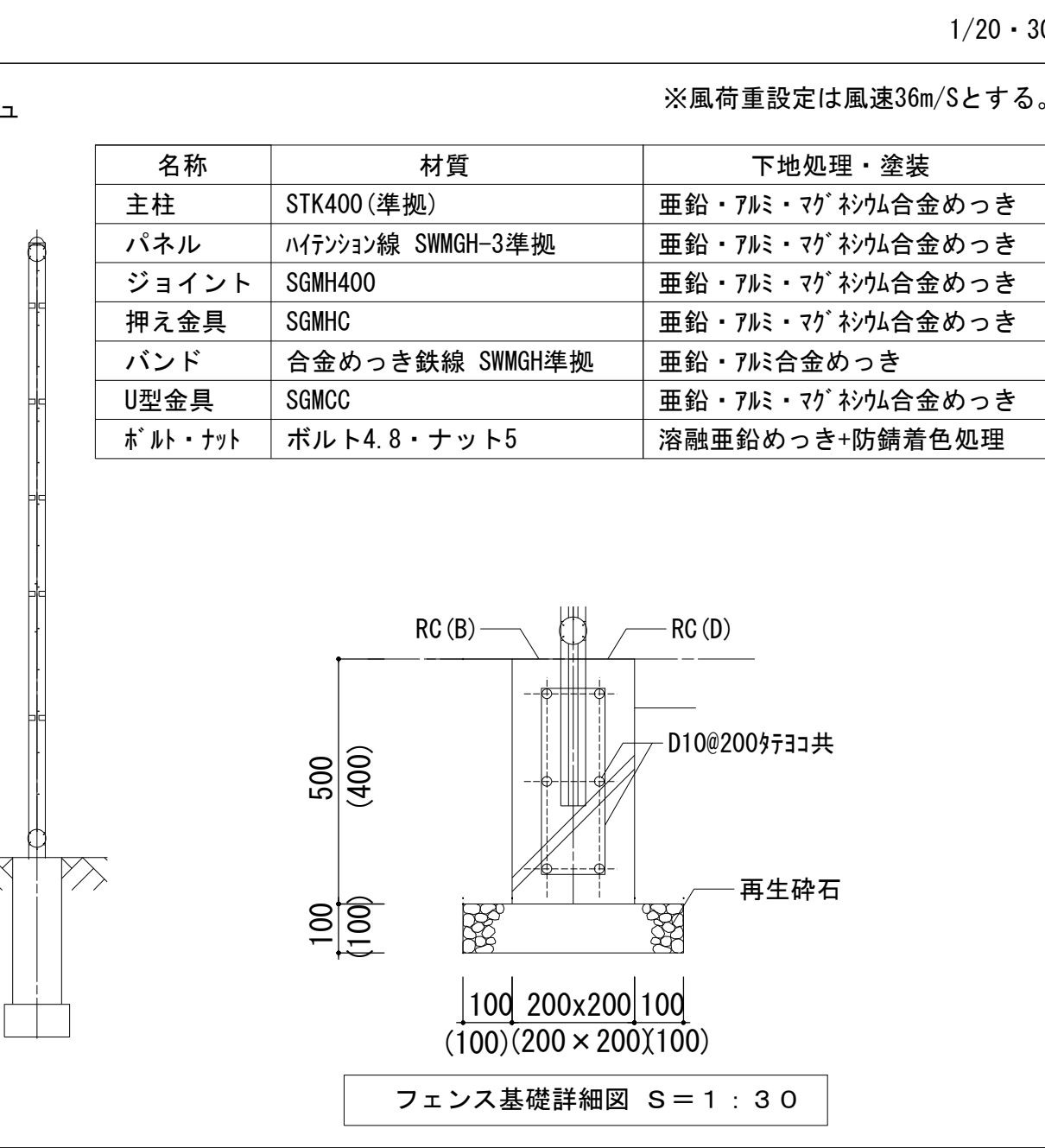
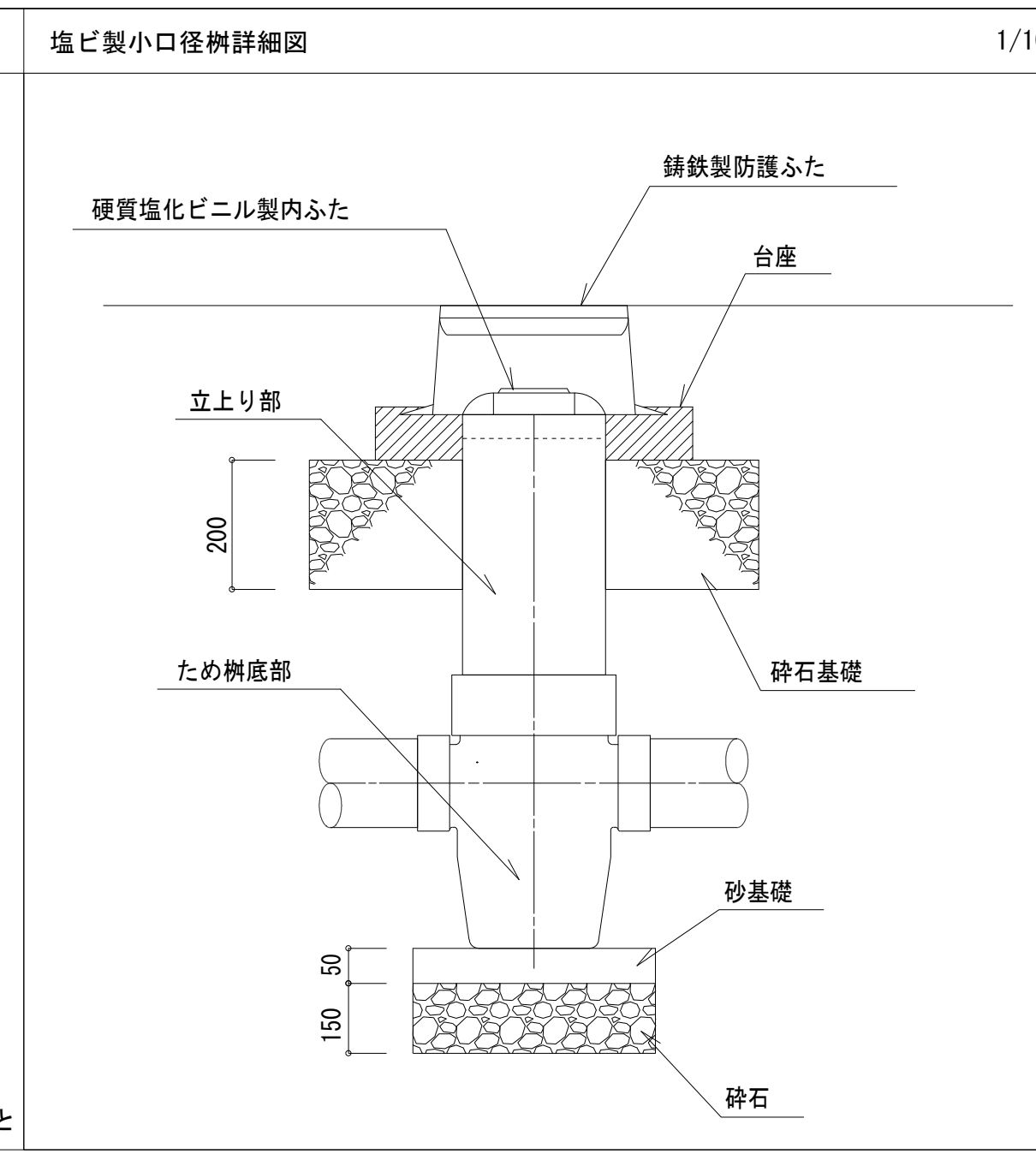
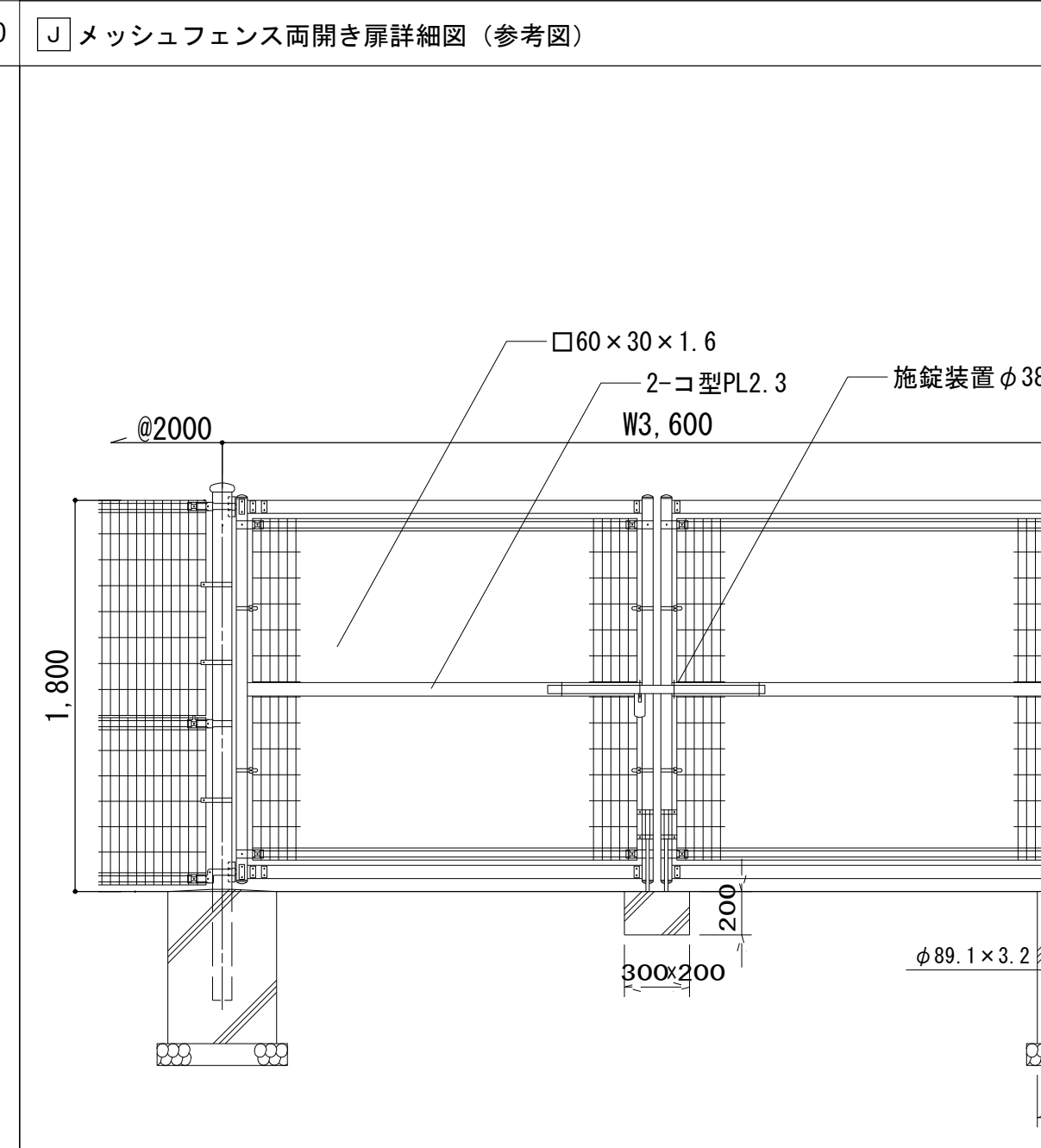
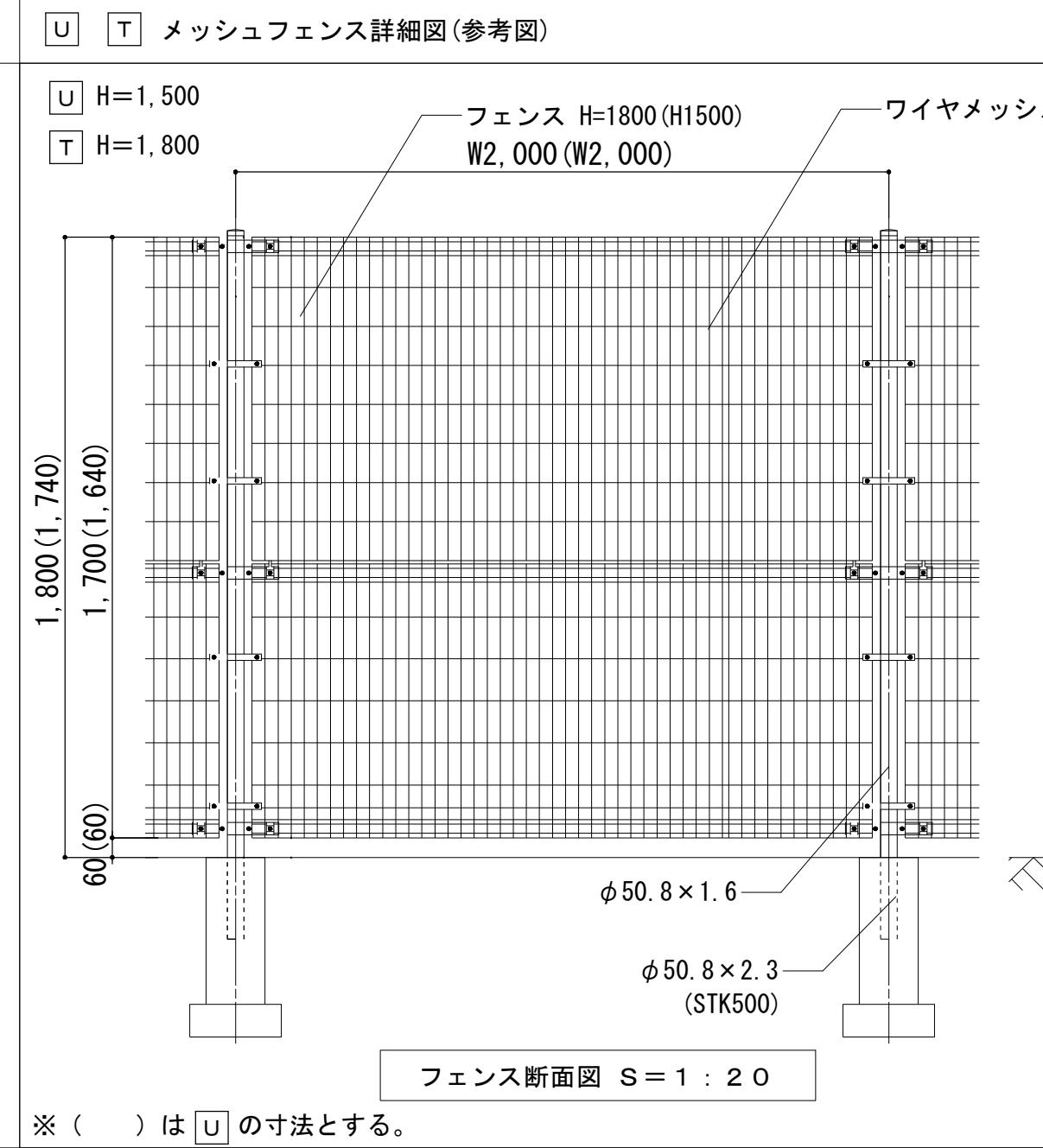
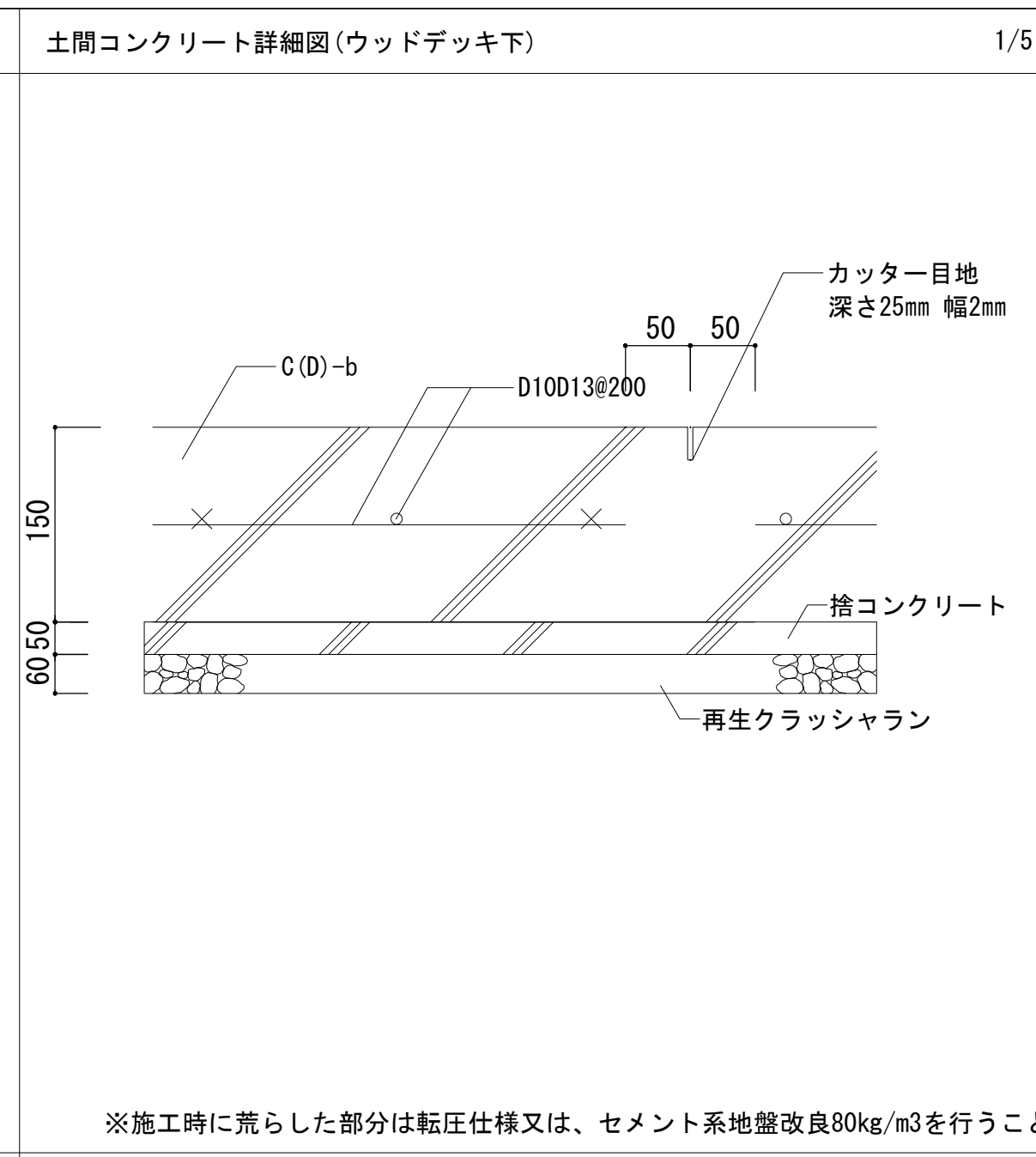
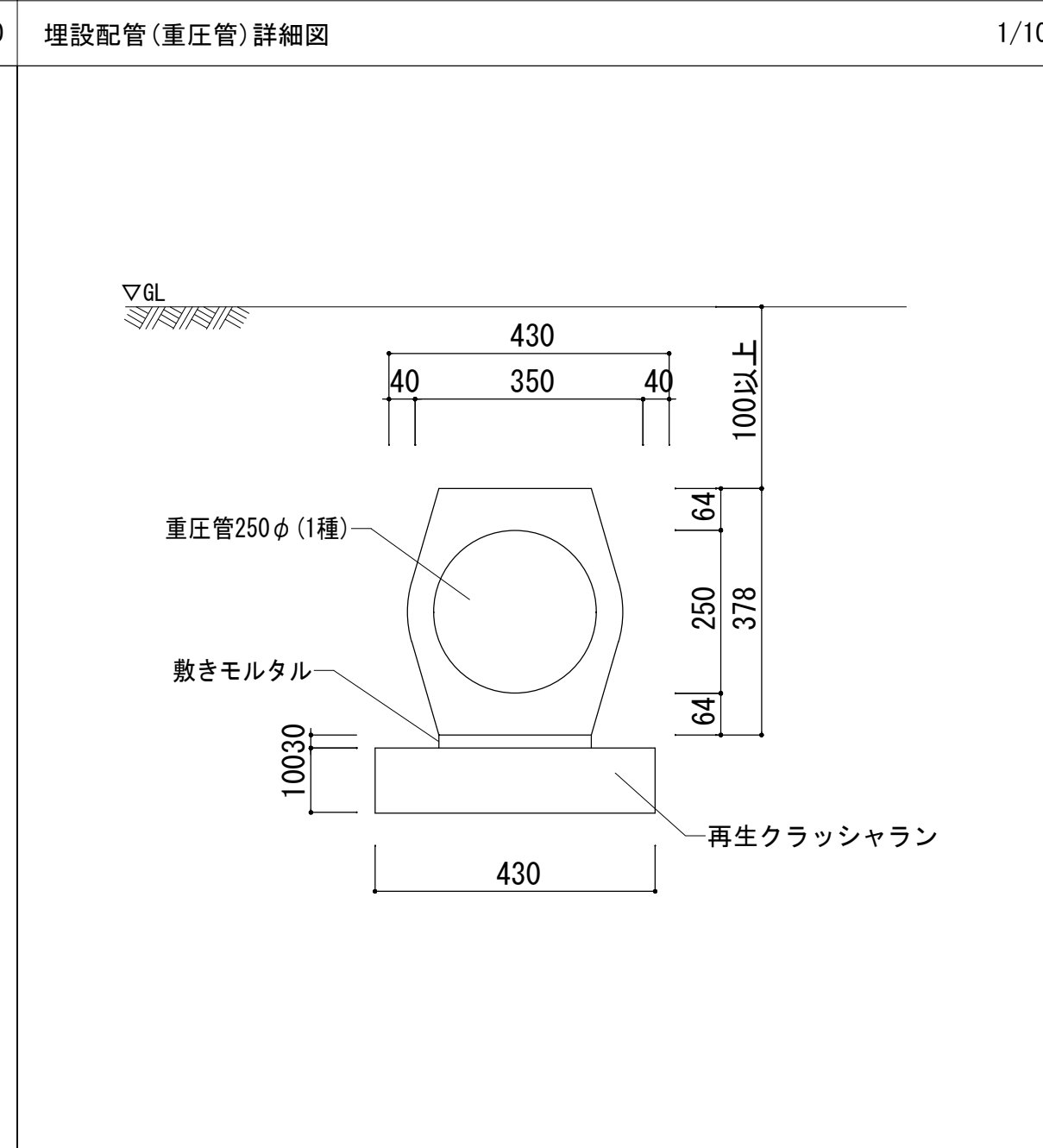
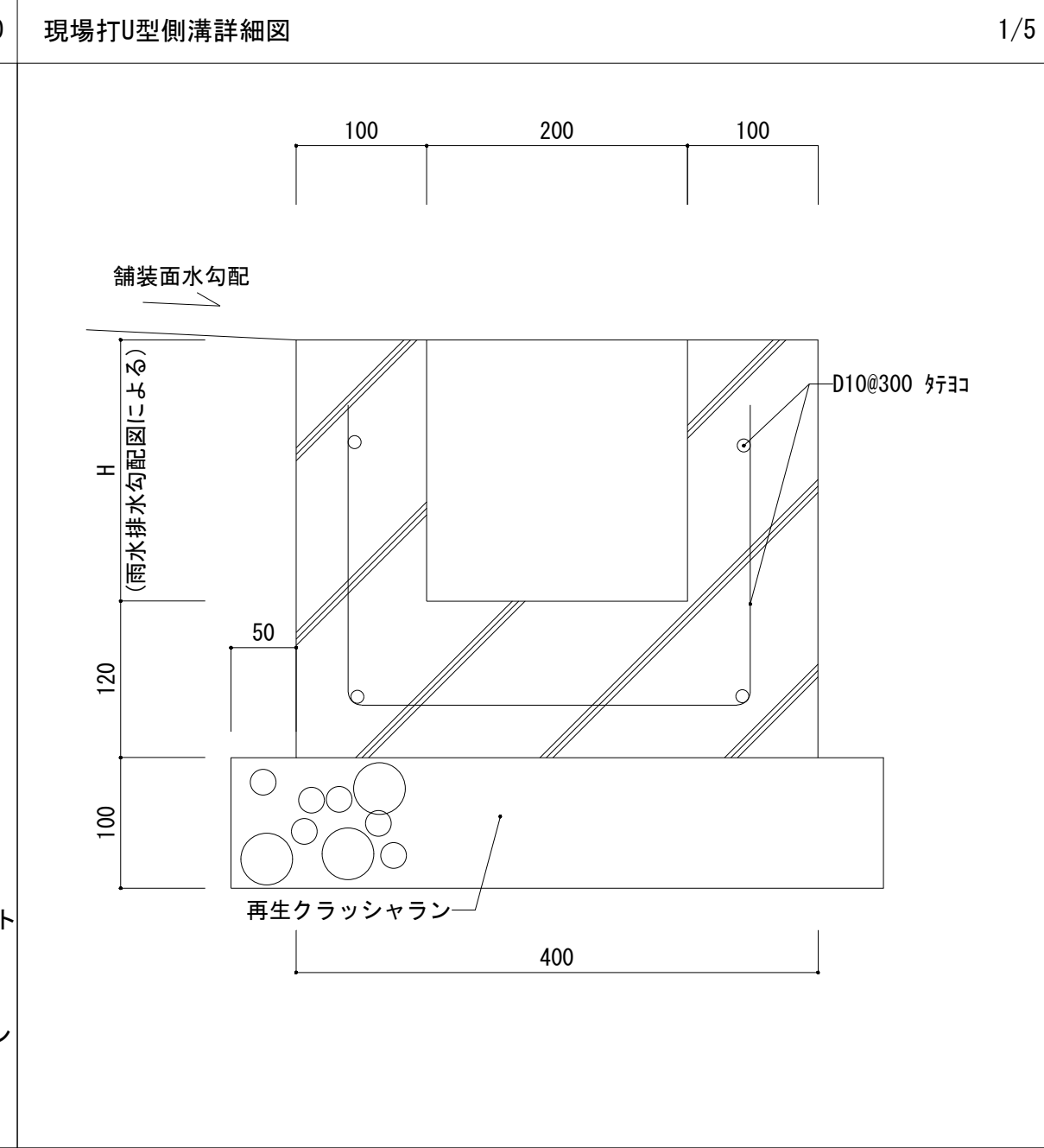
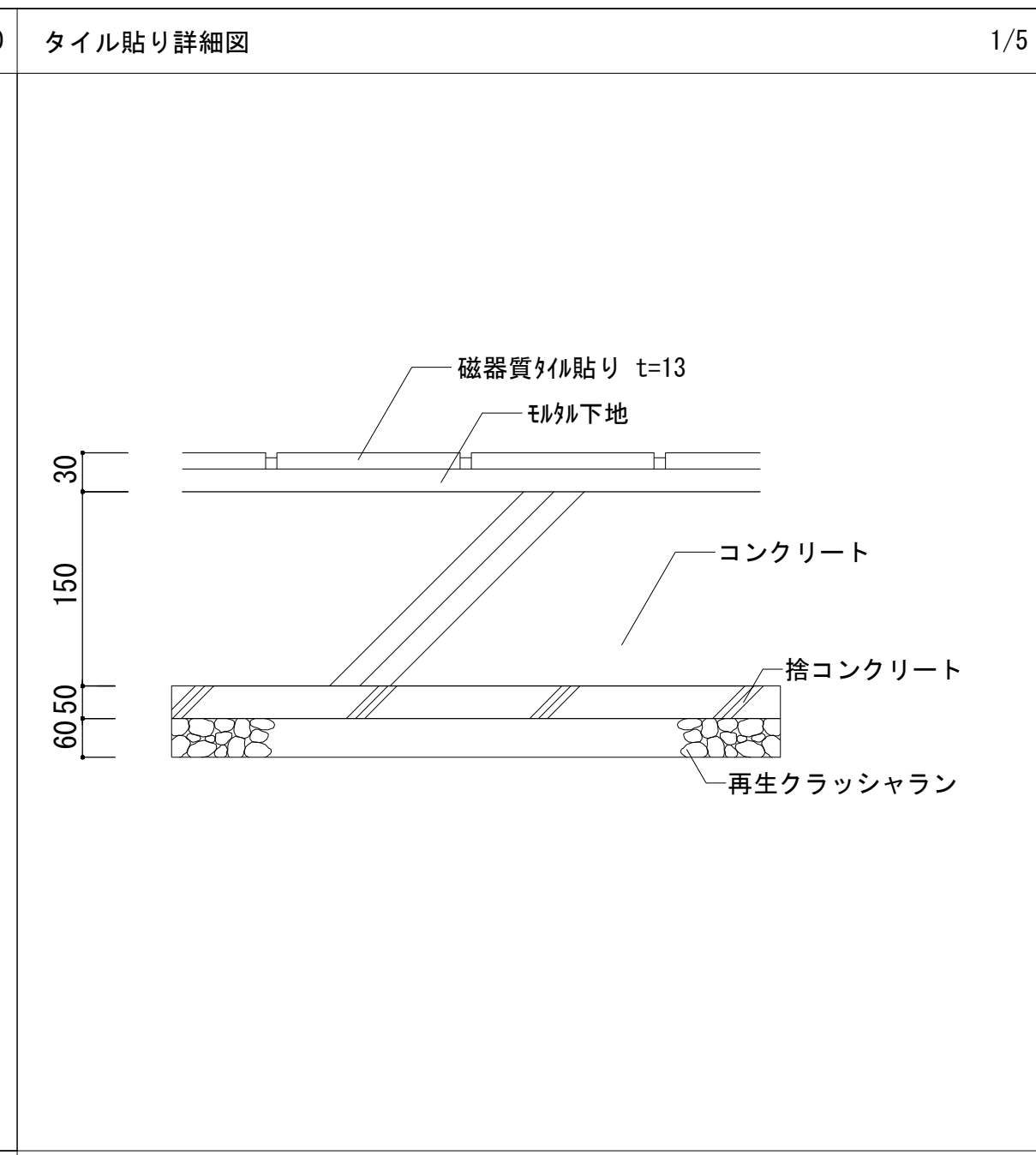
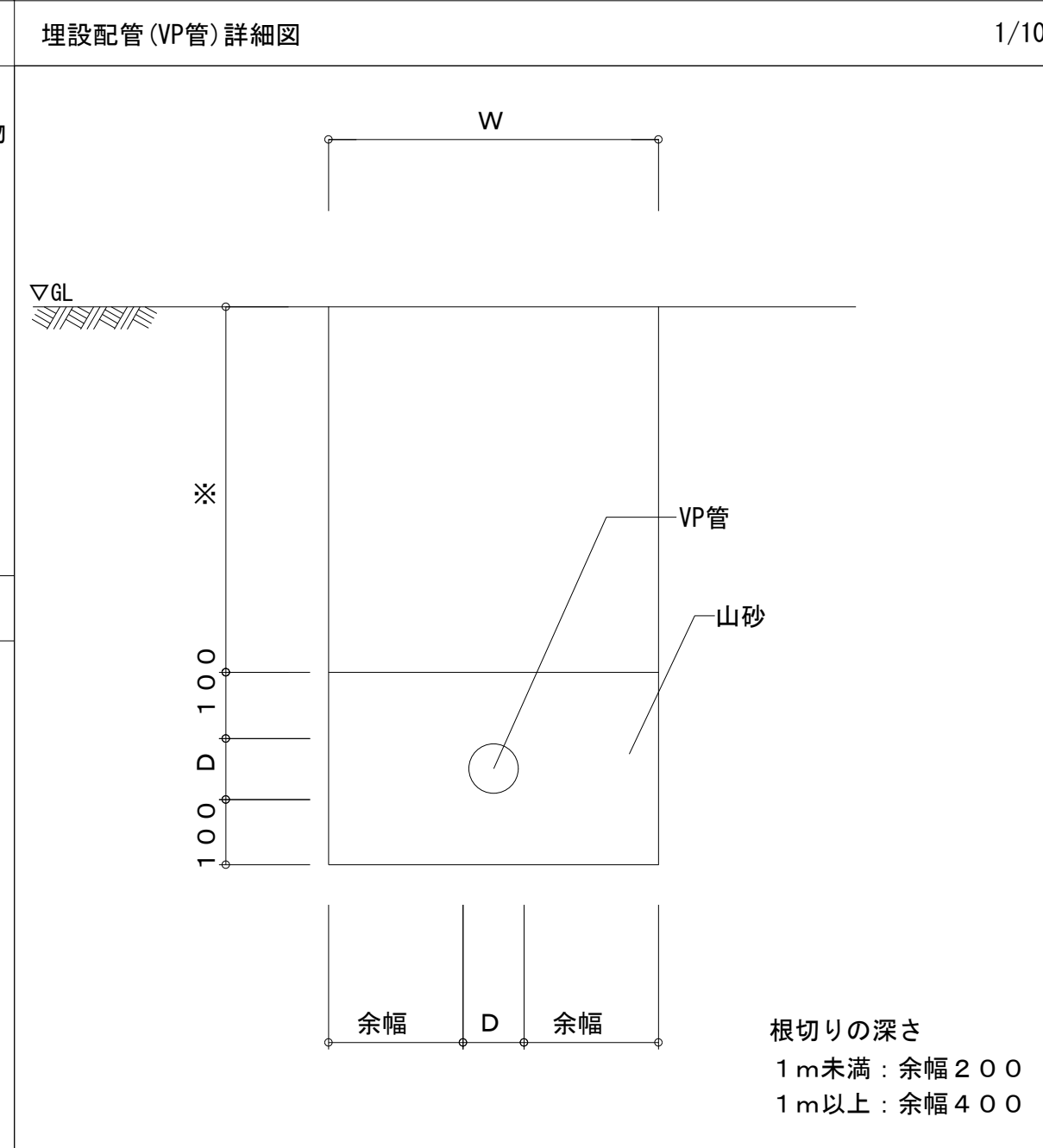
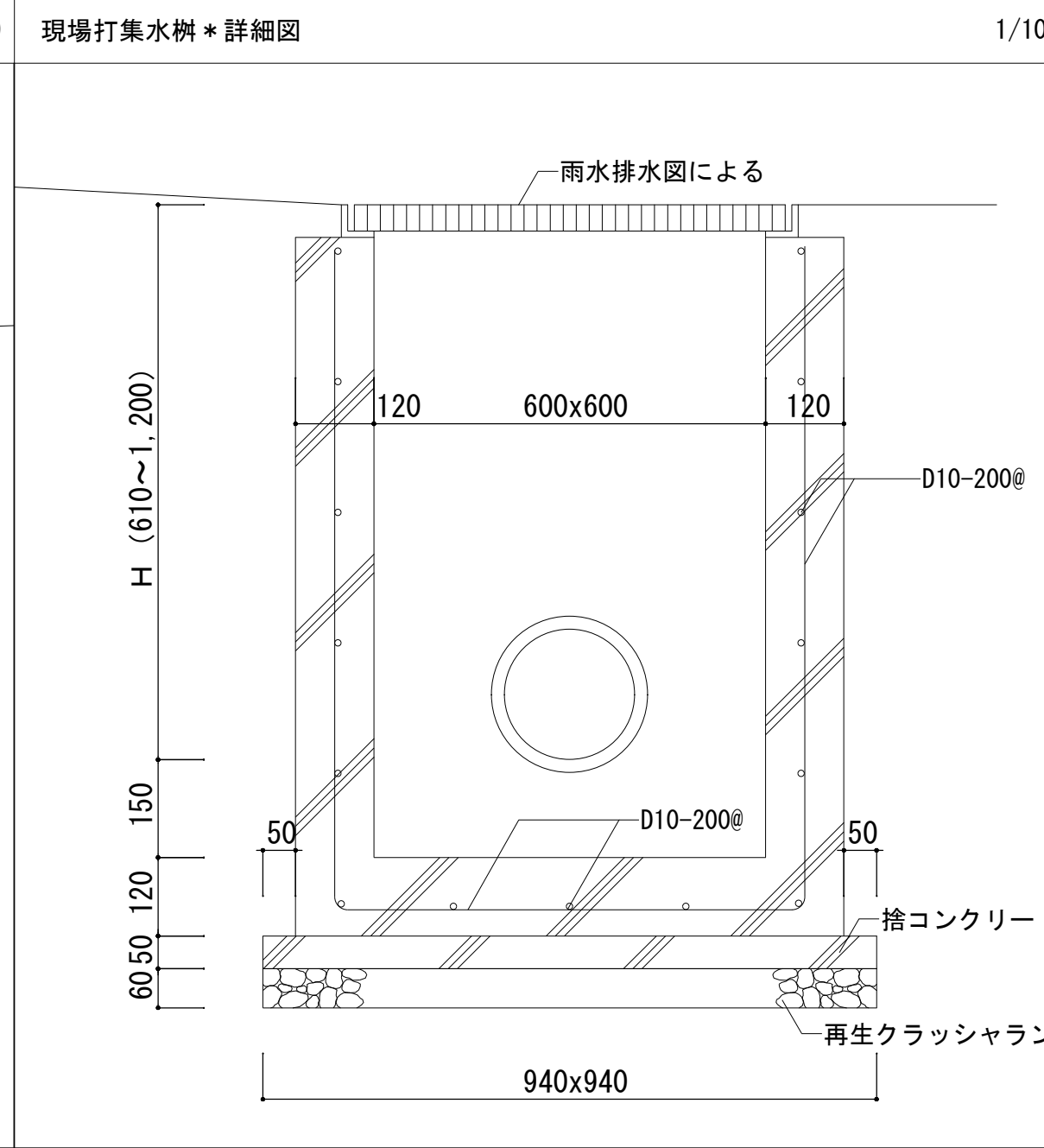
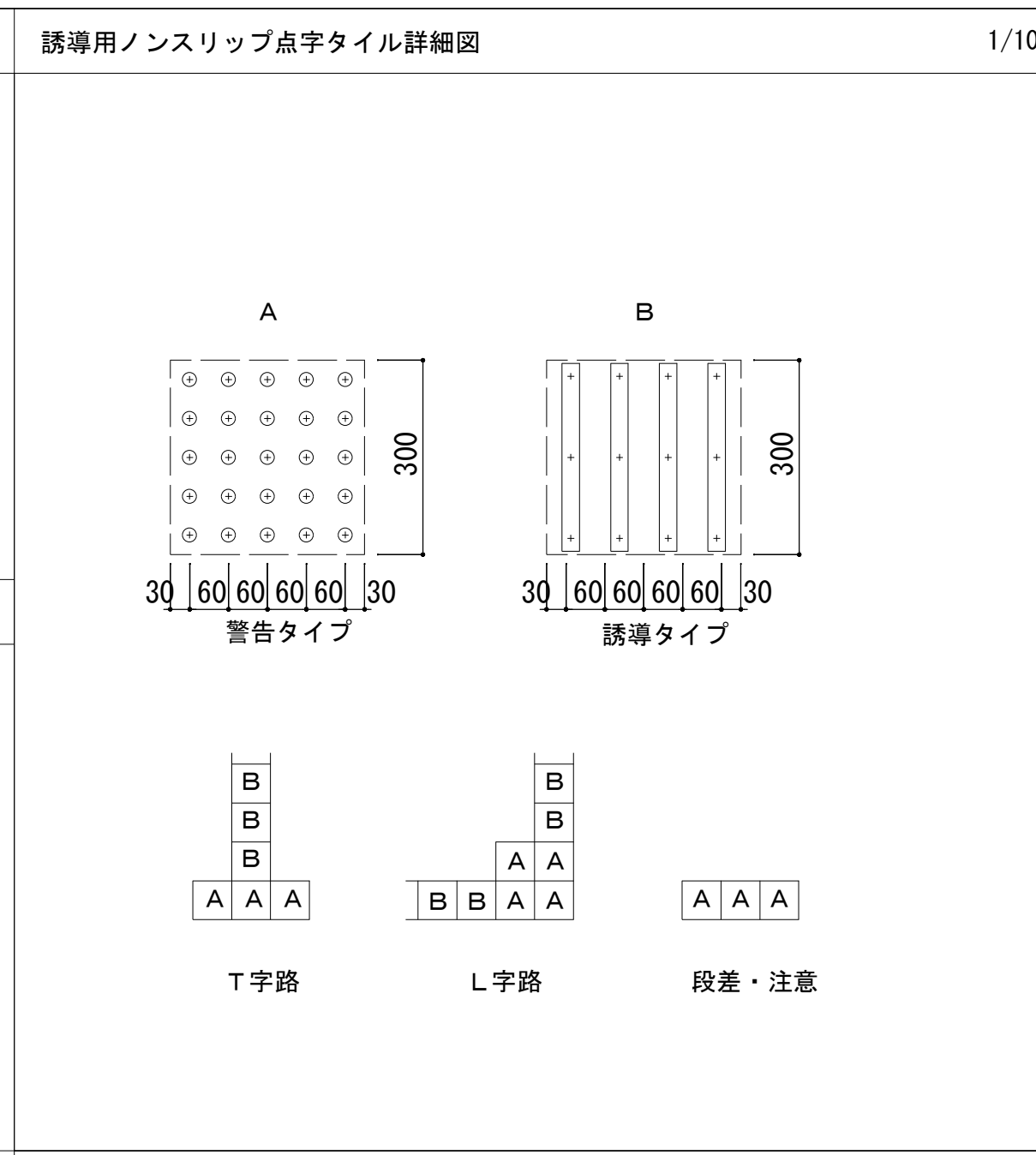
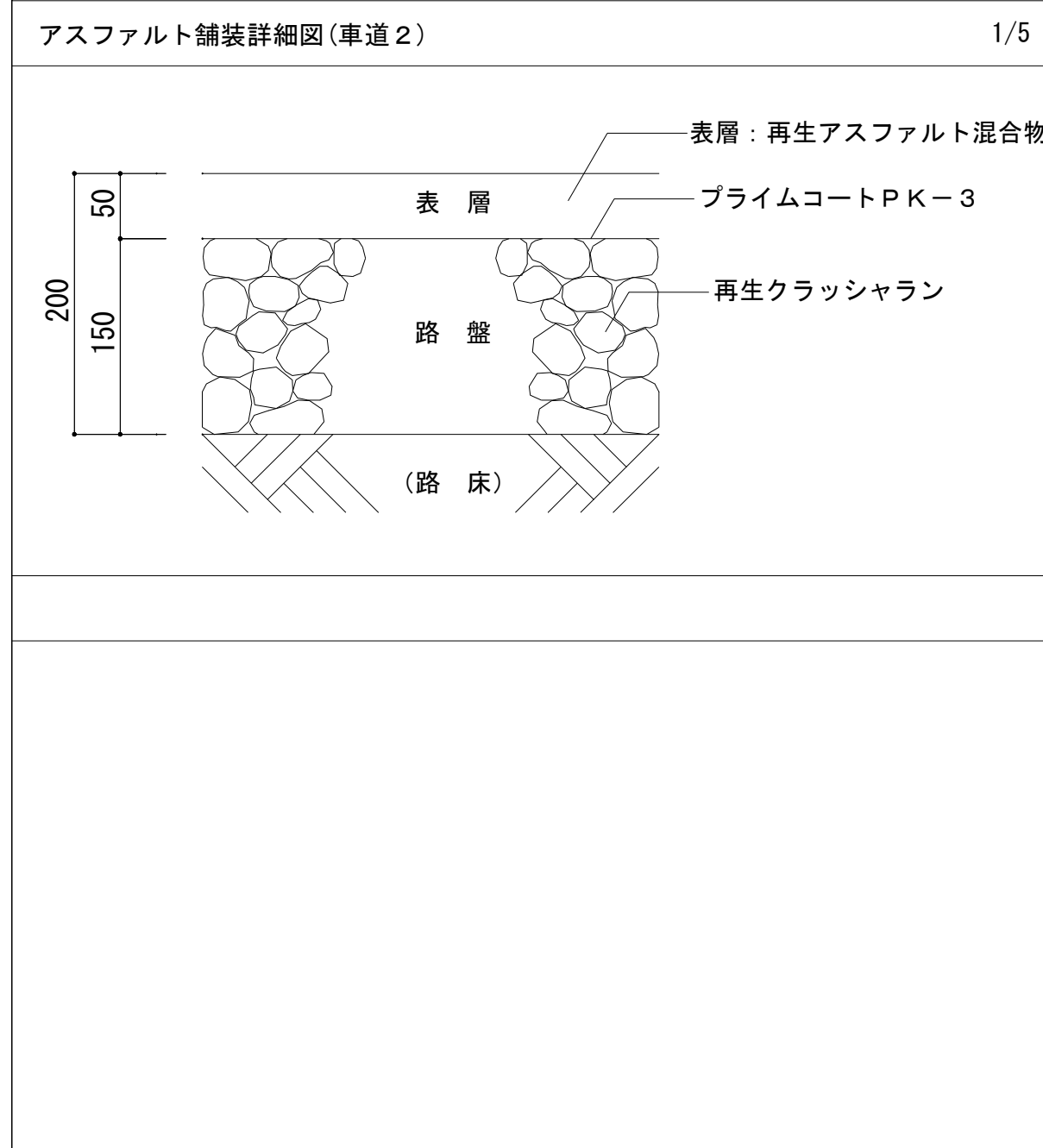
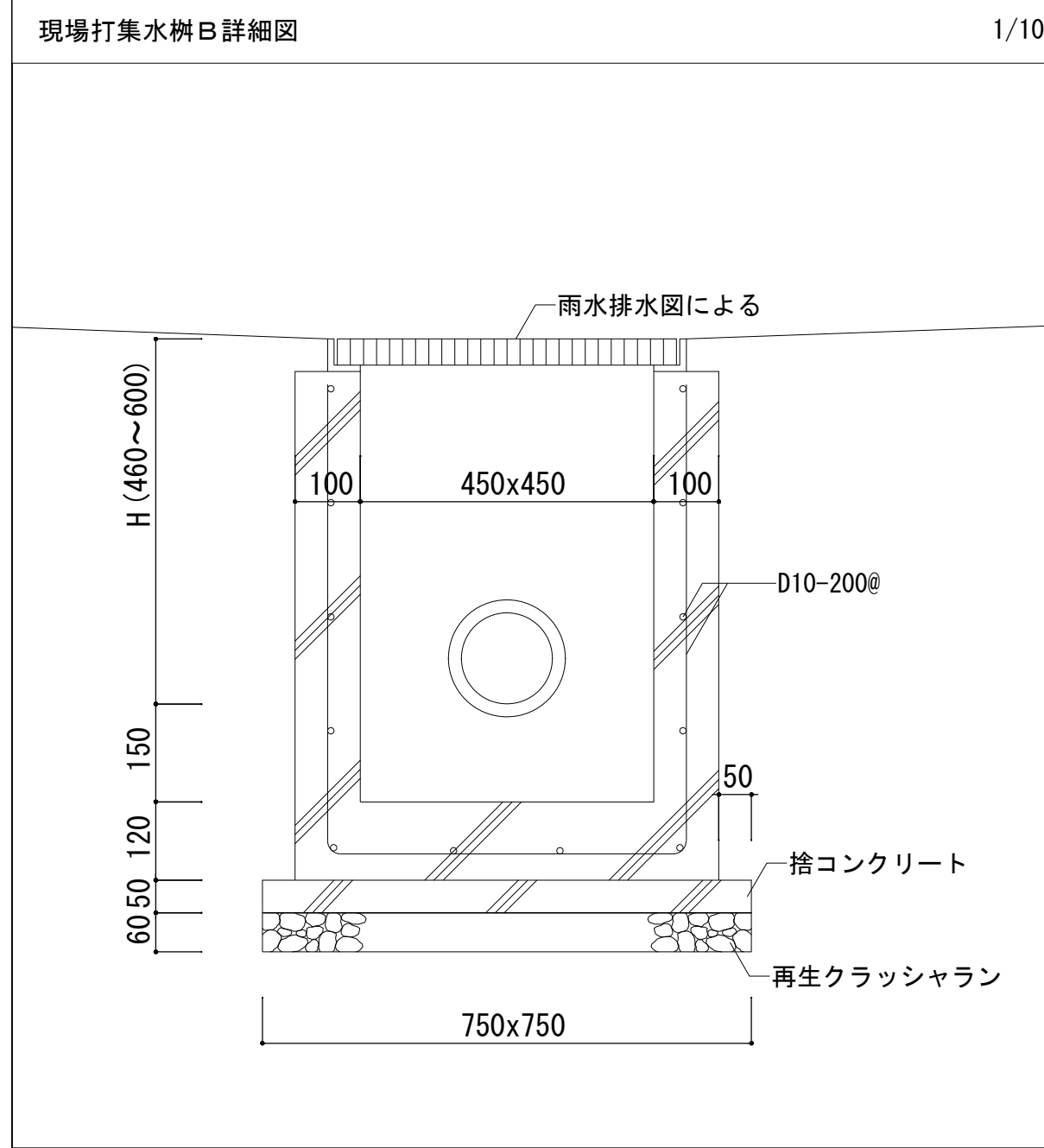
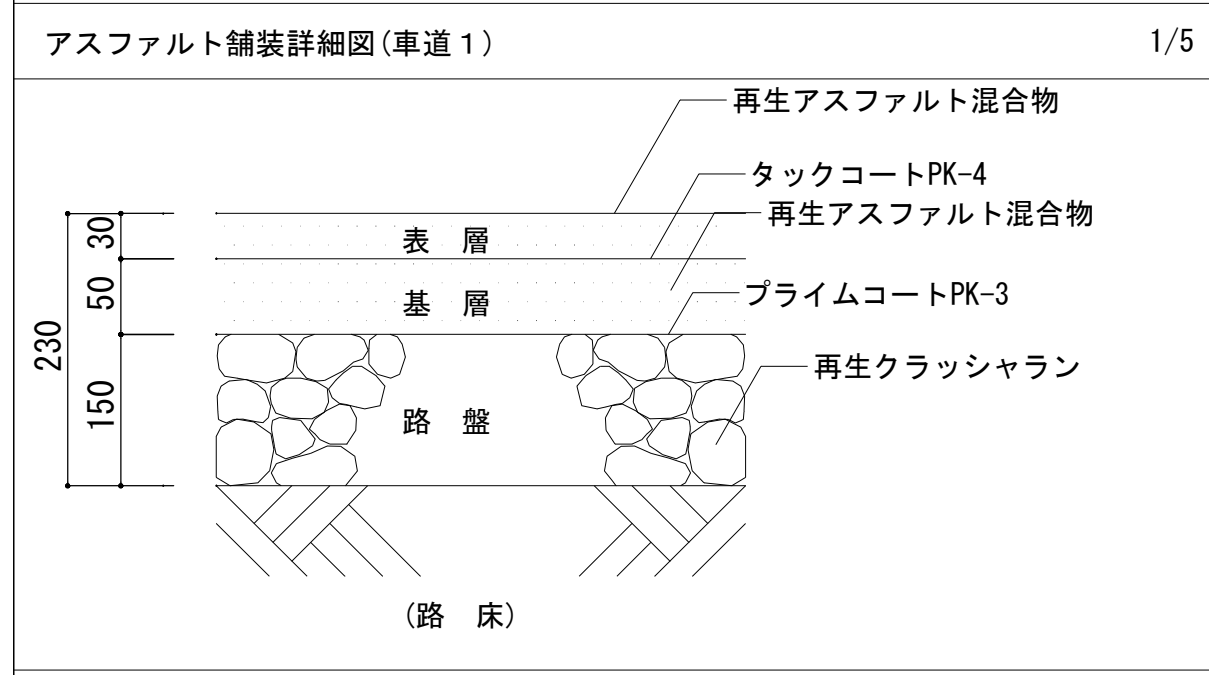
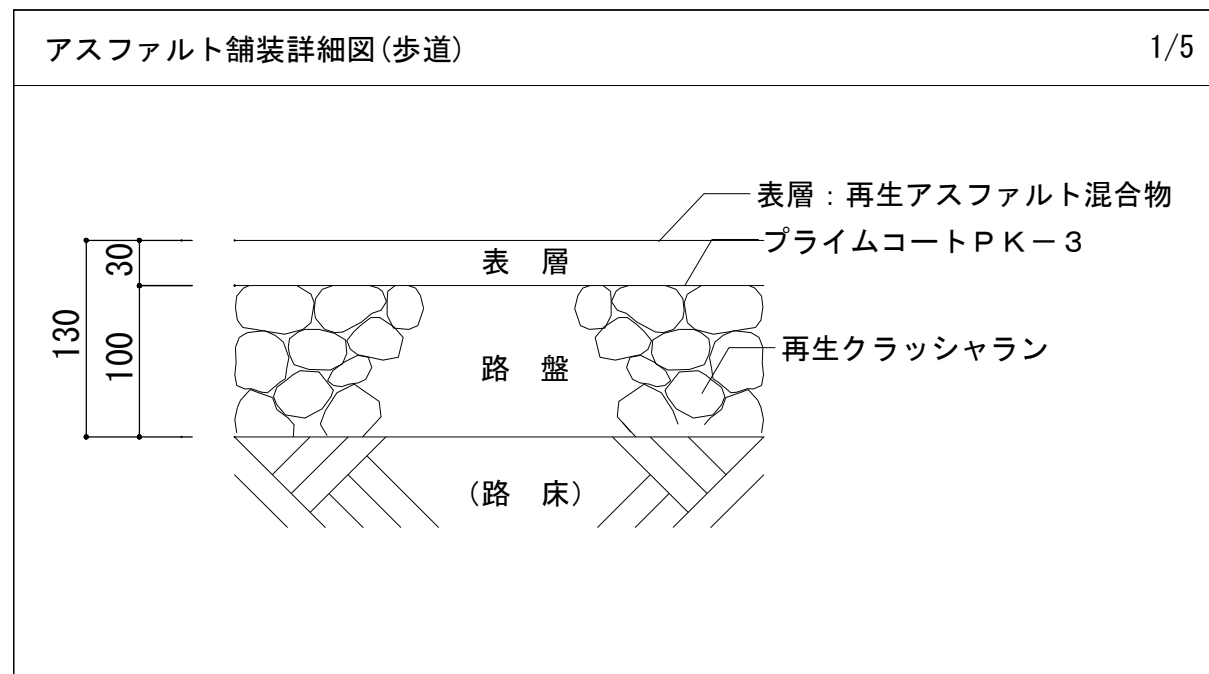
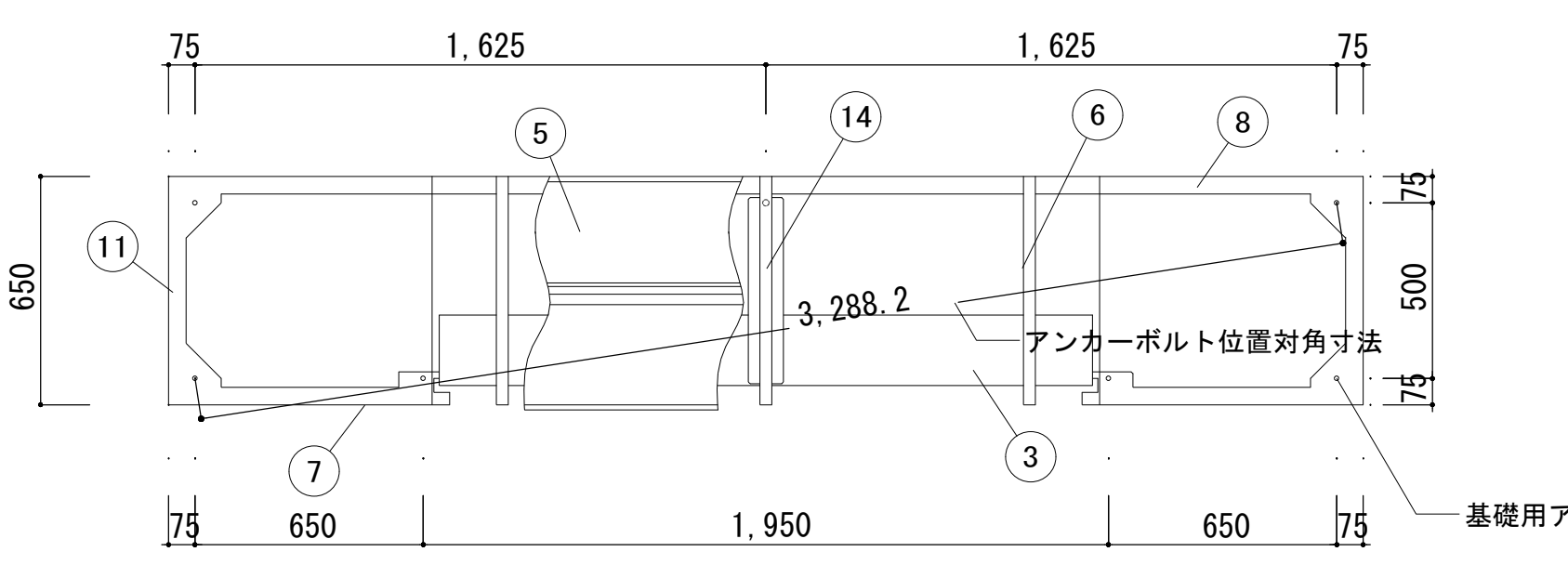
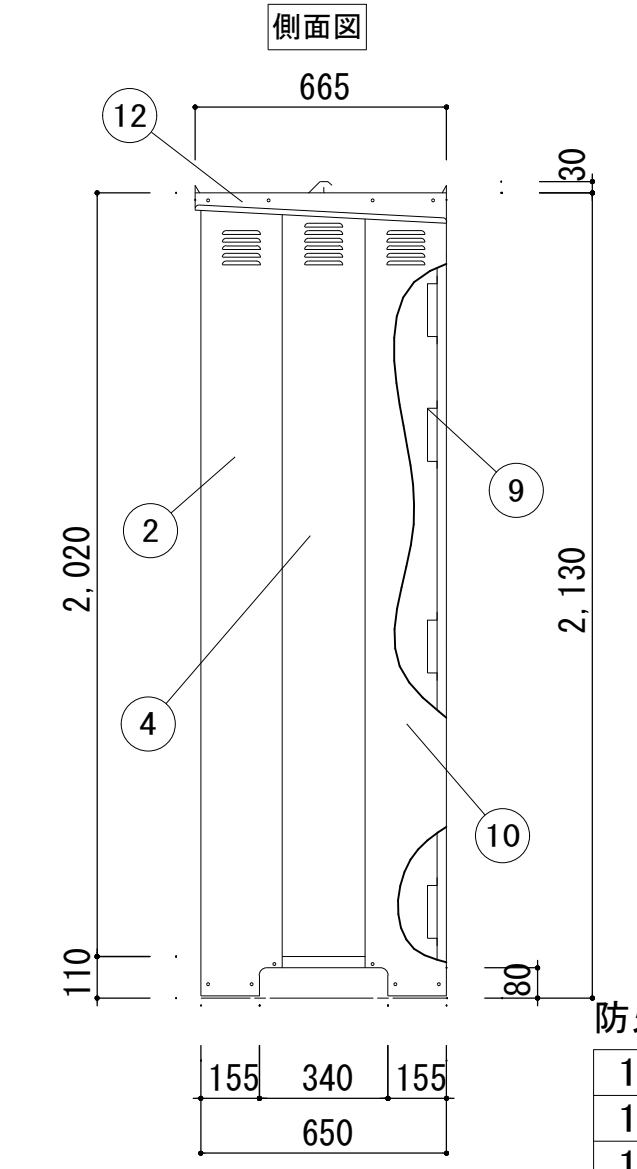
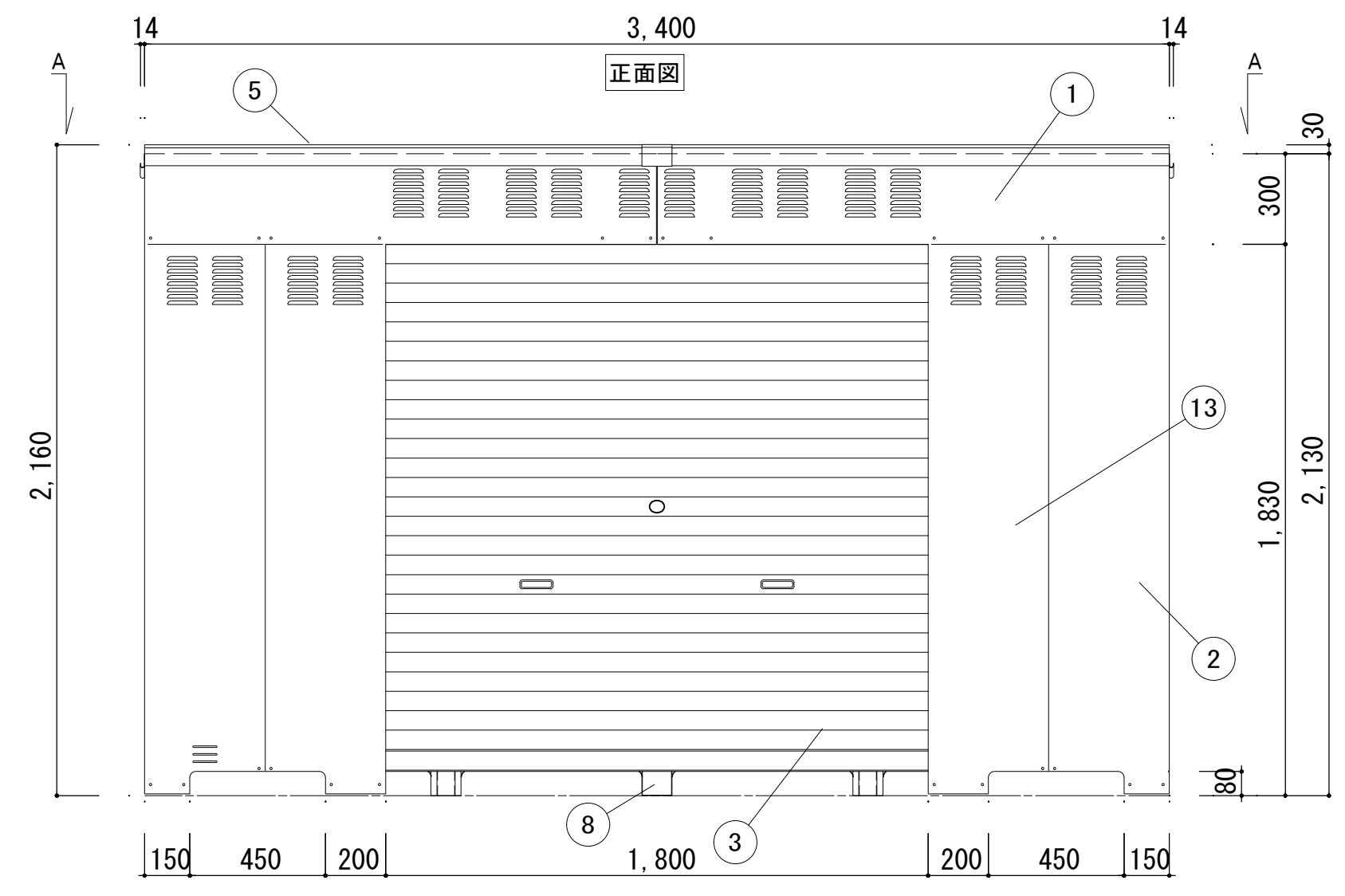


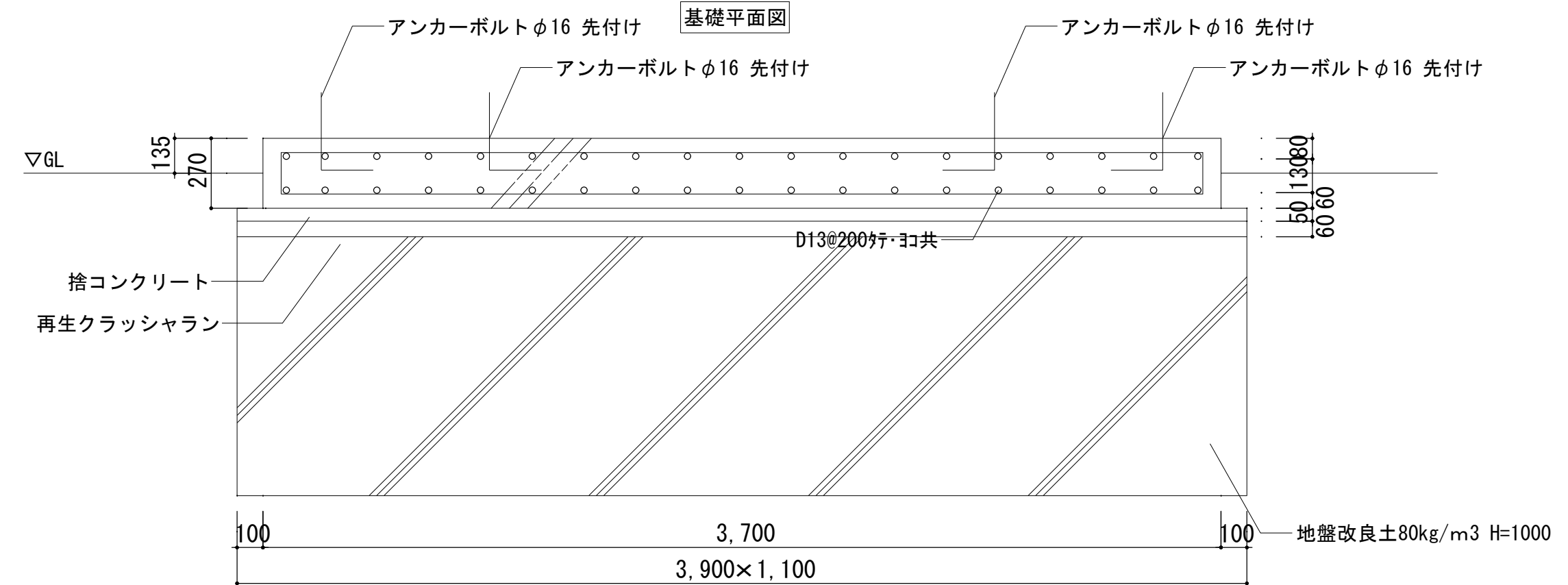
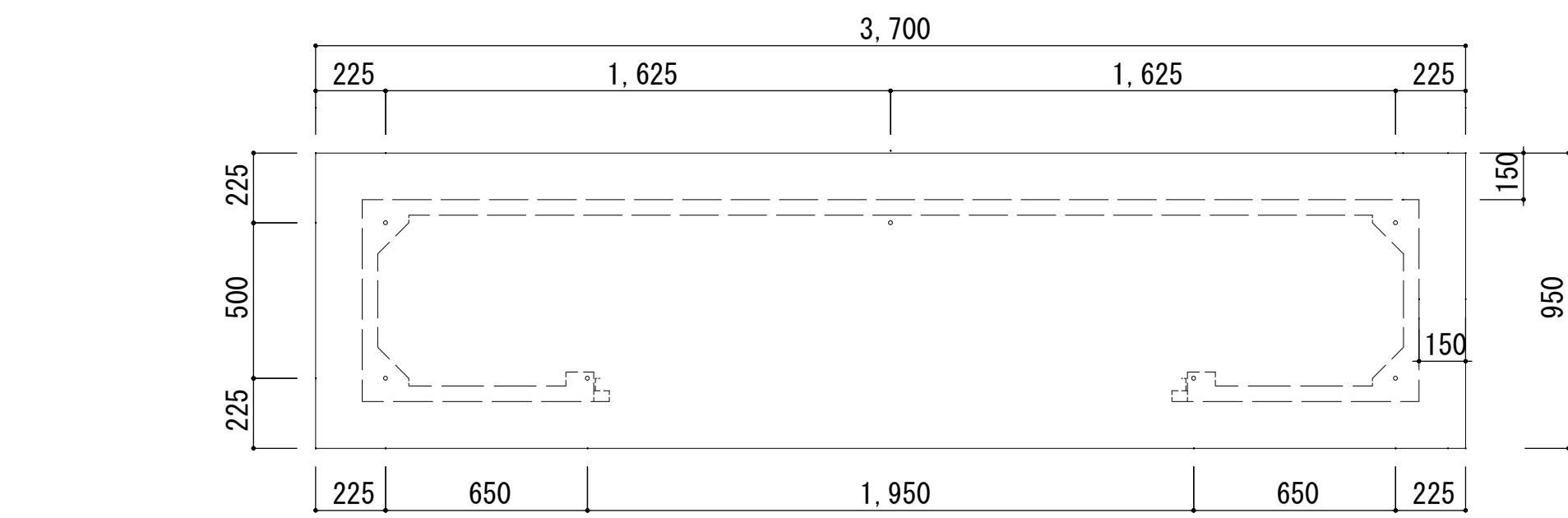
■ 凡例	既存建物	解体建物 (別途工事)	校舎棟改築工事範囲	(***) ()内数値は設計GLからの高さを示す	アスファルト舗装(車道1)	アスファルト舗装(車道2)	アスファルト舗装(歩道)	ウッドデッキ(東型)	ウッドデッキ(根本型)	タイル貼り	砕石砂利敷き H=100	誘導用ノンスリップ点字タイル 警告タイプ	誘導用ノンスリップ点字タイル 誘導タイプ	ウッドデッキ点検口	A 正門	B スロープ1	C 厨房用LPGボンベ庫	D オイルタンク新設(躯体工事のみ)	E 浄化槽新設(躯体工事のみ)	F L型擁壁1+メッシュフェンス (H=1500)	G メッシュフェンス (H=1500) 既存擁壁	H メッシュフェンス (H=1800) 既存擁壁	I メッシュフェンス両開き扉 (W1800, H1500)	J メッシュフェンス両開き扉 (W3600, H1800)	K メッシュフェンス片開き扉 (W1040, H1500)	L L型擁壁2+メッシュフェンス (H=1500)	M ゼブラマーク・文字(浄化槽)	N スロープ2	O スロープ3	P 調理室出入口	Q 階段	R	S 設備トラフ	T メッシュフェンス (H=1800)	U メッシュフェンス (H=1500)	V L型擁壁1+メッシュフェンス両開き扉 (W2000, H=1500)	W 給食車両駐車区画	X ごみ置場・設備基礎	Y 歩車道境界ブロック詳細図	a オイルタンク給油口基礎	b 階段
------	------	-------------	-----------	---------------------------	---------------	---------------	--------------	------------	-------------	-------	--------------	----------------------	----------------------	-----------	------	---------	--------------	--------------------	-----------------	---------------------------	--------------------------	--------------------------	-------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	---------------------------	------------------	---------	---------	----------	------	---	---------	---------------------	---------------------	--------------------------------------	------------	-------------	----------------	---------------	------

外構配置図 S-1/200





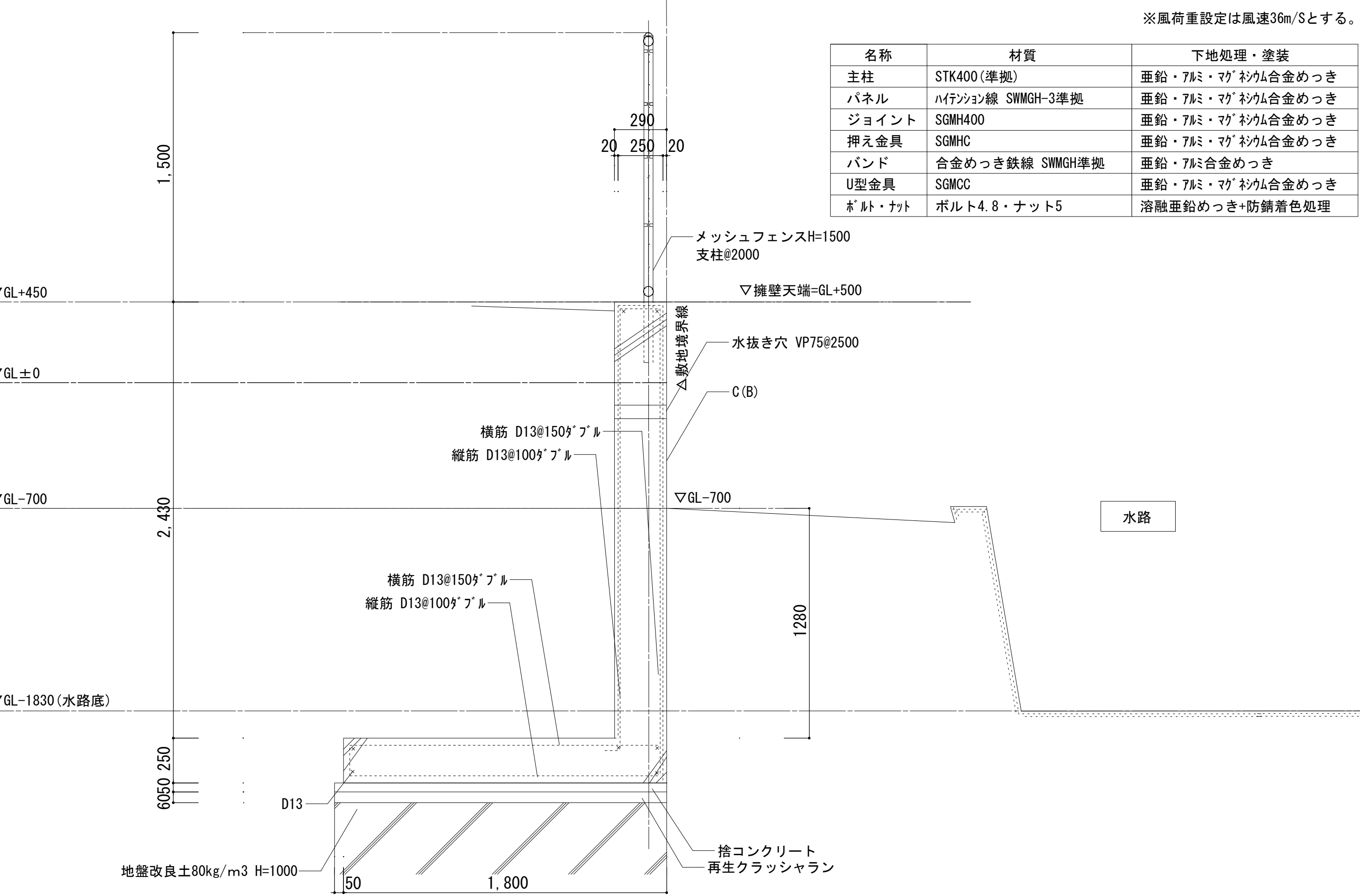
平面図-A-A



基礎正面図

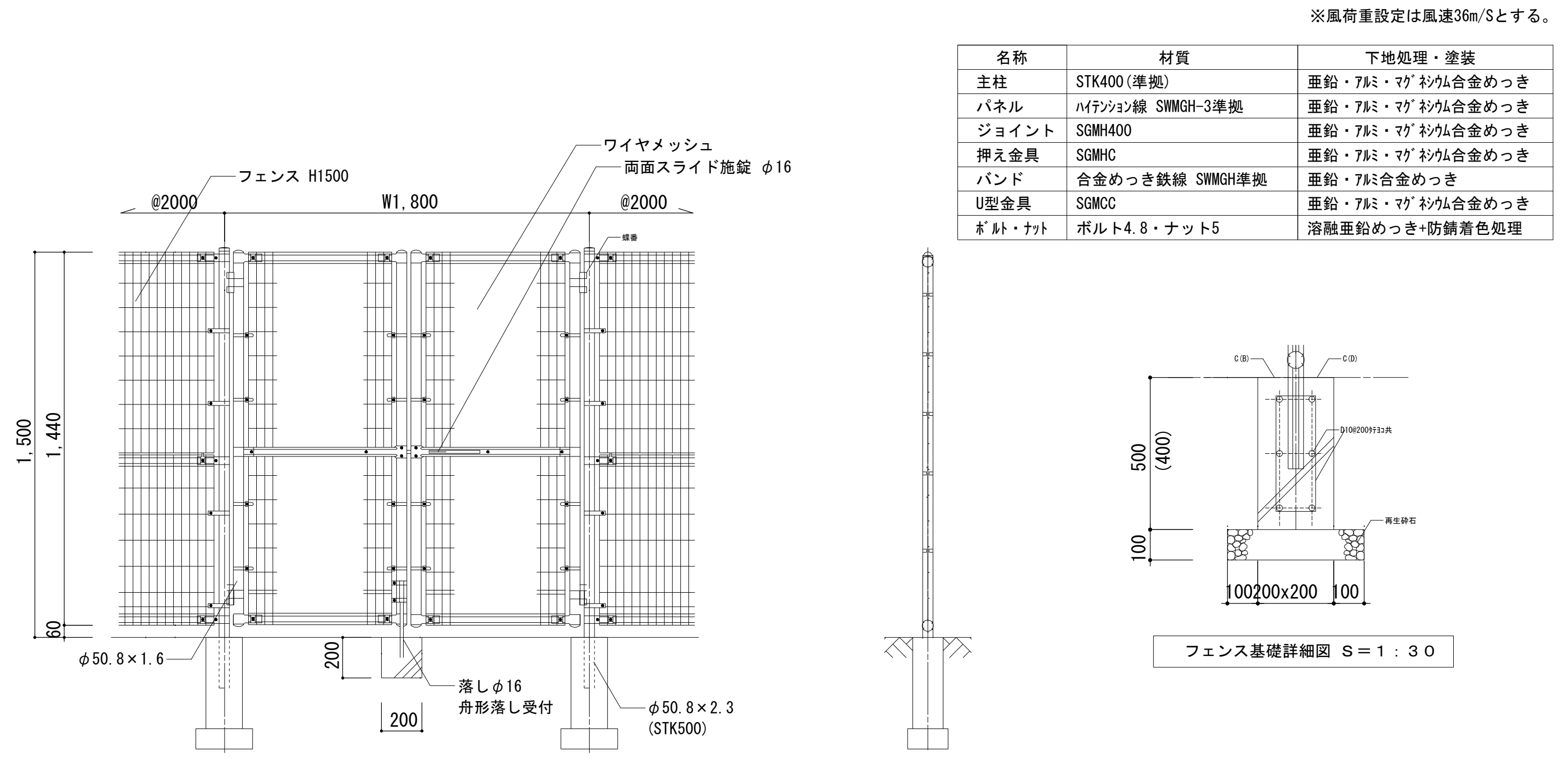
防火設備 (乙種防火シャッター仕様)

番号	品名	個数	記事
14	屋根架母壁	1	めっき鋼板
13	前柱 (内)	右1左1	めっき鋼板
12	屋根受け雨樋	右1左1	高耐食めっき鋼板
11	左右土台	2	高耐食めっき鋼板
10	後柱	右1左1	めっき鋼板
9	横棧	8	めっき鋼板
8	後土台	右1左1	高耐食めっき鋼板
7	左右前土台	右1左1	高耐食めっき鋼板
6	母壁	2	めっき鋼板
5	屋根	前2後2	高耐食めっき鋼板
4	側パネル	2	めっき鋼板
3	シャッター	1	めっき鋼板 t0.8
2	前柱 (外)	右1左1	めっき鋼板
1	前梁	右1左1	めっき鋼板



※風荷重設定は風速36m/Sとする。

名称	材質	下地処理・塗装
主柱	STK400 (準拠)	亜鉛・7%ミ・マグネシウム合金めっき
パネル	ハイテンション線 SWMGH-3準拠	亜鉛・7%ミ・マグネシウム合金めっき
ジョイント	SGMH400	亜鉛・7%ミ・マグネシウム合金めっき
押え金具	SGMHC	亜鉛・7%ミ・マグネシウム合金めっき
バンド	合金めっき鉄線 SWMGH準拠	亜鉛・7%ミ合金めっき
U型金具	SGMCC	亜鉛・7%ミ・マグネシウム合金めっき
ボルト・ナット	ボルト4.8・ナット5	溶融亜鉛めっき+防錆着色処理

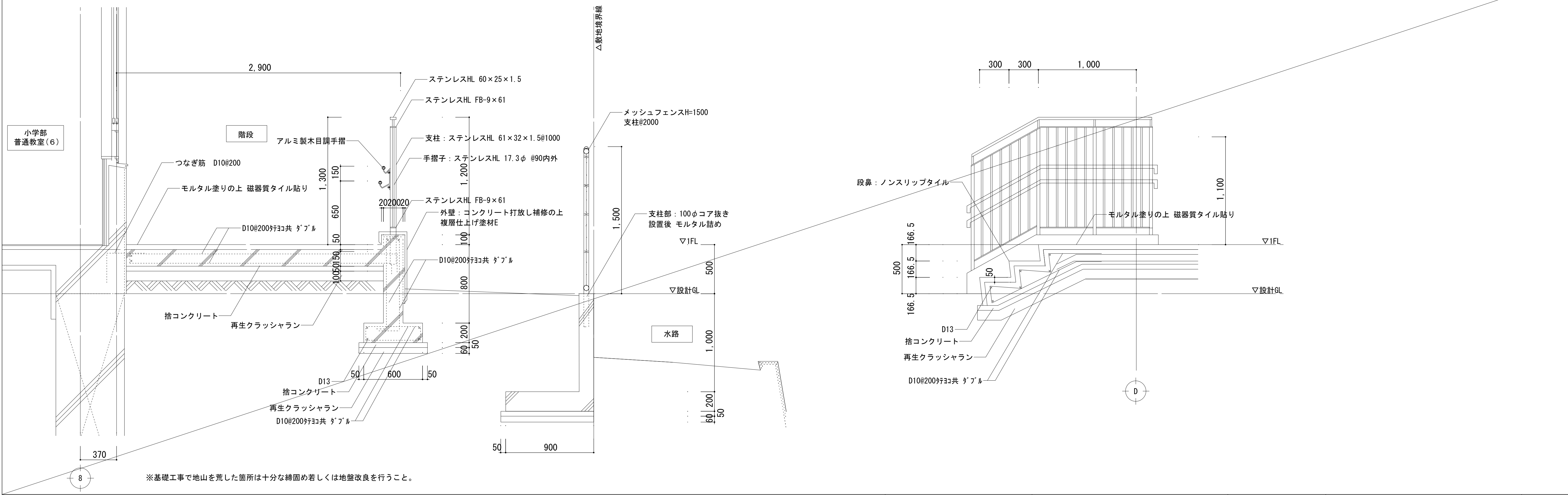
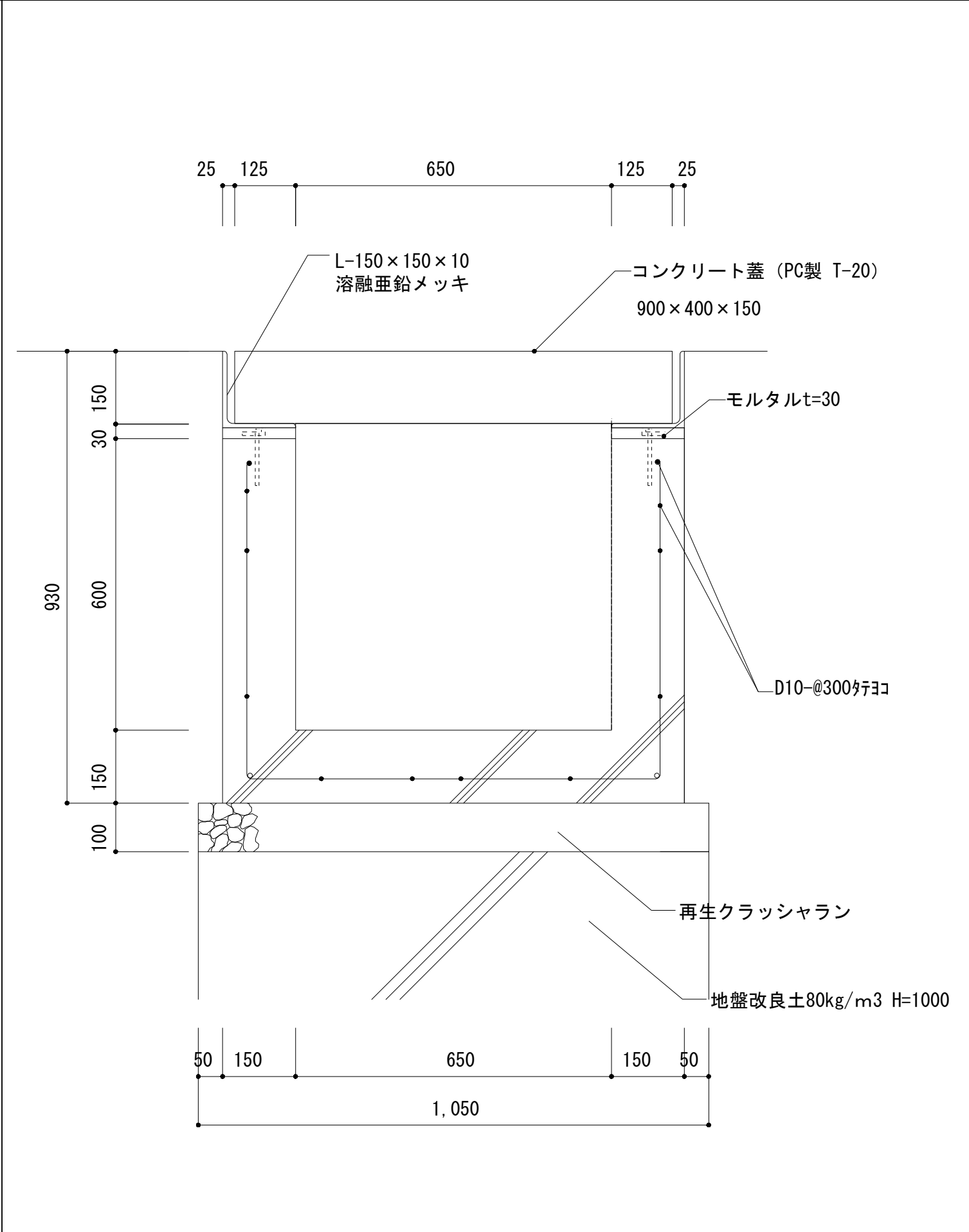
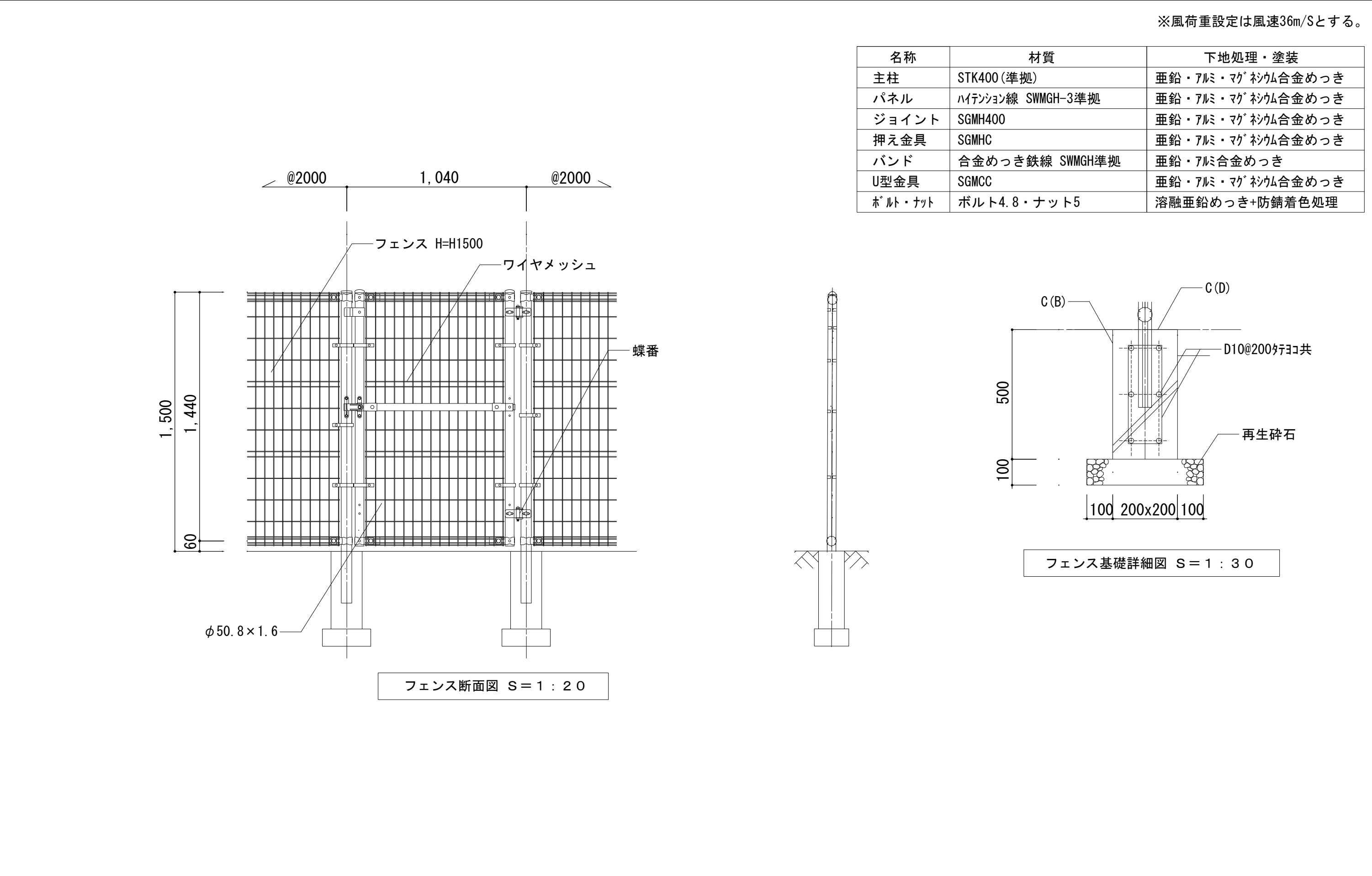
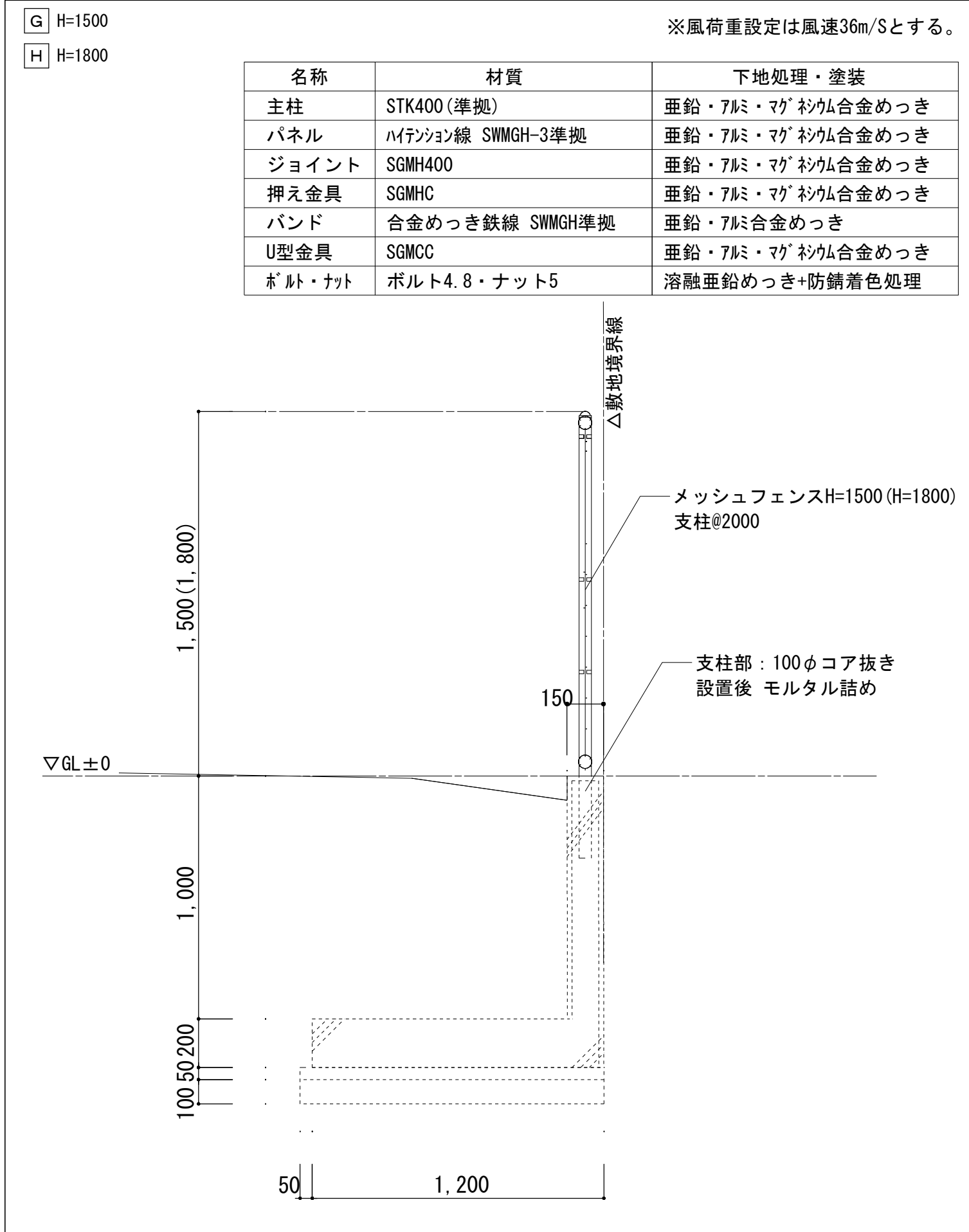


※風荷重設定は風速36m/Sとする。

名称	材質	下地処理・塗装
主柱	STK400 (準拠)	亜鉛・7%ミ・マグネシウム合金めっき
パネル	ハイテンション線 SWMGH-3準拠	亜鉛・7%ミ・マグネシウム合金めっき
ジョイント	SGMH400	亜鉛・7%ミ・マグネシウム合金めっき
押え金具	SGMHC	亜鉛・7%ミ・マグネシウム合金めっき
バンド	合金めっき鉄線 SWMGH準拠	亜鉛・7%ミ合金めっき
U型金具	SGMCC	亜鉛・7%ミ・マグネシウム合金めっき
ボルト・ナット	ボルト4.8・ナット5	溶融亜鉛めっき+防錆着色処理

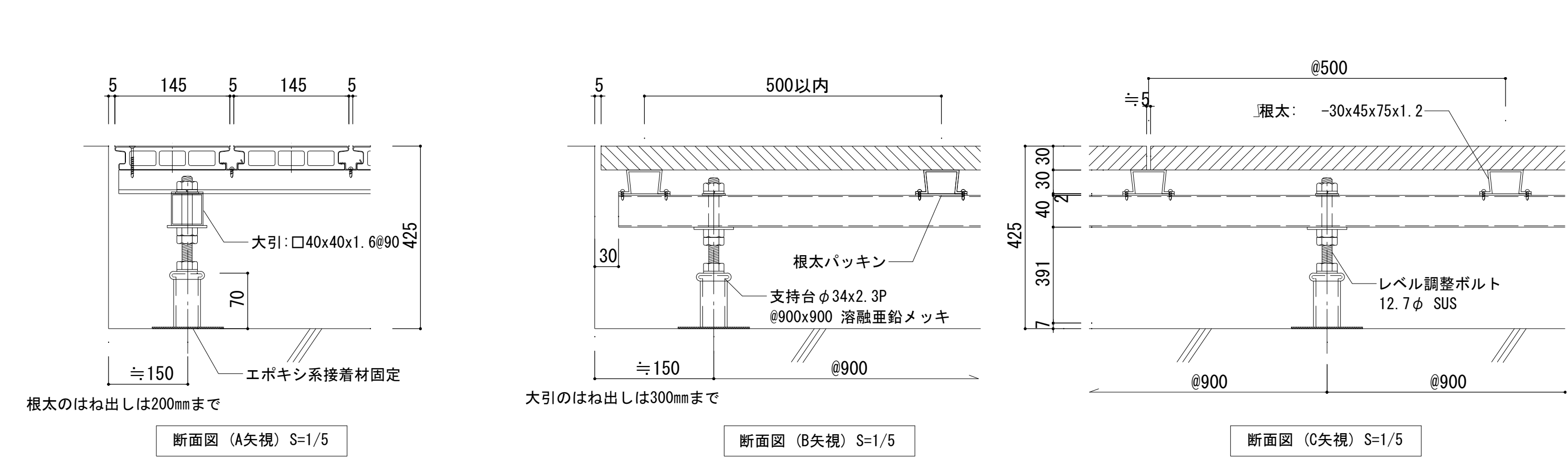
フェンス断面図 S=1:20

フェンス基礎詳細図 S=1:30



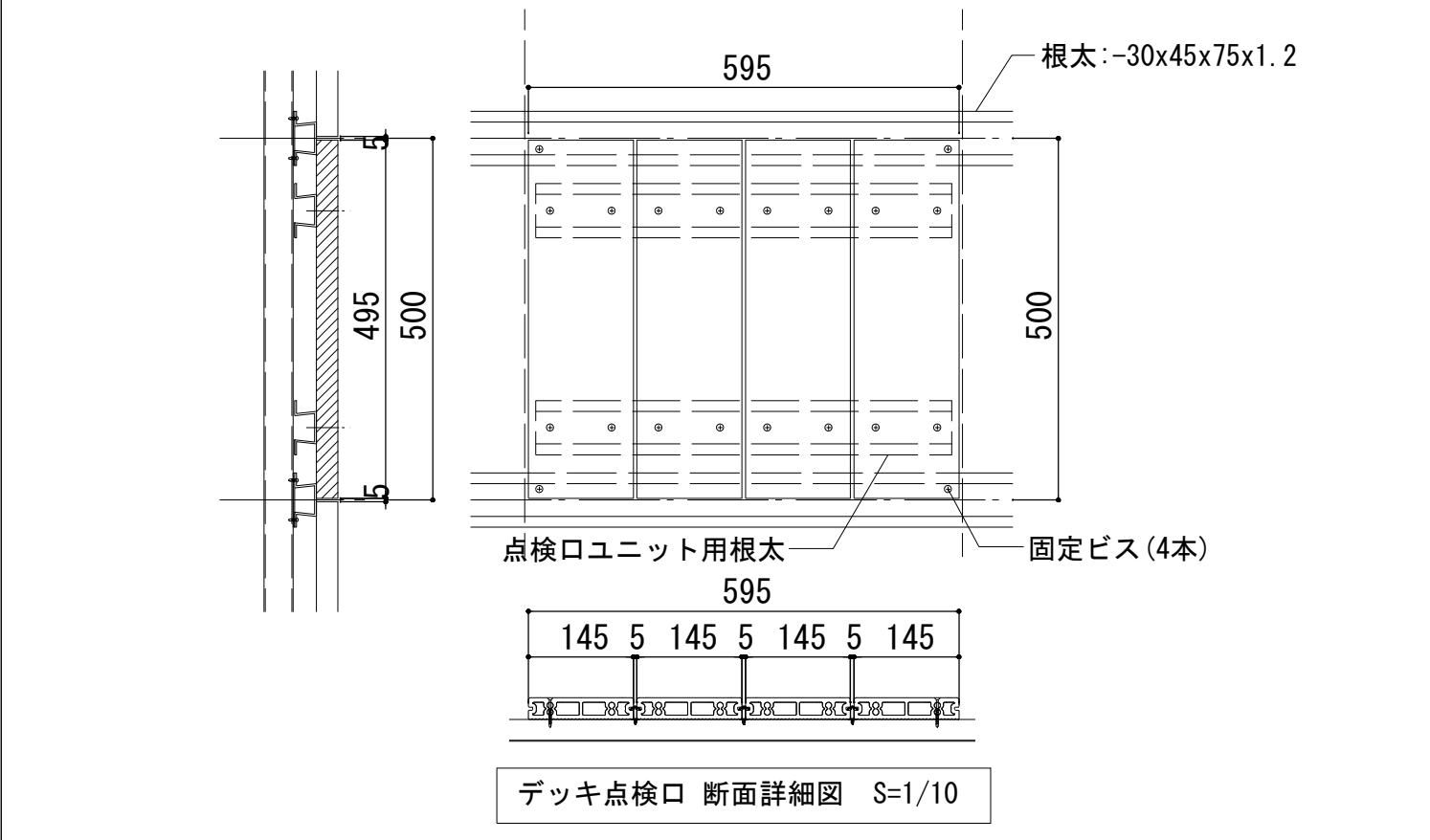
ウッドデッキ(東型)詳細図(参考図)

1/5



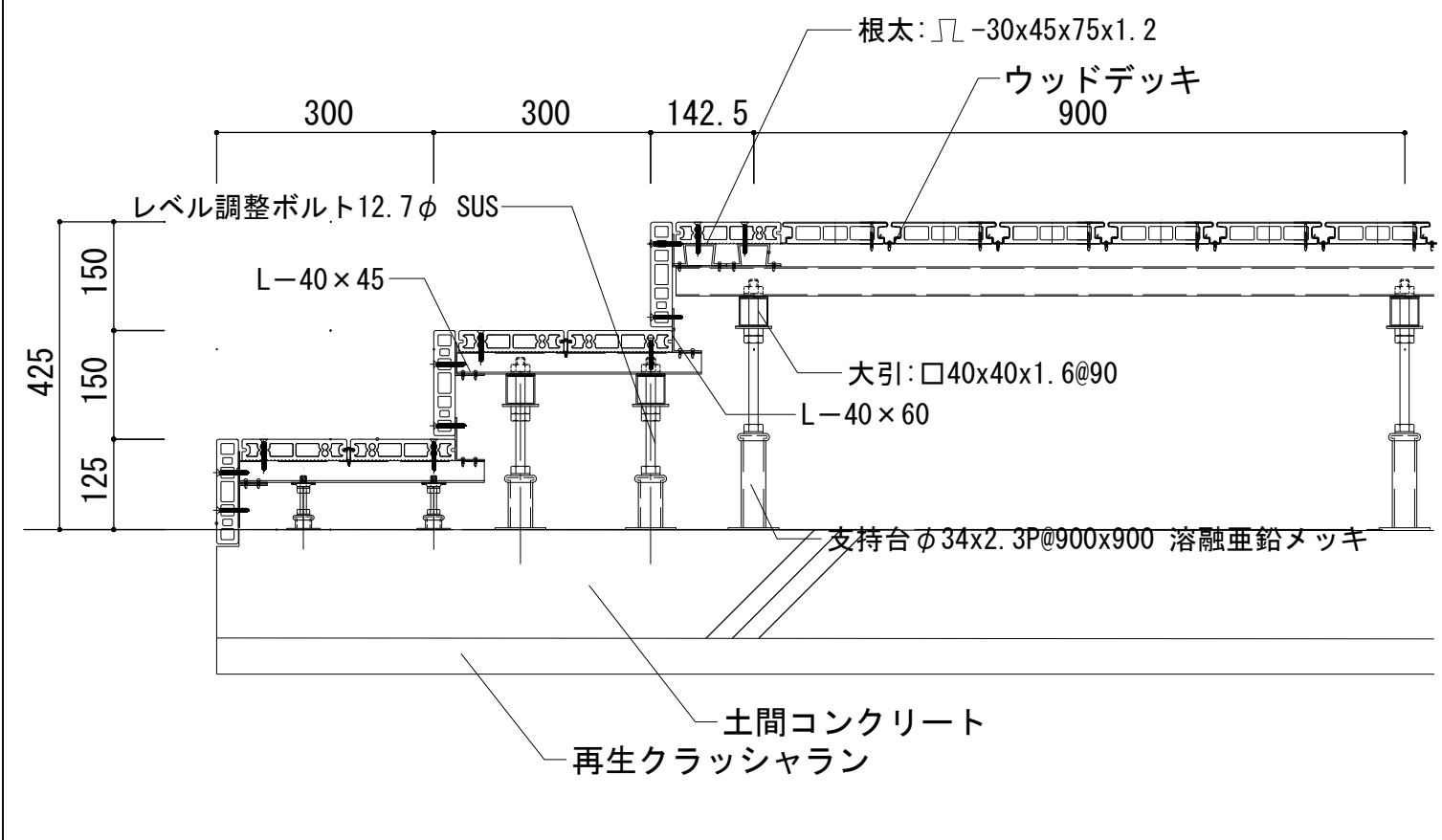
ウッドデッキ点検口詳細図(参考図)

1/10



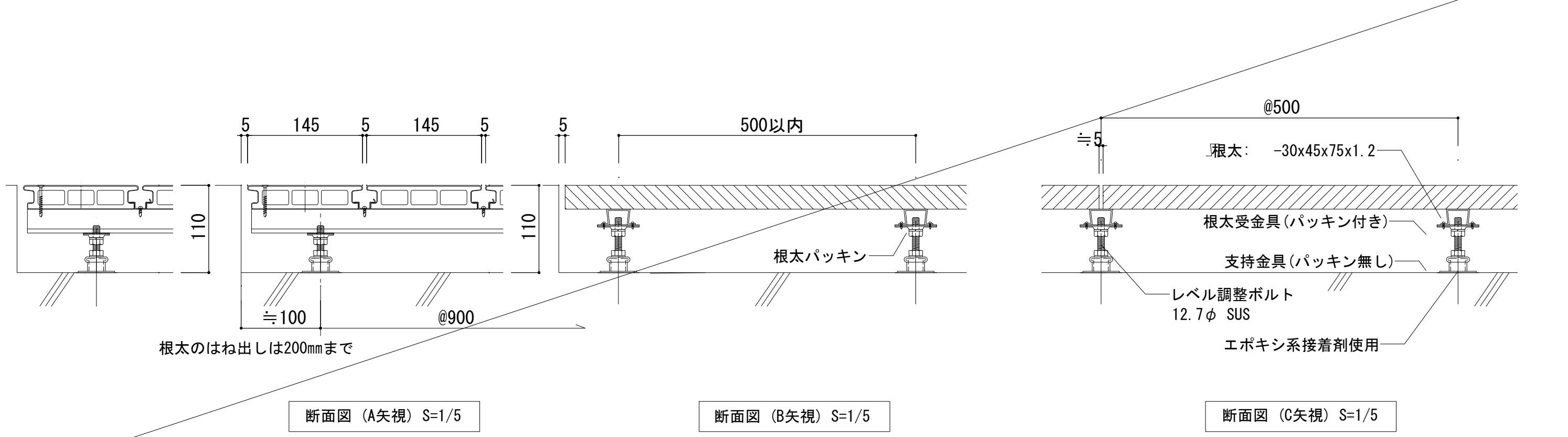
ウッドデッキ階段部幕板詳細図1(参考図)

1/10



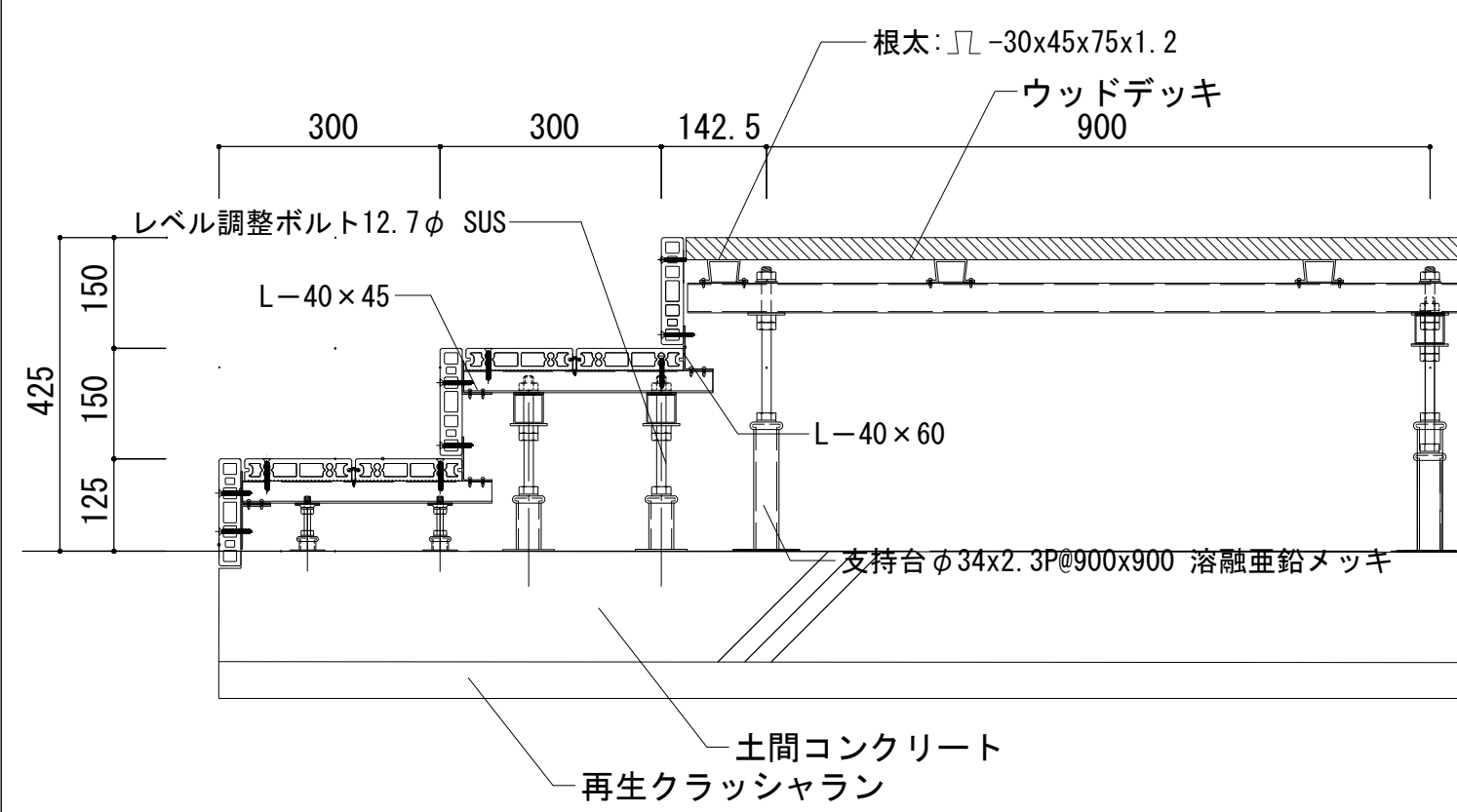
ウッドデッキ(根太型)詳細図(参考図)

1/5

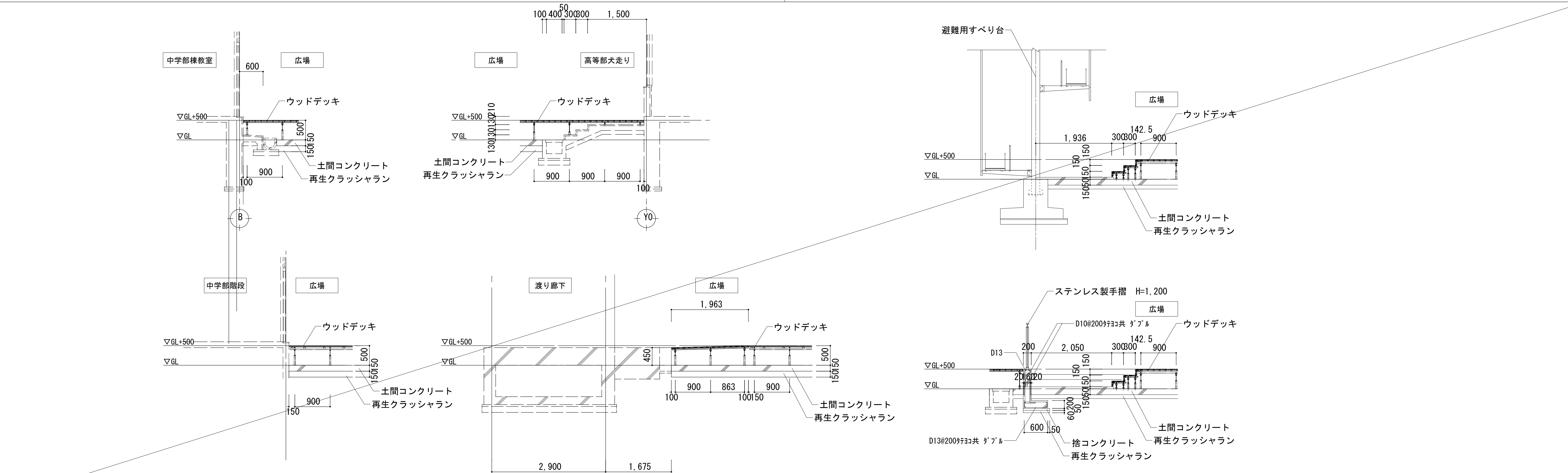


ウッドデッキ階段部幕板詳細図2(参考図)

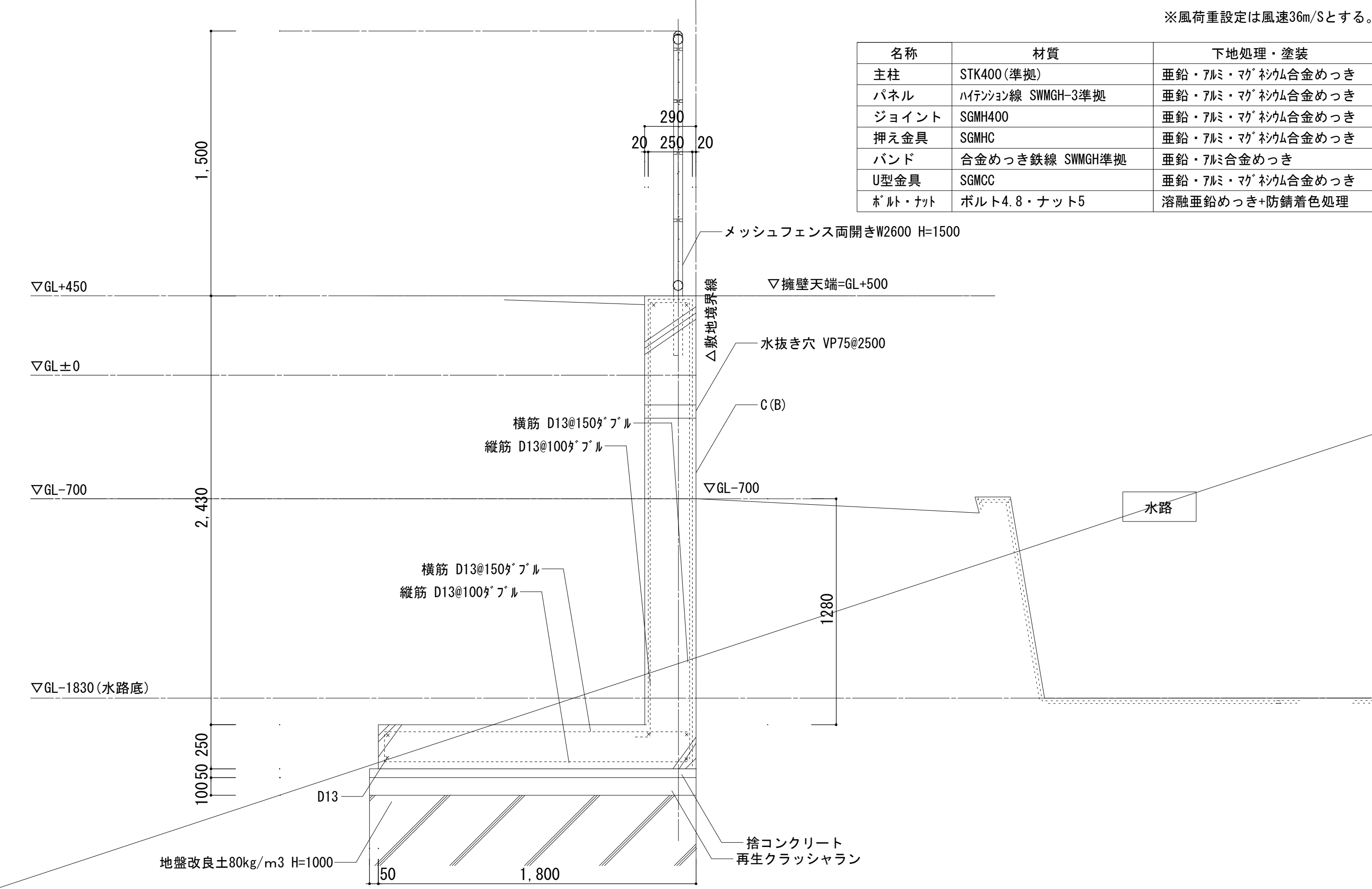
1/10



ウッドデッキ詳細図(参考図)



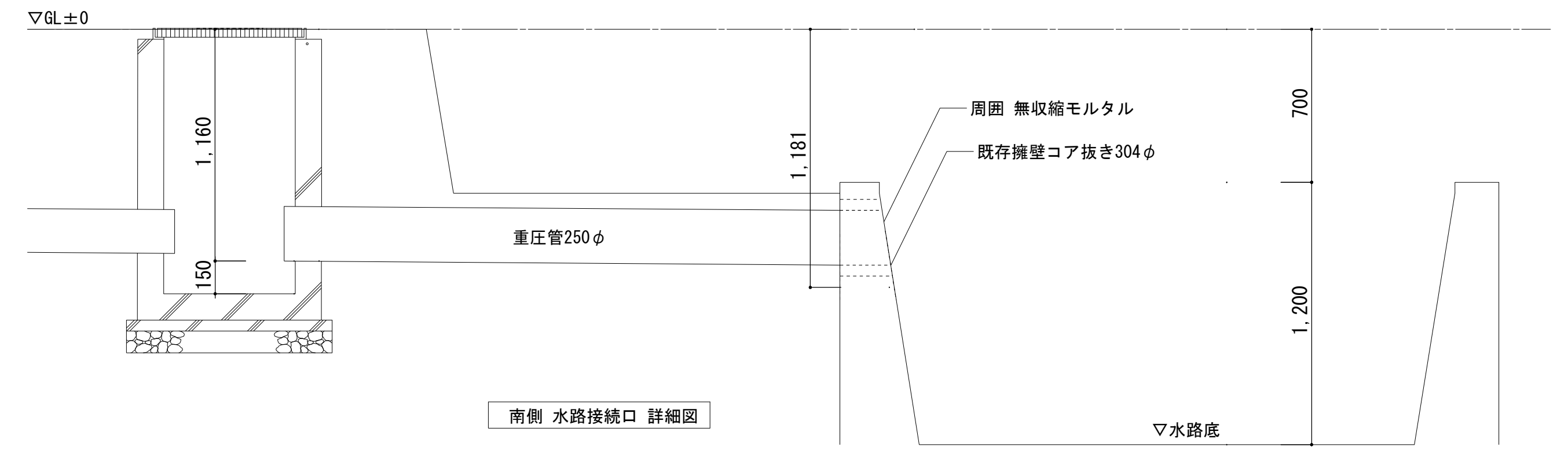
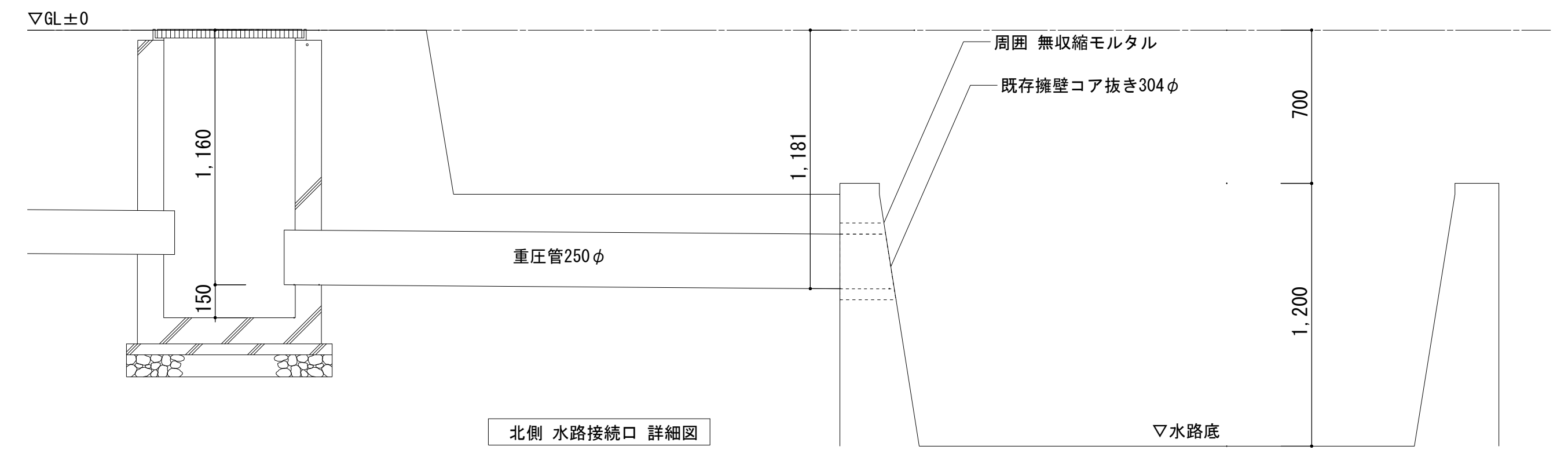
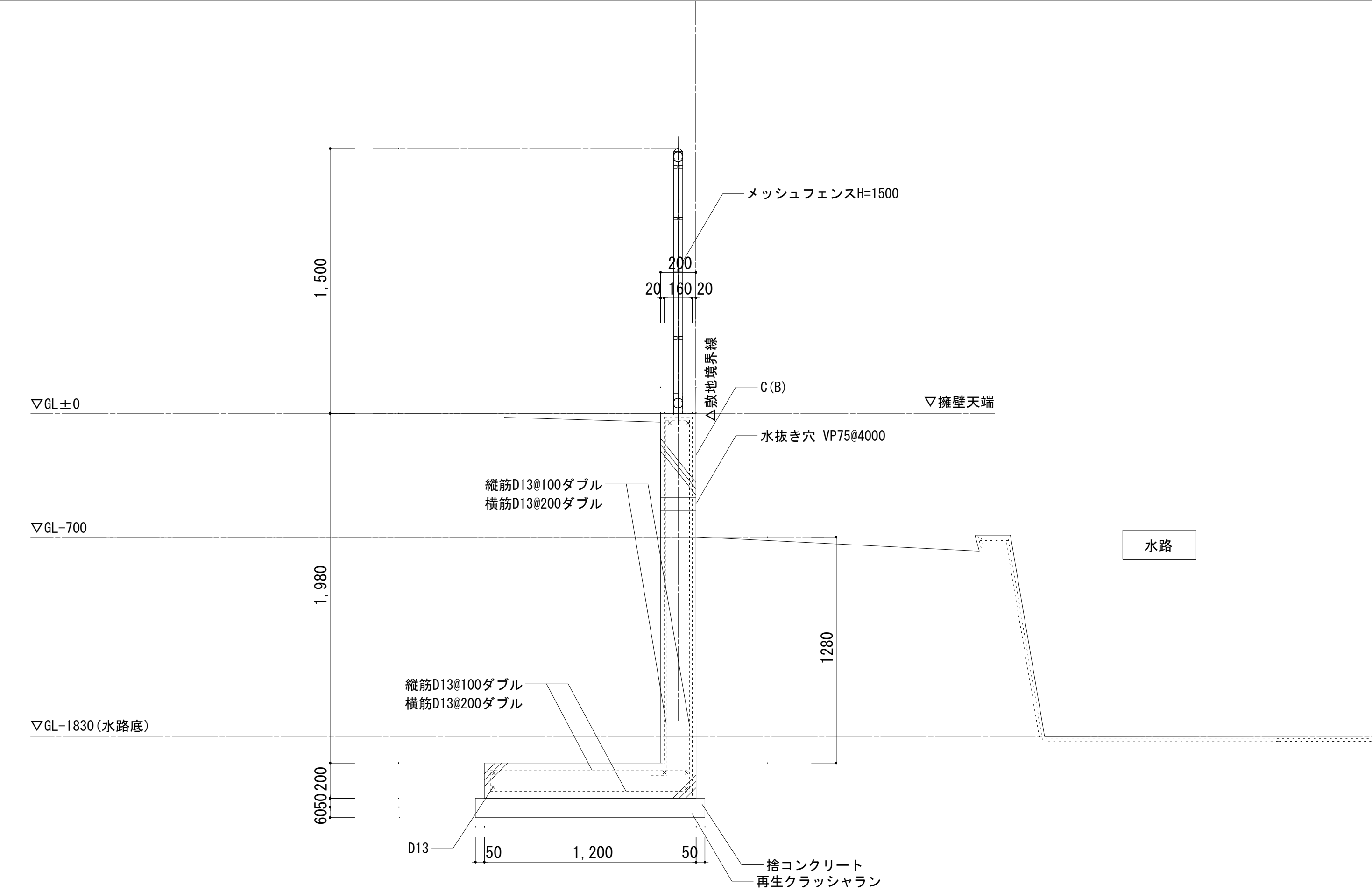
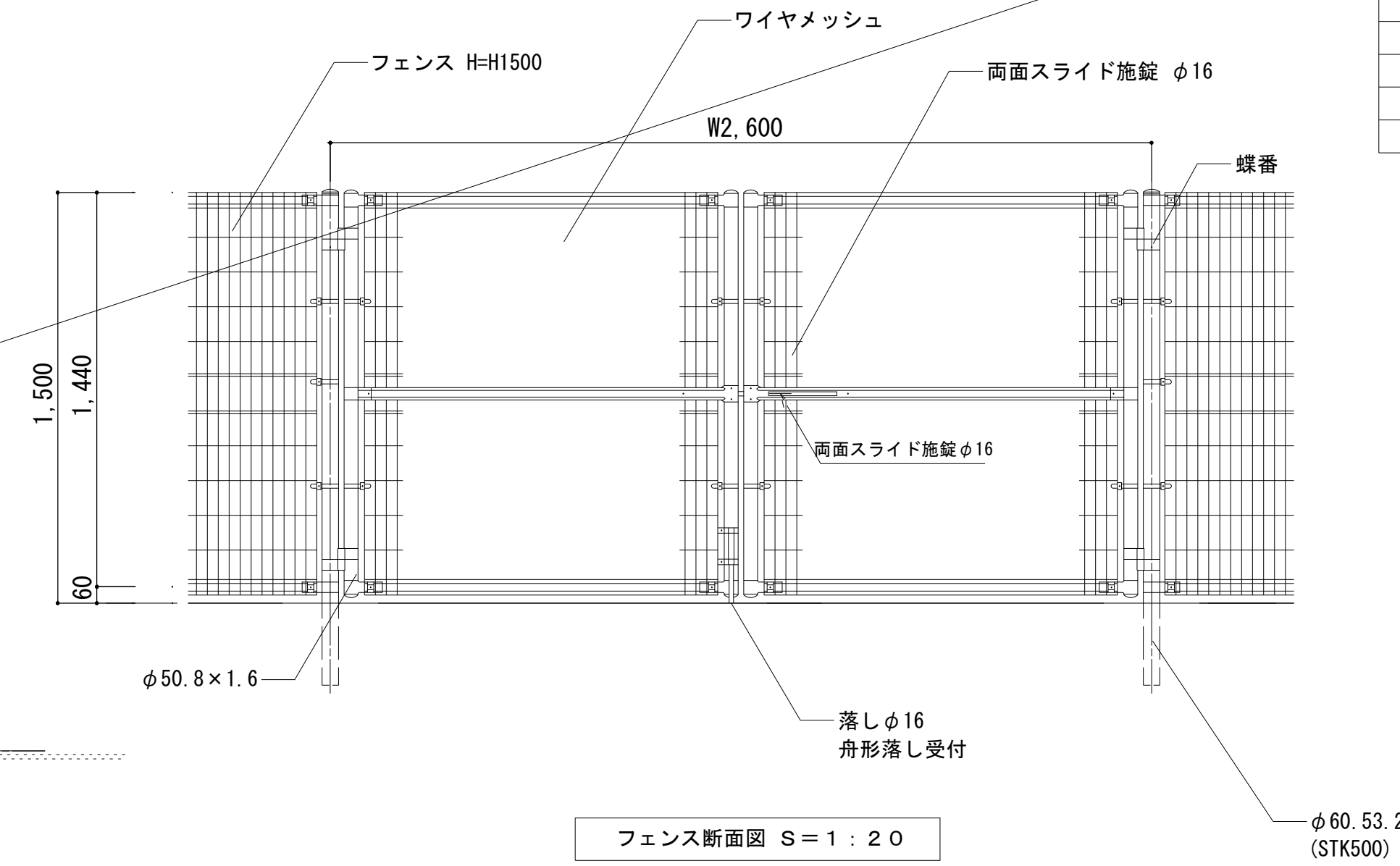
徳島県土整備部営繕課	●工事名 R6 営繕 国府支援学校 徳・国府 外構他工事	●図面番号 A-220	株式会社 あい設計 四国支社 一級建築士事務所 一級建築士事務所 愛媛県知事登録 第3099号 一級建築士 大臣登録 第218291号 津田 孝二
	●図面名 外構詳細図(4)	●縮尺 図示	

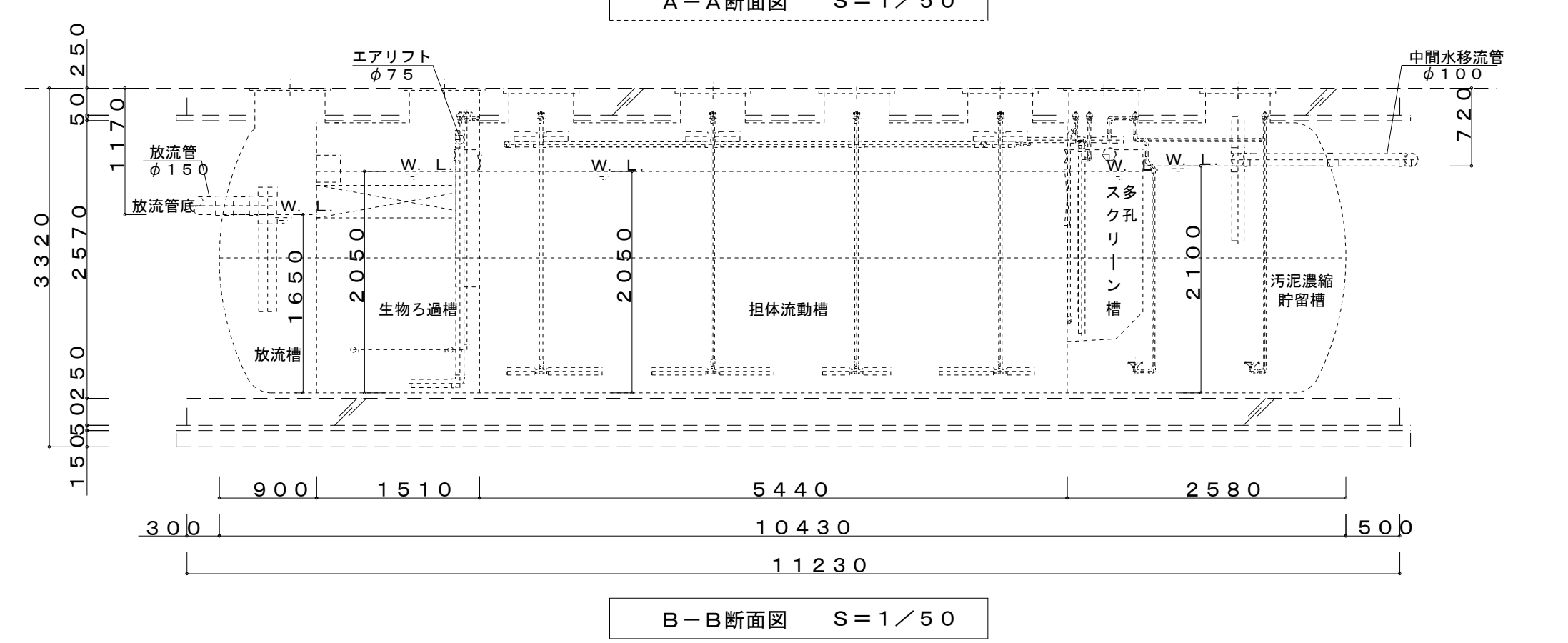
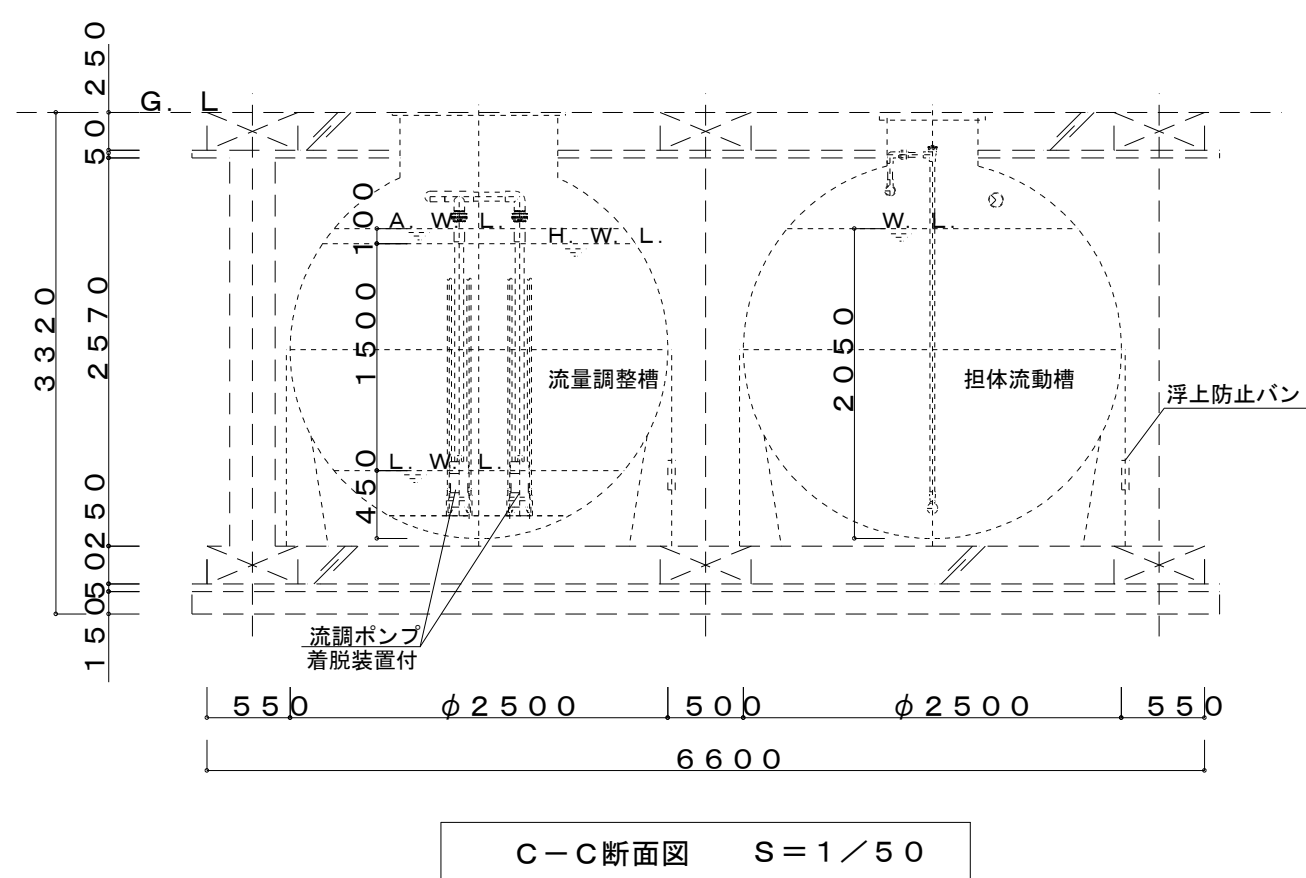
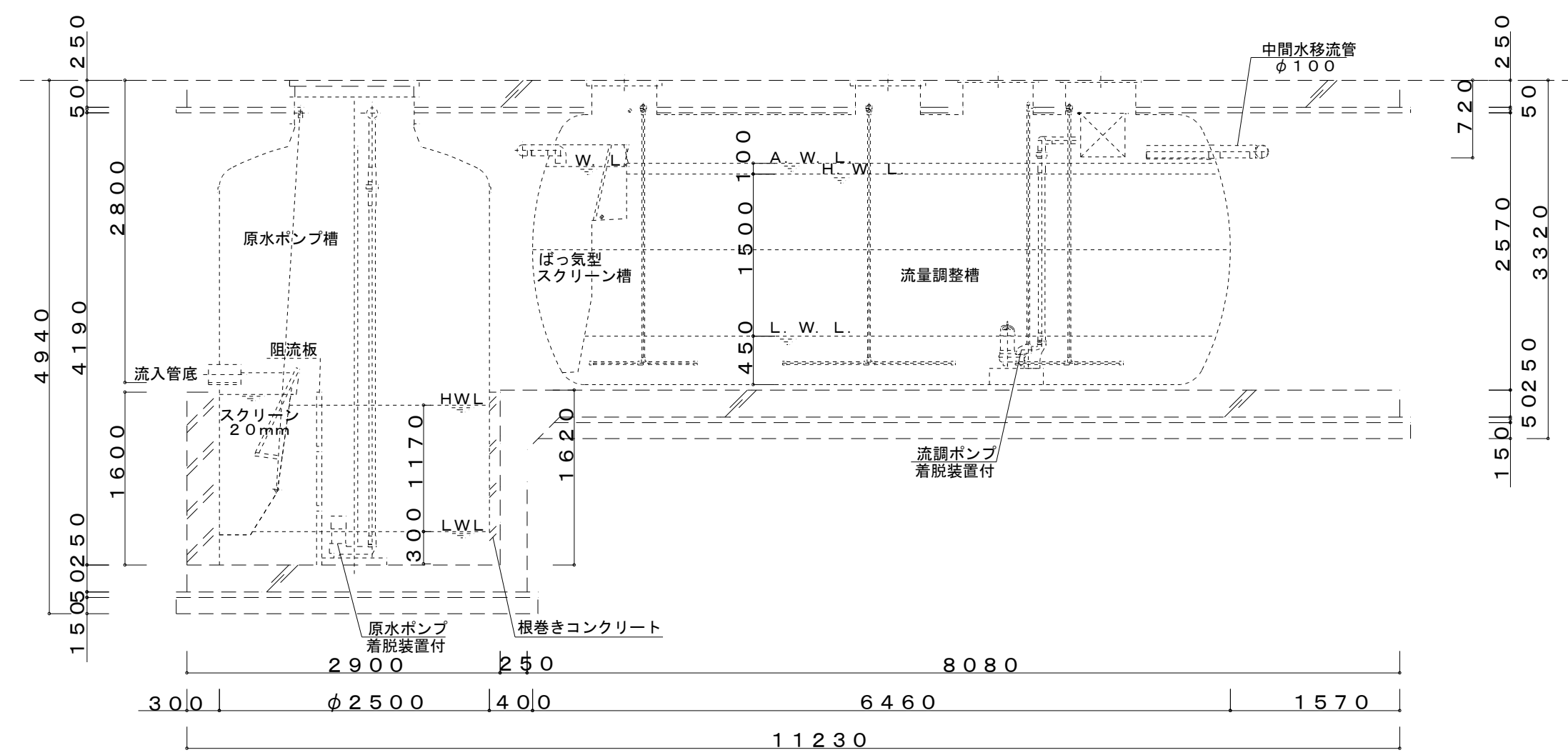
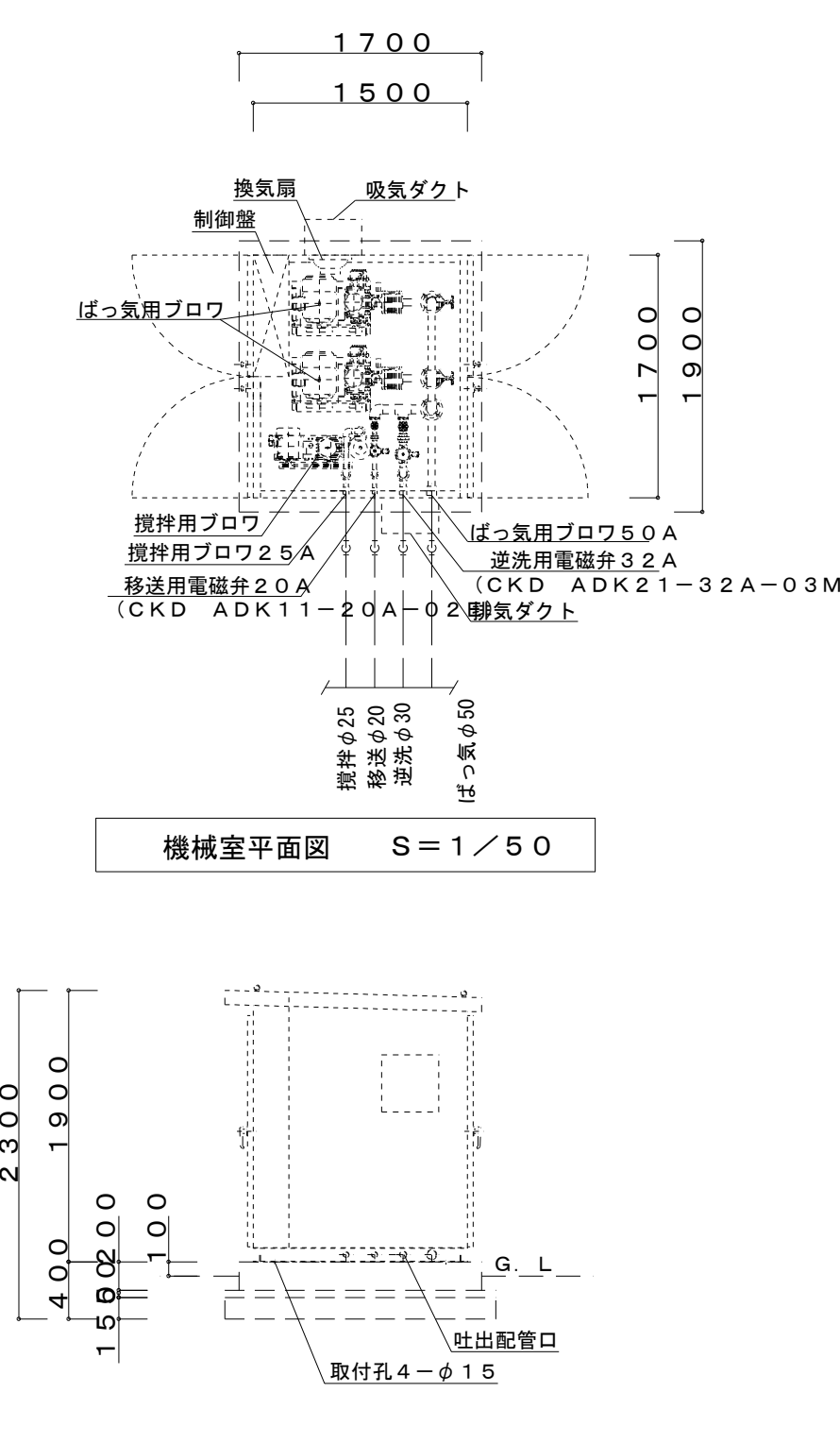
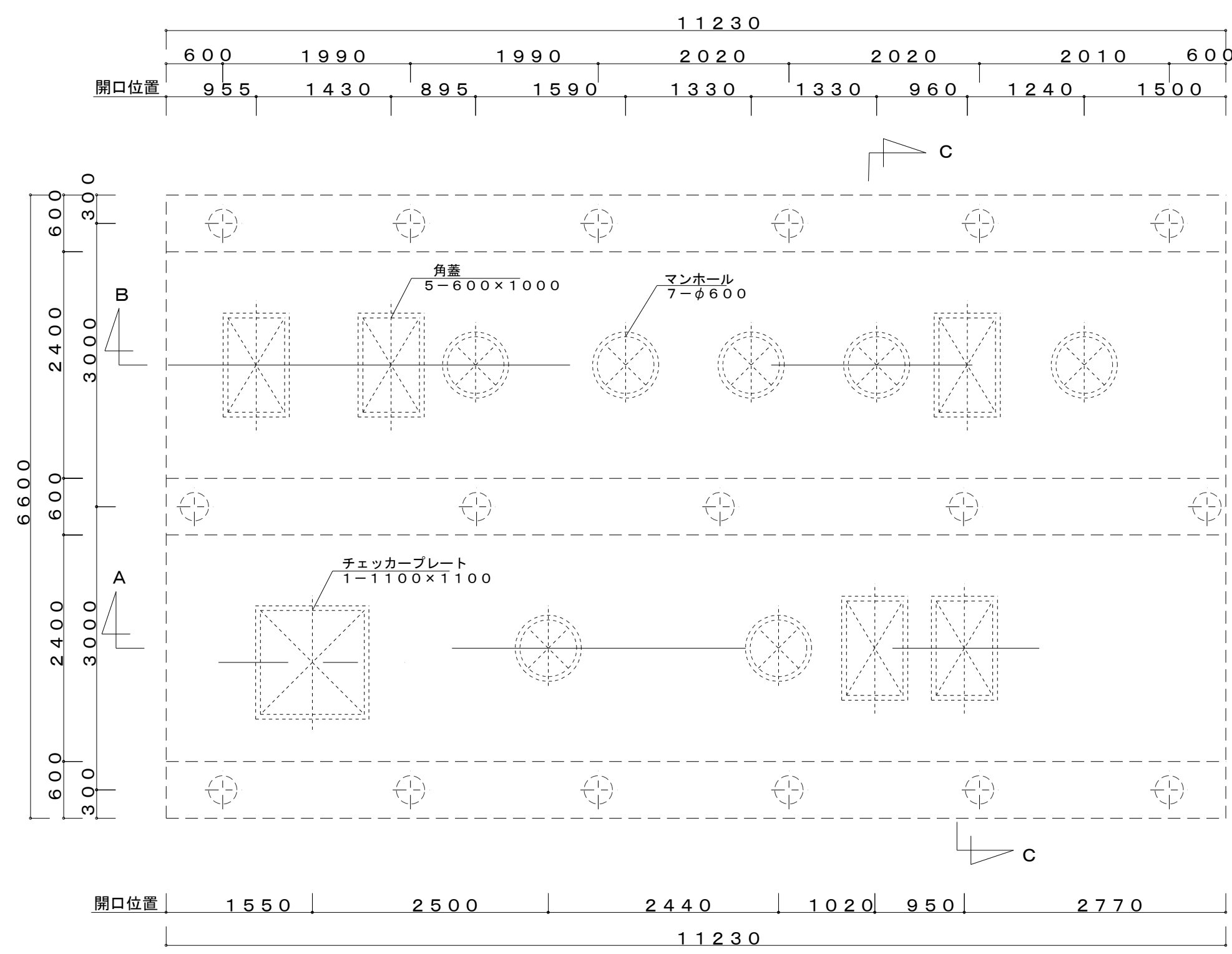
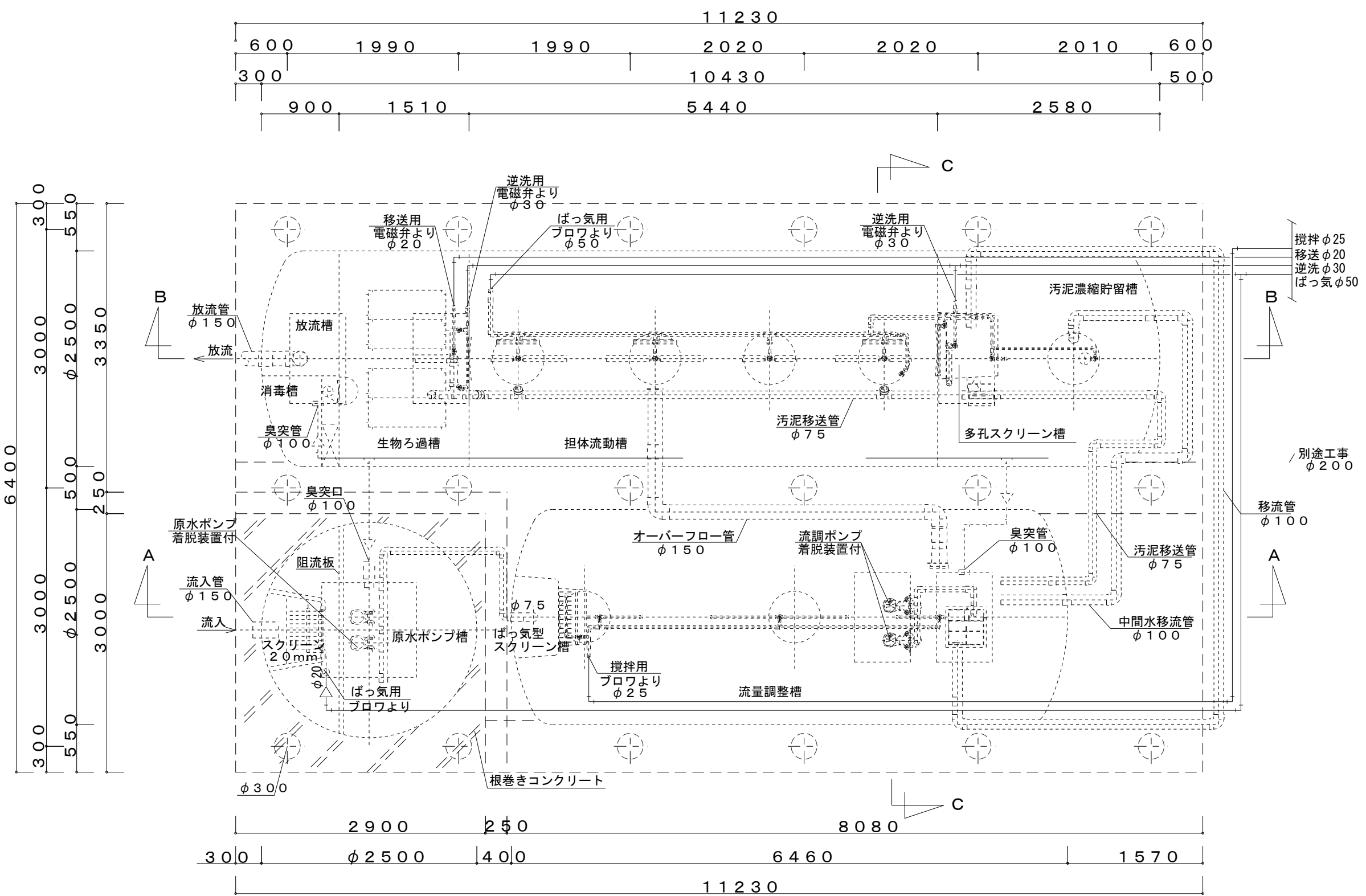


名称	材質	下地処理・塗装
主柱	STK400 (準拠)	亜鉛・7%ミ・マゲ 初め合金めっき
パネル	ハイテンション線 SWMGH-3準拠	亜鉛・7%ミ・マゲ 初め合金めっき
ジョイント	SGMH400	亜鉛・7%ミ・マゲ 初め合金めっき
押え金具	SGMHC	亜鉛・7%ミ・マゲ 初め合金めっき
バンド	合金めっき鉄線 SWMGH準拠	亜鉛・7%ミ合金めっき
U型金具	SGMCC	亜鉛・7%ミ・マゲ 初め合金めっき
ボルト・ナット	ボルト4.8・ナット5	溶融亜鉛めっき+防錆着色処理

※風荷重設定は風速36m/Sとする。

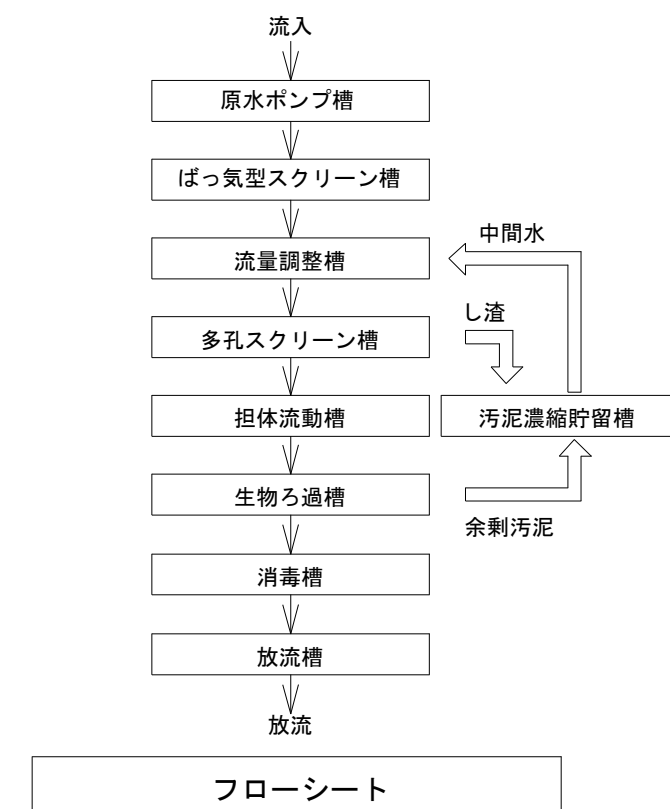
名称	材質	下地処理・塗装
主柱	STK400 (準拠)	亜鉛・7%ミ・マゲ 初め合金めっき
パネル	ハイテンション線 SWMGH-3準拠	亜鉛・7%ミ・マゲ 初め合金めっき
ジョイント	SGMH400	亜鉛・7%ミ・マゲ 初め合金めっき
押え金具	SGMHC	亜鉛・7%ミ・マゲ 初め合金めっき
バンド	合金めっき鉄線 SWMGH準拠	亜鉛・7%ミ合金めっき
U型金具	SGMCC	亜鉛・7%ミ・マゲ 初め合金めっき
ボルト・ナット	ボルト4.8・ナット5	溶融亜鉛めっき+防錆着色処理





容量表	
項目	設計容量 (m ³)
原水ポンプ槽	5.271
ばっ気型スクリーン槽	0.807
流量調整槽	20.824
汚泥濃縮貯留槽	9.312
多孔スクリーン槽	0.392
担体流動槽	23.434
生物ろ過槽	6.504
消毒槽	0.991
放流槽	1.000

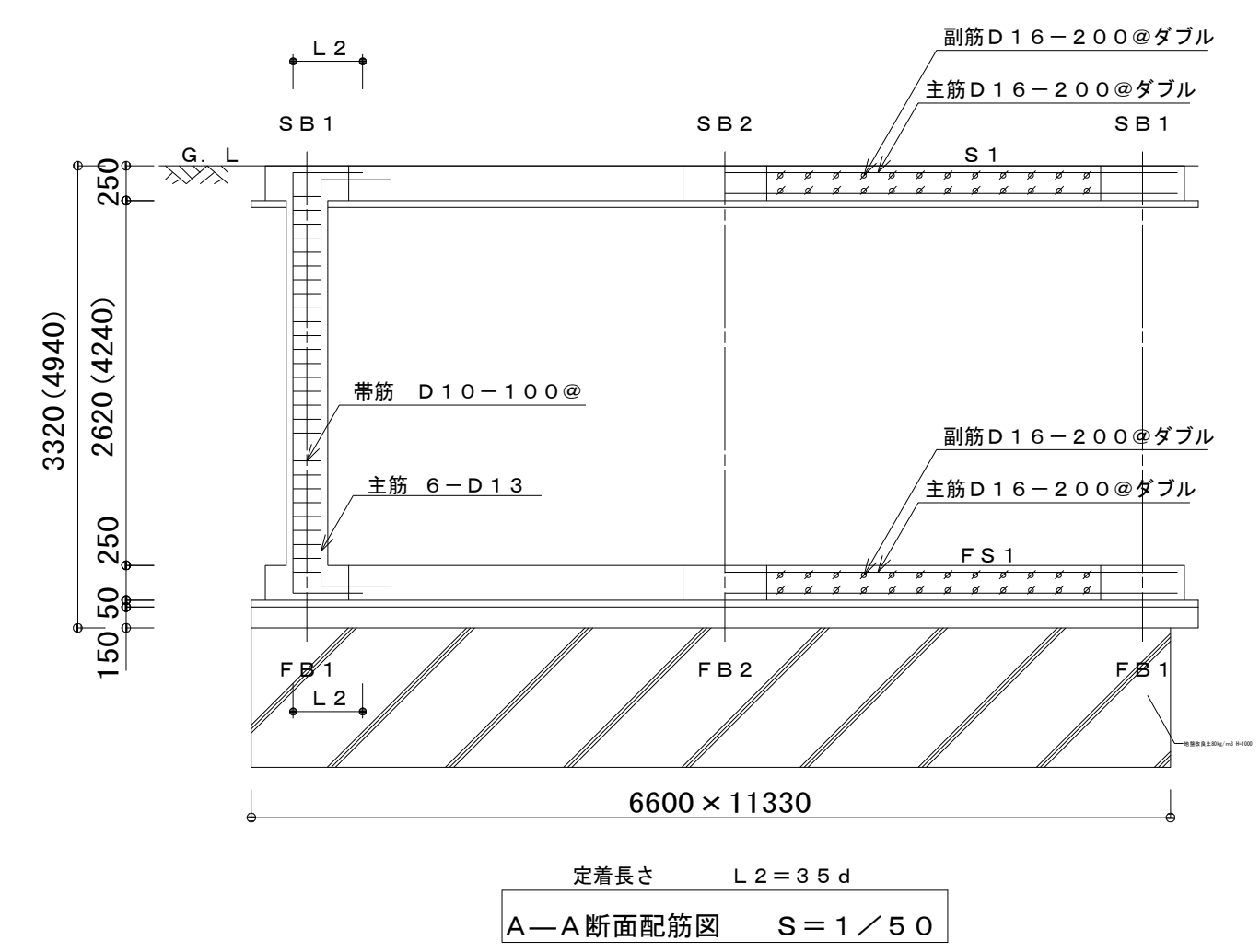
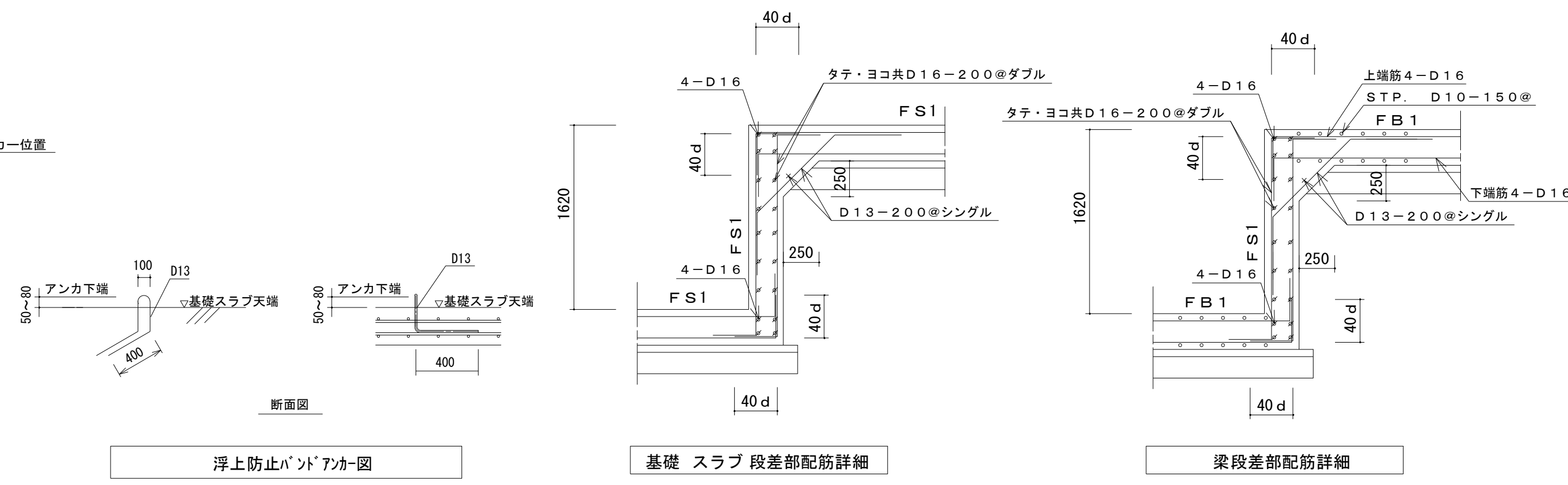
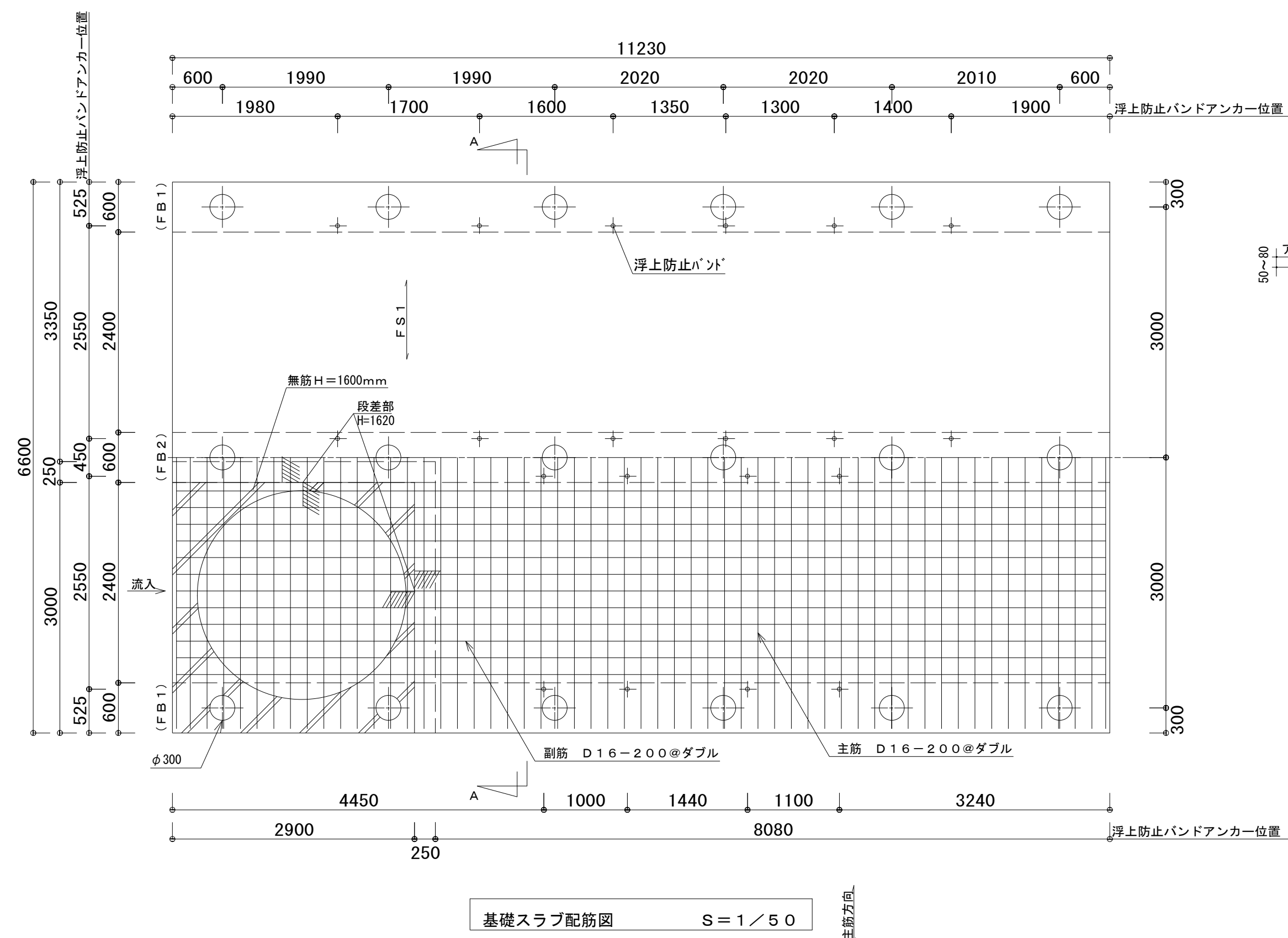
機器仕様表	
ばっ気用ブロウ仕様	攪拌用ブロウ仕様
型式 ルーツ	型式 ローター
口径 50φ	口径 25φ
風量 1.94m ³ /分	風量 0.40m ³ /分
風圧 30.0kPa	風圧 20.0kPa
動力 2.20kW	動力 0.75kW
台数 2台	台数 1台
原水ポンプ仕様(着脱)	流量ポンプ仕様(着脱)
型式 汚物水中ポンプ	型式 汚物水中ポンプ
口径 50φ	口径 50φ
揚水量 0.17m ³ /分	揚水量 0.118m ³ /分
揚程 5m	揚程 3m
動力 0.40kW	動力 0.15kW
台数 2台	台数 2台
移送用電磁弁	逆流用電磁弁
口径 20A	口径 32A
動力 0.01kW	動力 0.048kW
台数 1台	台数 1台



【注記】
1. 図中の // で示すコンクリート躯体(基礎、支柱、頂版スラブ、根巻コンクリート)

スラブ荷重はT-25とする。
マンホールは、防臭型ロック式及び溶融亜鉛メッキ仕上とする。
チェッカープレートは、防臭型ロック式及び溶融亜鉛メッキ仕上とする。
臭突工事は、浄化槽工事外とする。(臭突口以降)(臭突排気風量3.51m³/分)
臭突引き配管は、上り勾配施工とする。
流入・放流配管は、処理槽工事外とする。
処理槽流入部付近に給水栓を設けること。但し、処理槽工事外とする。
円筒槽の補強リングは、FRP製とする。
電磁弁は必ず本体が水平(コイルが垂直)になるように取り付ける。
かさ上げ100mmです。かさ上げは300mm以下と決まっています。

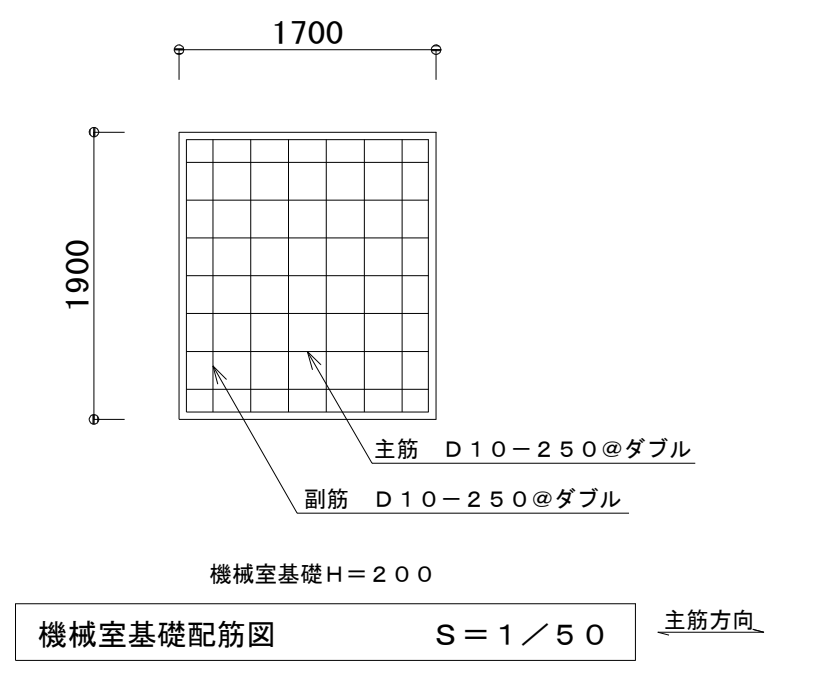
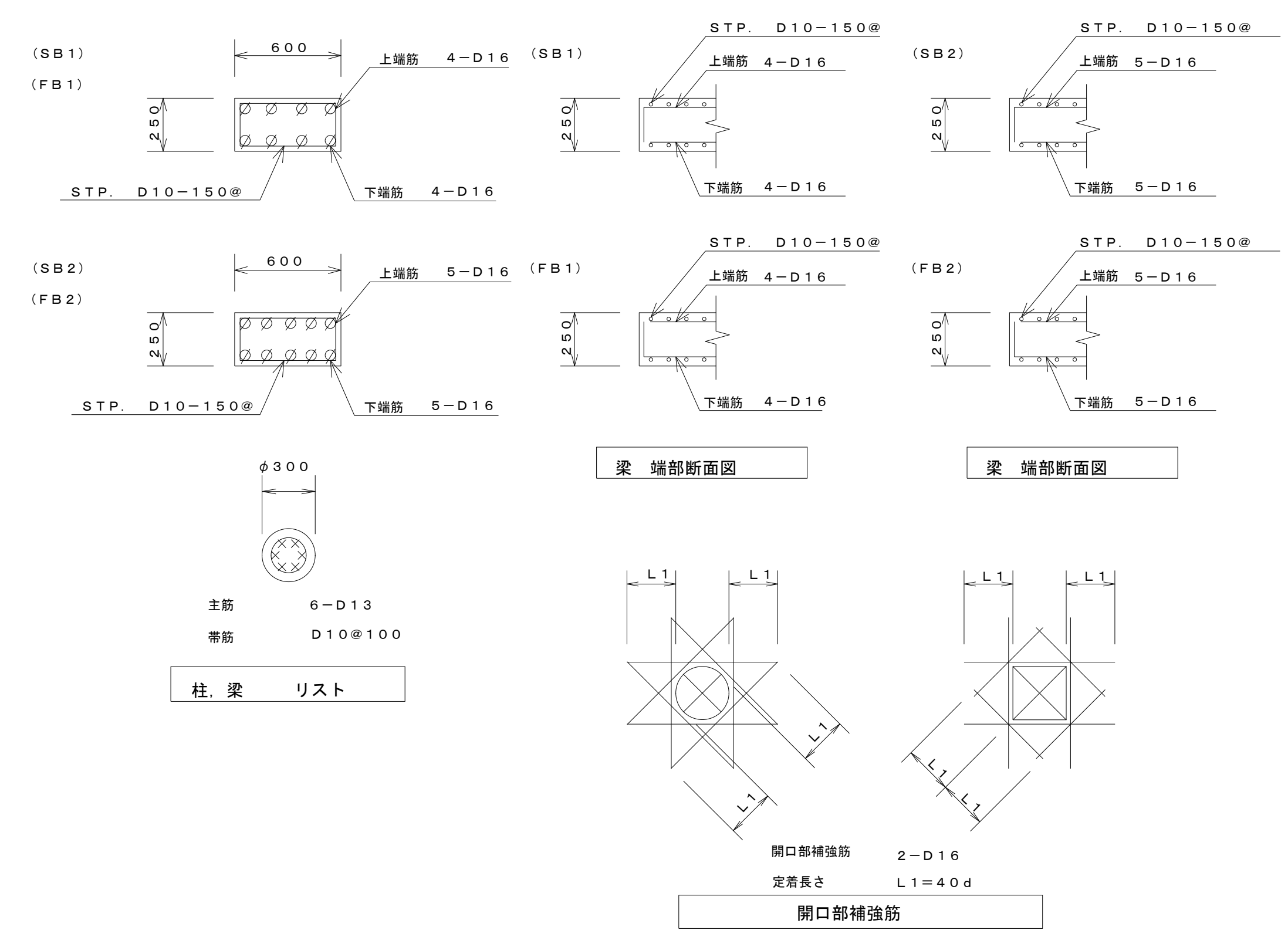
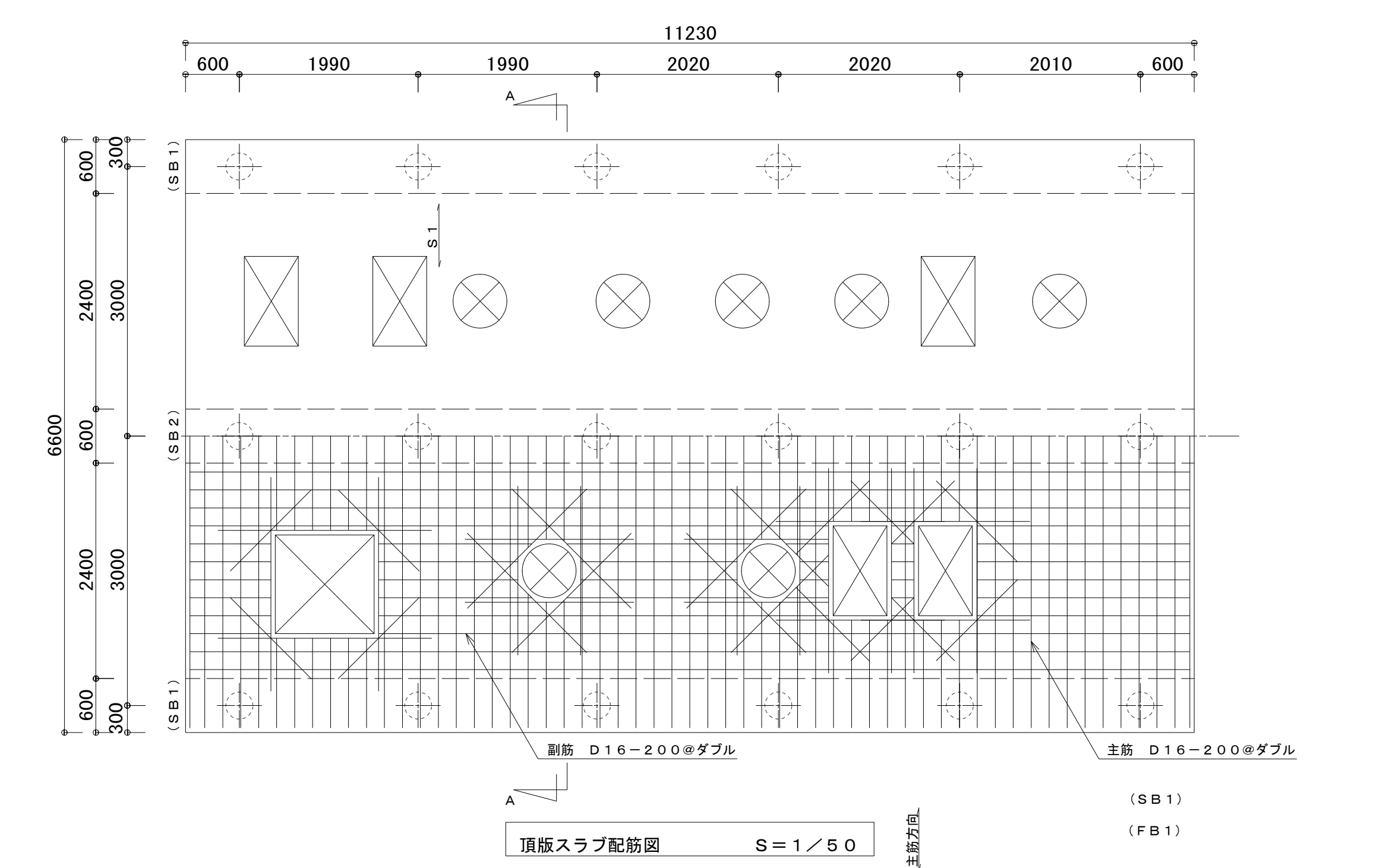
※躯体は建築工事とする。

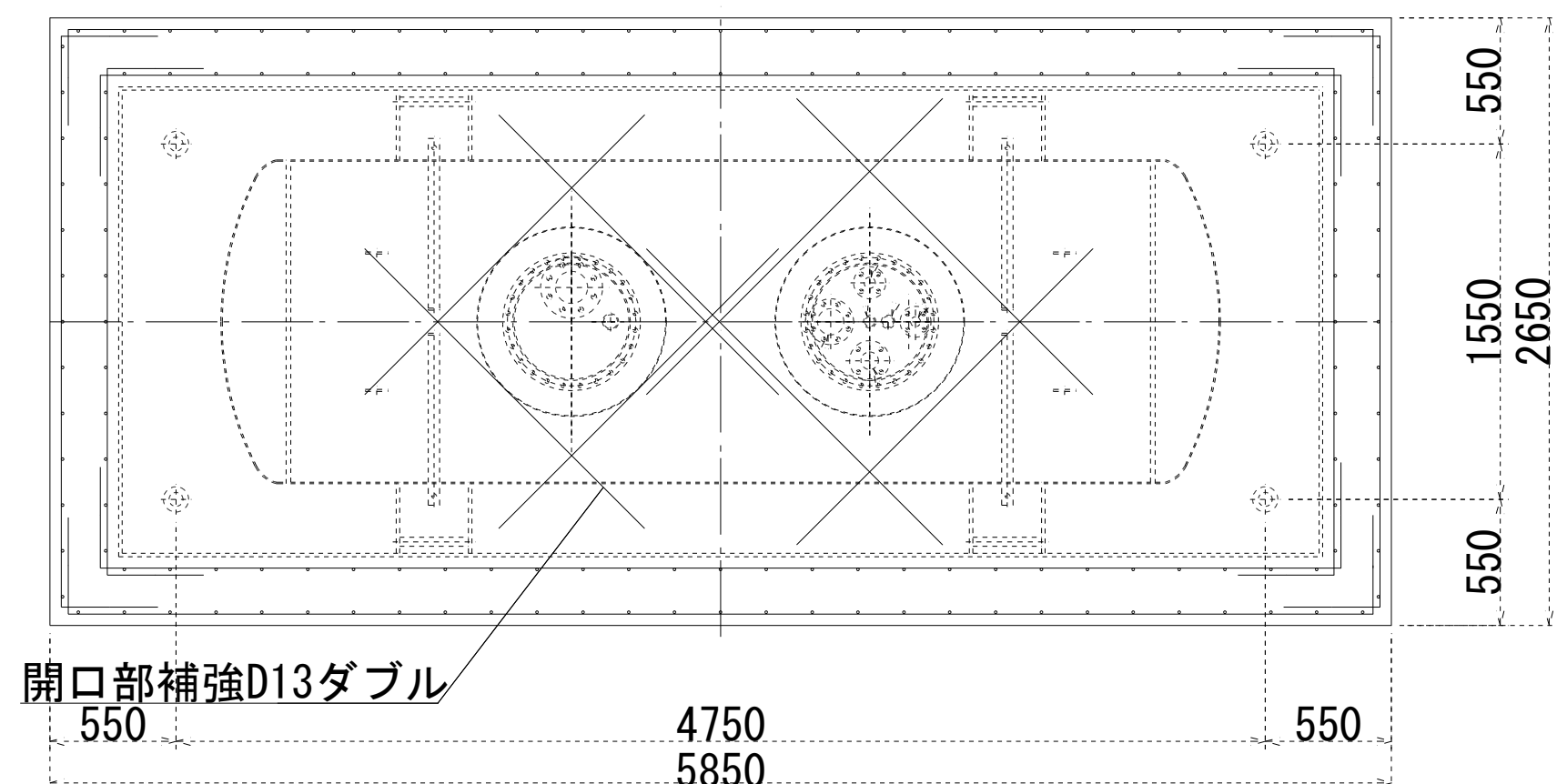


共通事項	
凡例	- - - - D10 x - - - - D13 ∅ - - - - D16 ● - - - - D19 ○ - - - - D22
鉄筋	D16以下—SD295A 使用とする。 D19以上—SD345 使用とする。
コンクリート	$F_c = 24 \text{ N/mm}^2$ とする。
スラブ荷重	$T = 25$
地耐力	75 kN/m^2 とする。
その他	詳細は現場係員の指示による。

スラブリスト					
スラブ	スラブ厚	位置	主筋	副筋	備考
S1	250	全断面	D16-200@	D16-200@	ダブル
FS1	250	全断面	D16-200@	D16-200@	ダブル

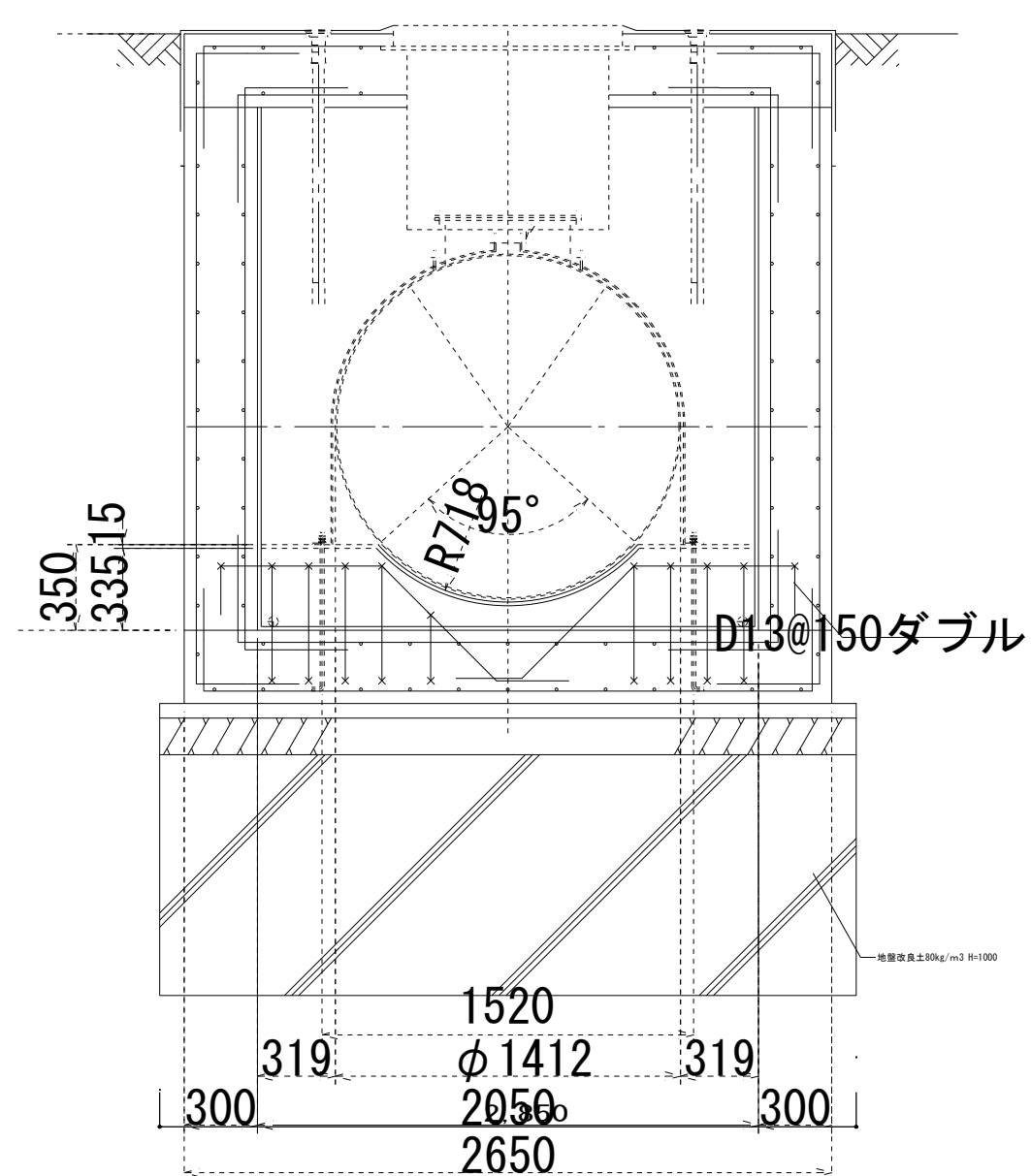
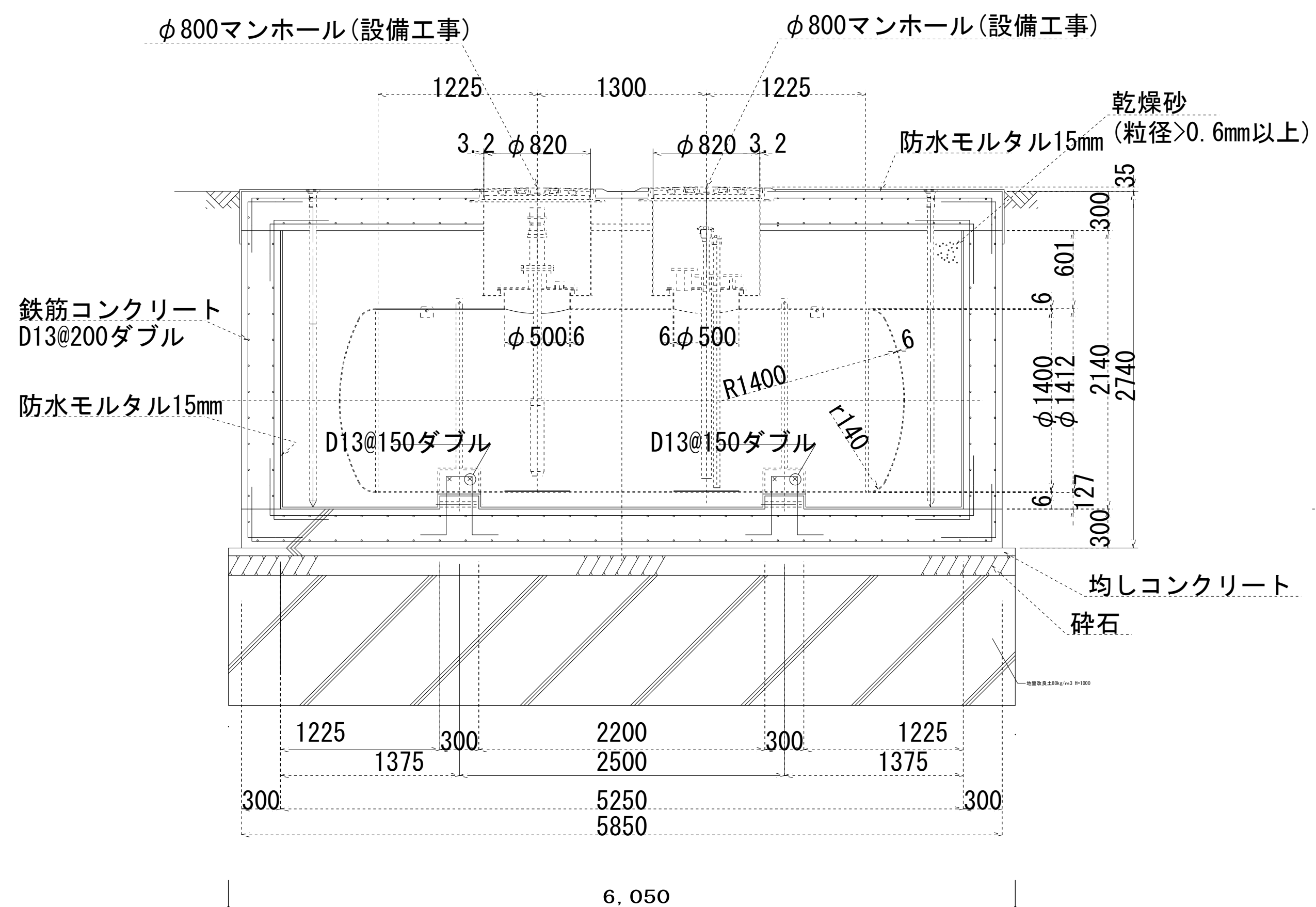
スラブ筋等の重ねつぎ長さは、D16以下—40d以上、
D19以上—45d以上とする。





参考

地下燃料タンク 1基	
容量	消防申請容量：6000L
寸法	φ1400×3790+272+272
板厚	SS400 胴板 6mm 鏡板 6mm
重量	1500kg
油種	A重油
防水	外面FRP防水 2mm以上
水圧試験圧力	70kPa(保持時間10分間)
消防法	危険物地下タンク貯蔵所



徳島県土整備部営繕課

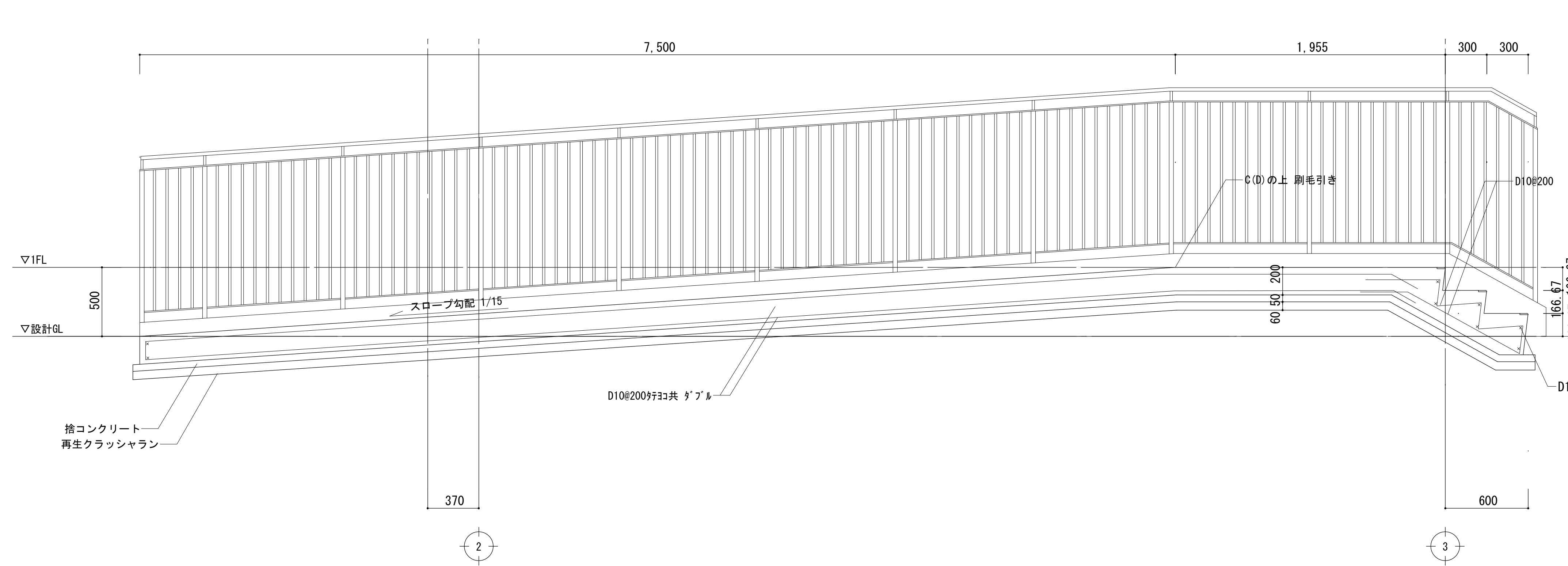
●工事名
R6 営繕 国府支援学校 徳・国府 外構他工事

●図面名
外構詳細図(8)(参考図)

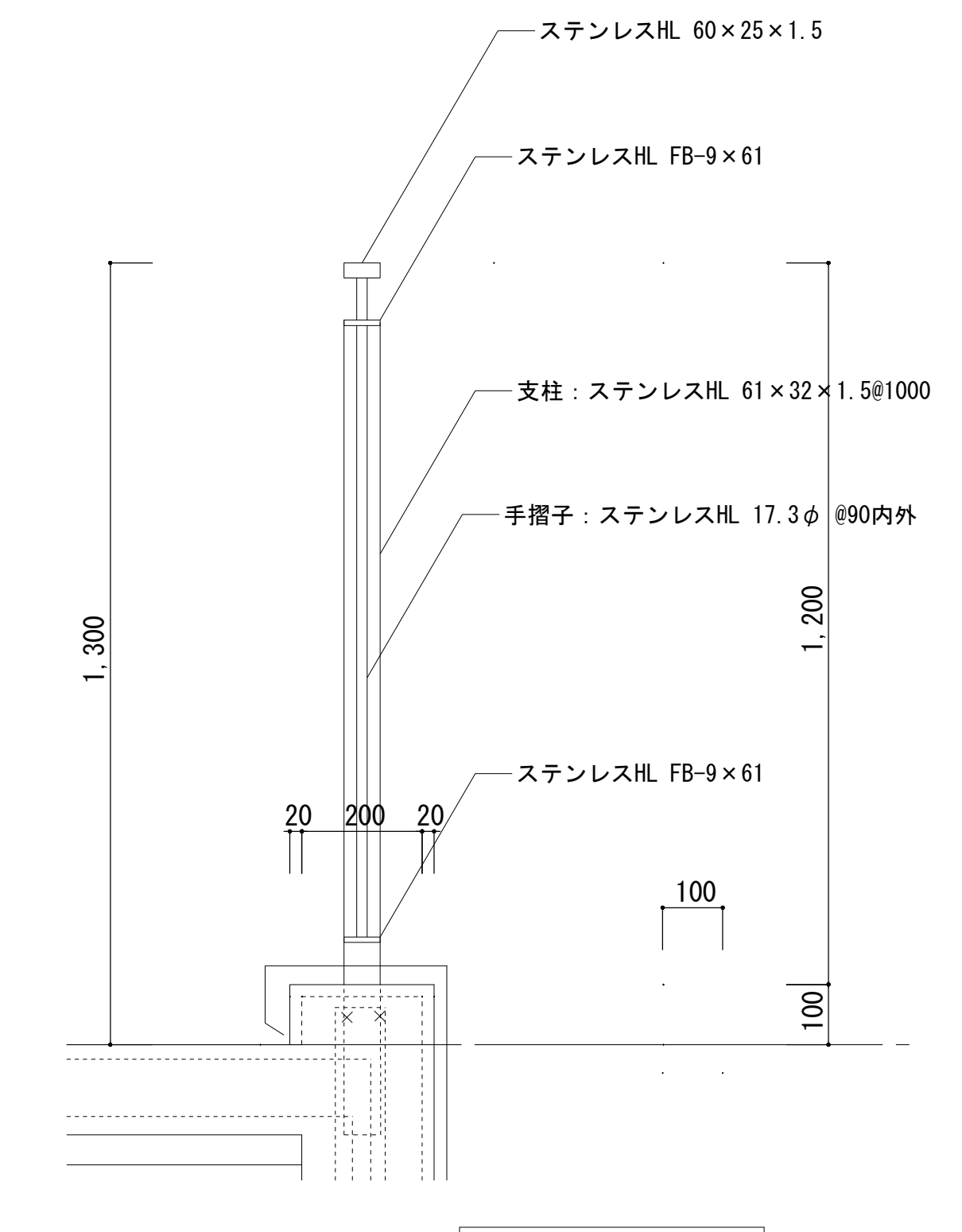
●図面番号
A-224

●縮尺
図示

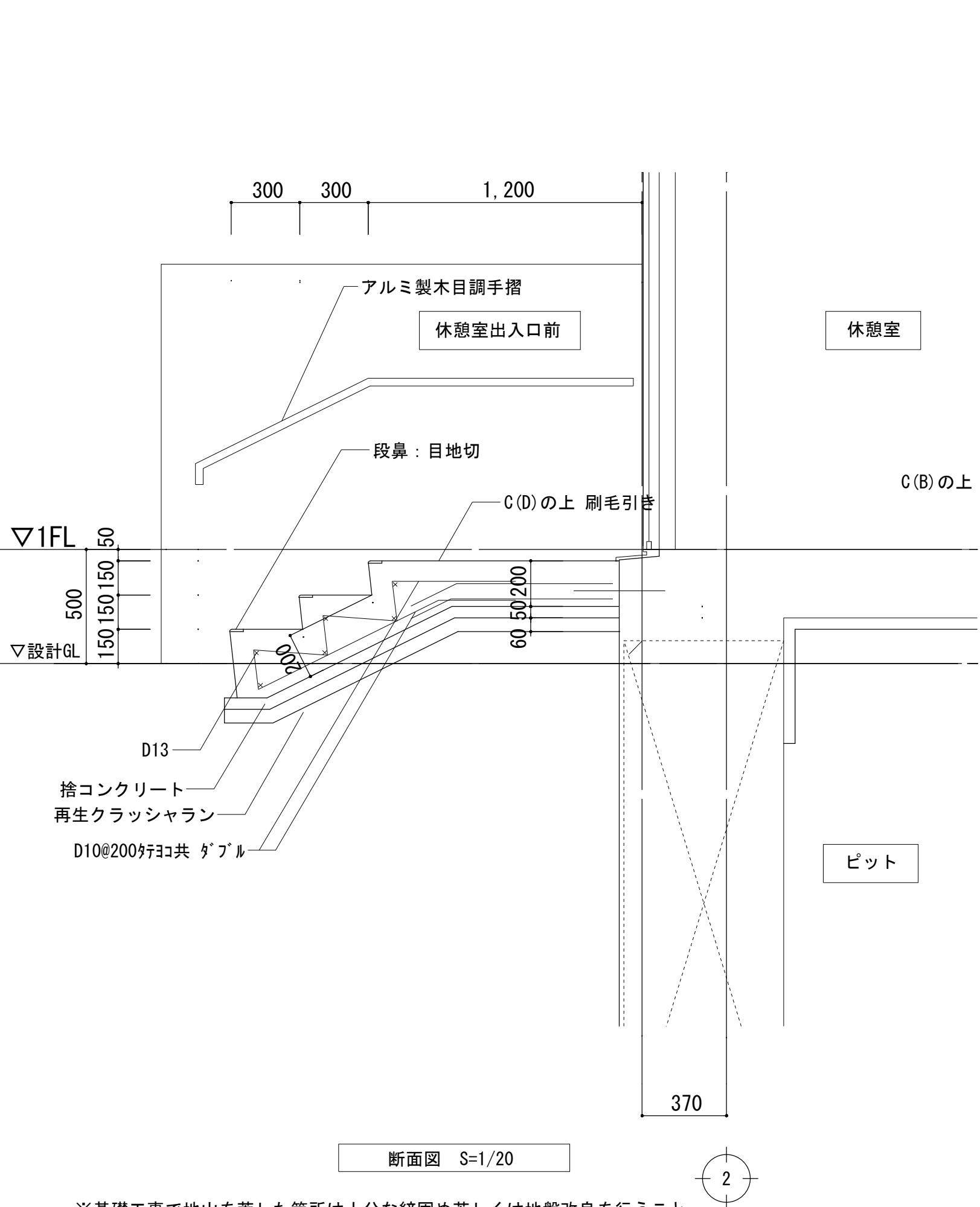
株式会社 あい設計 四国支社 一級建築士事務所
一級建築士事務所 愛媛県知事登録 第3099号
一級建築士 大臣登録 第218291号 津田 孝二



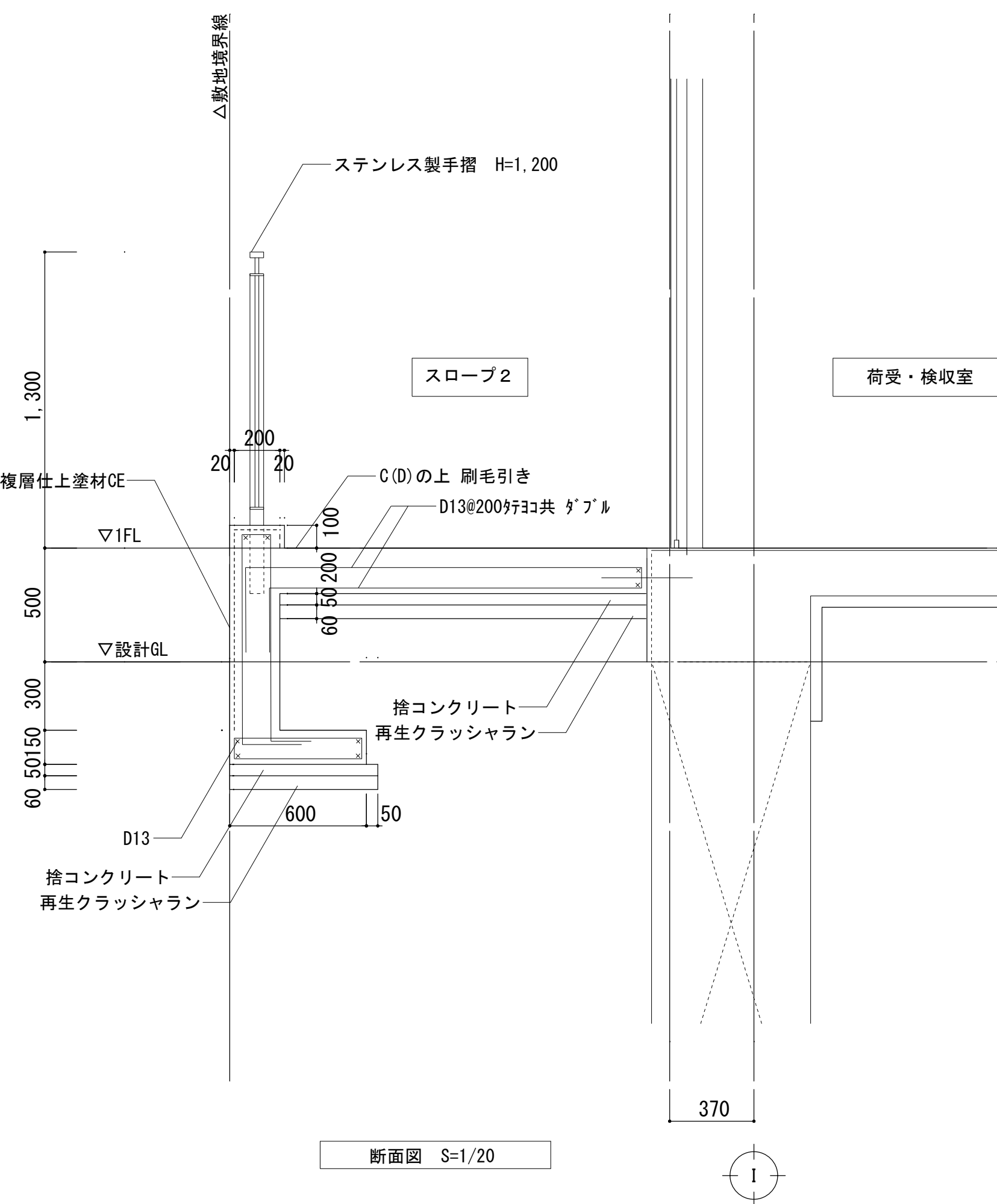
断面図 S=1/20



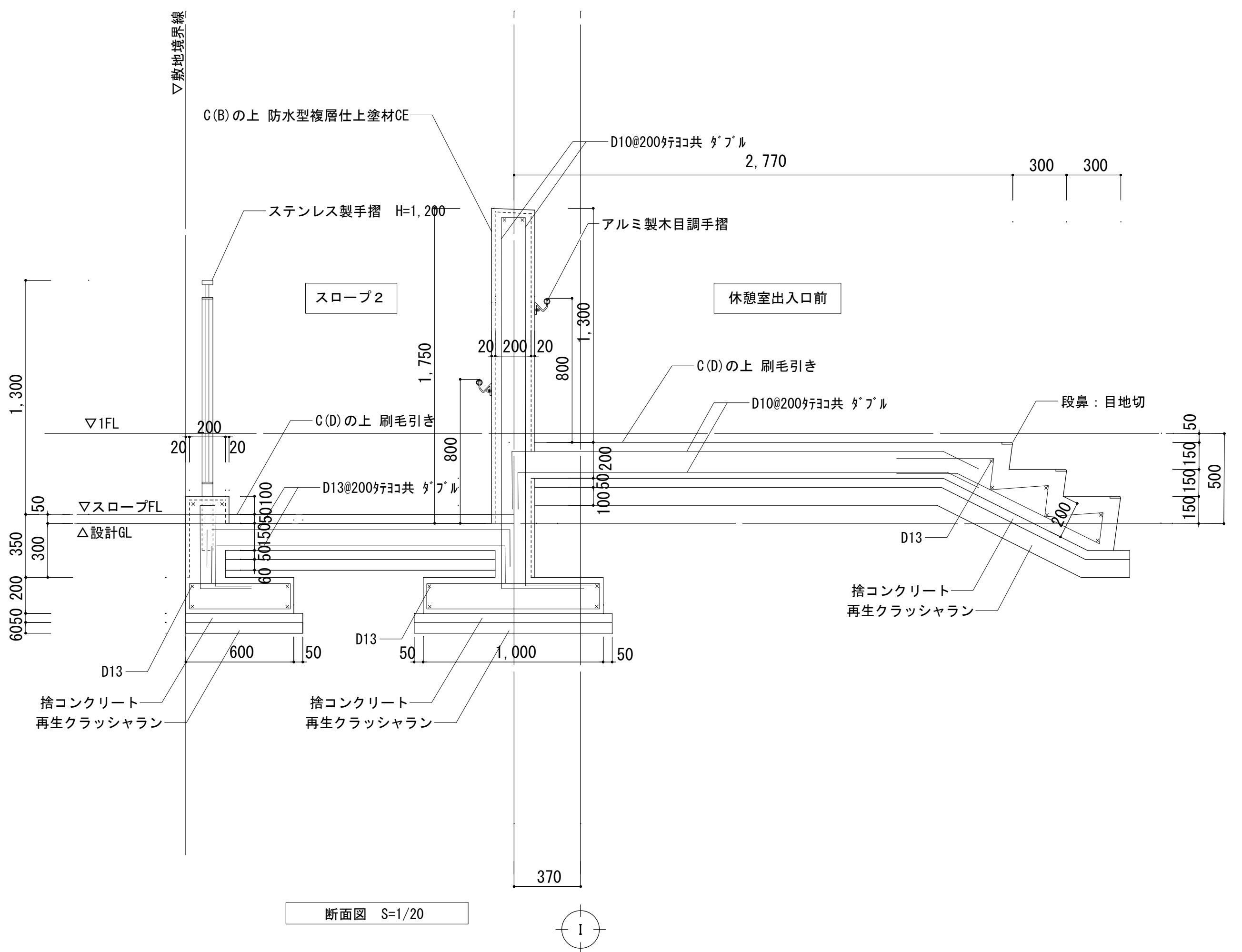
手摺詳細図 S=1/10



断面図 S=1/20



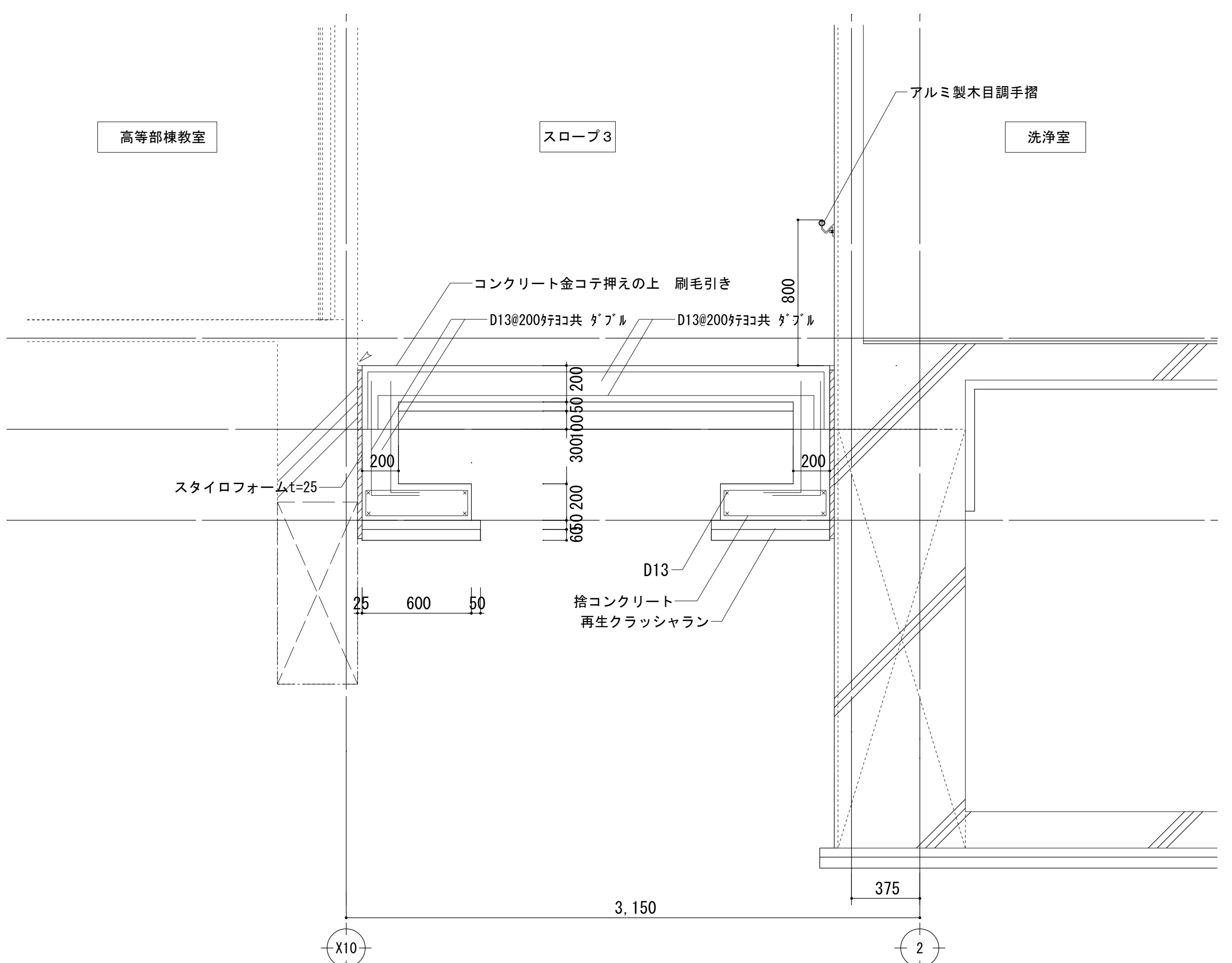
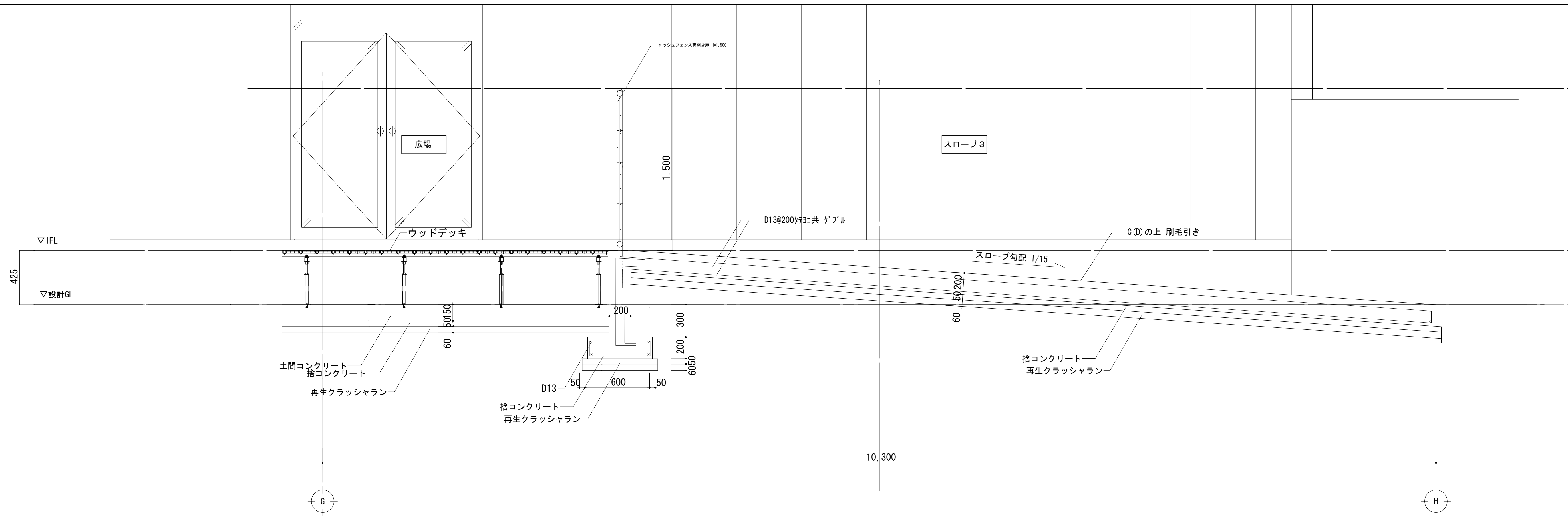
断面図 S=1/20



断面図 S=1/20

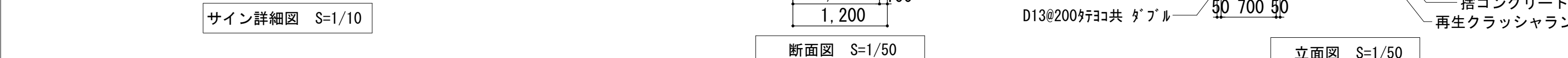
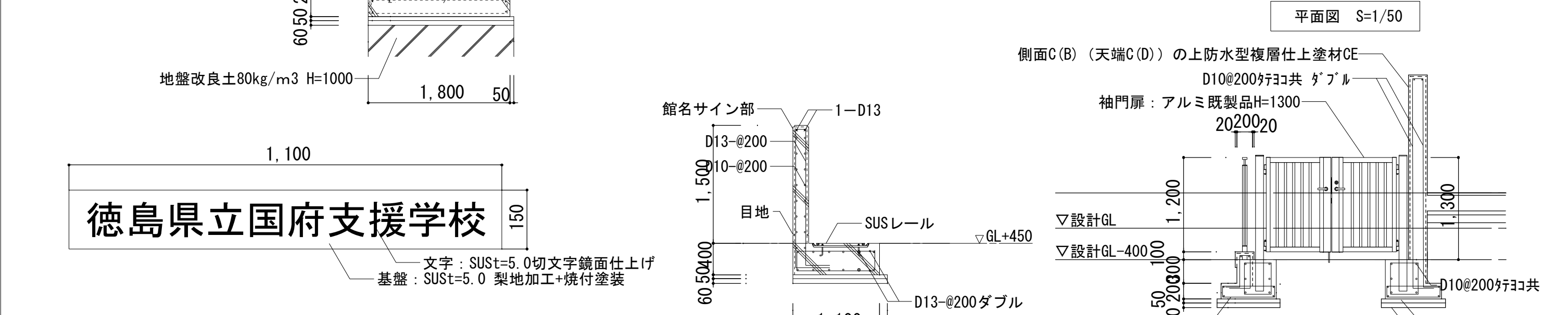
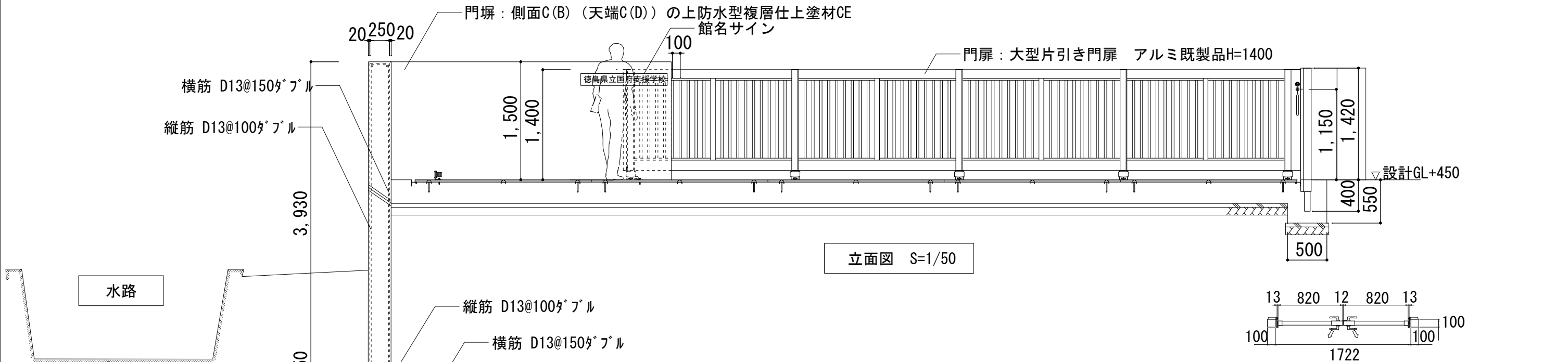
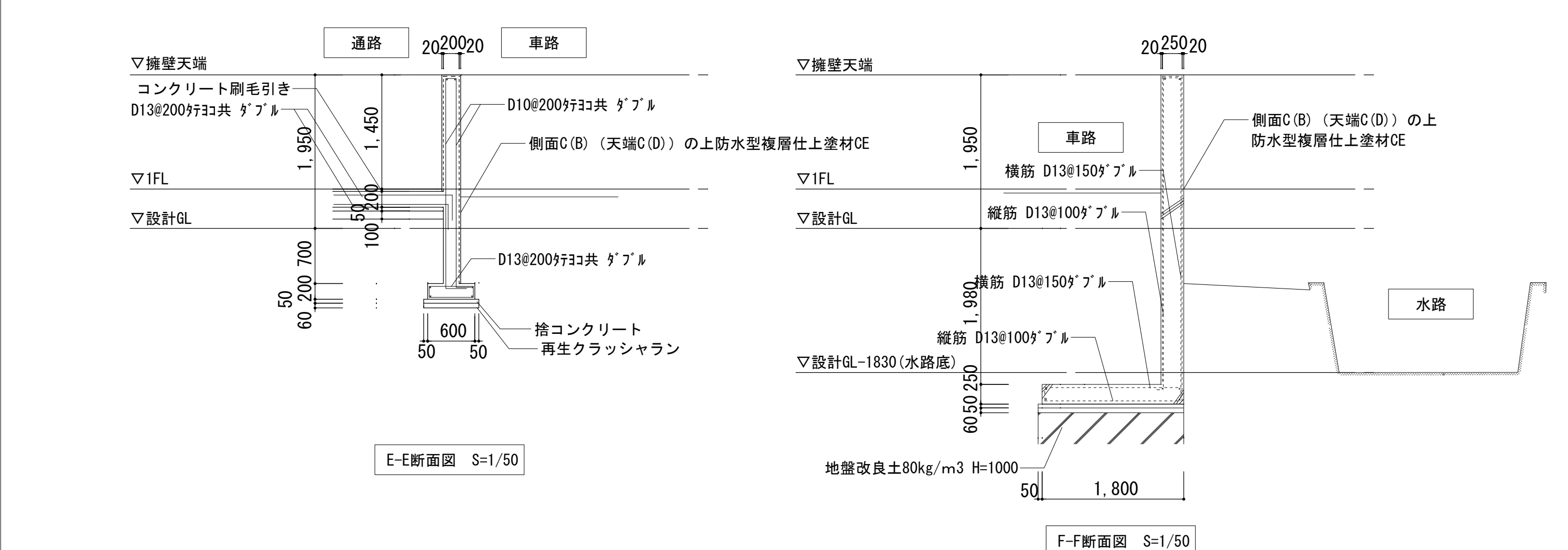
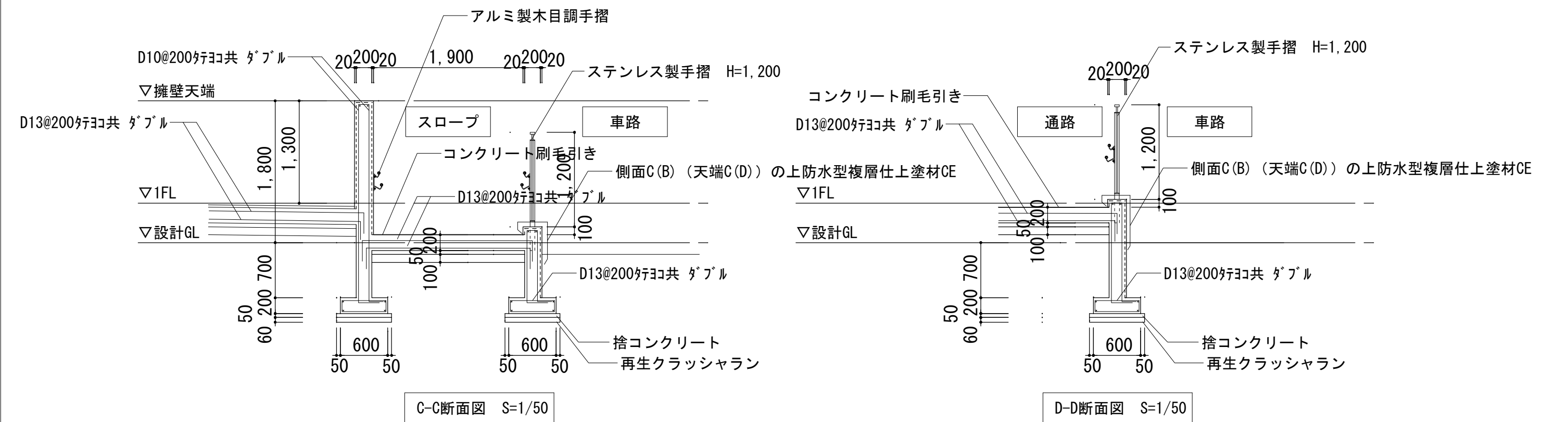
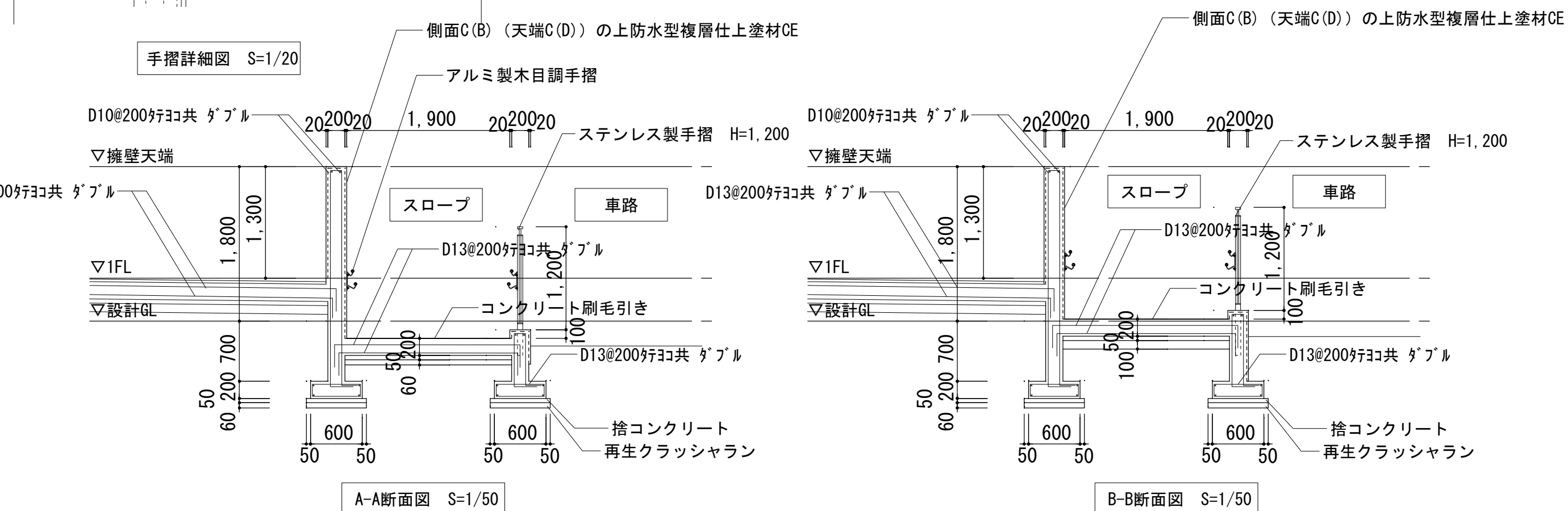
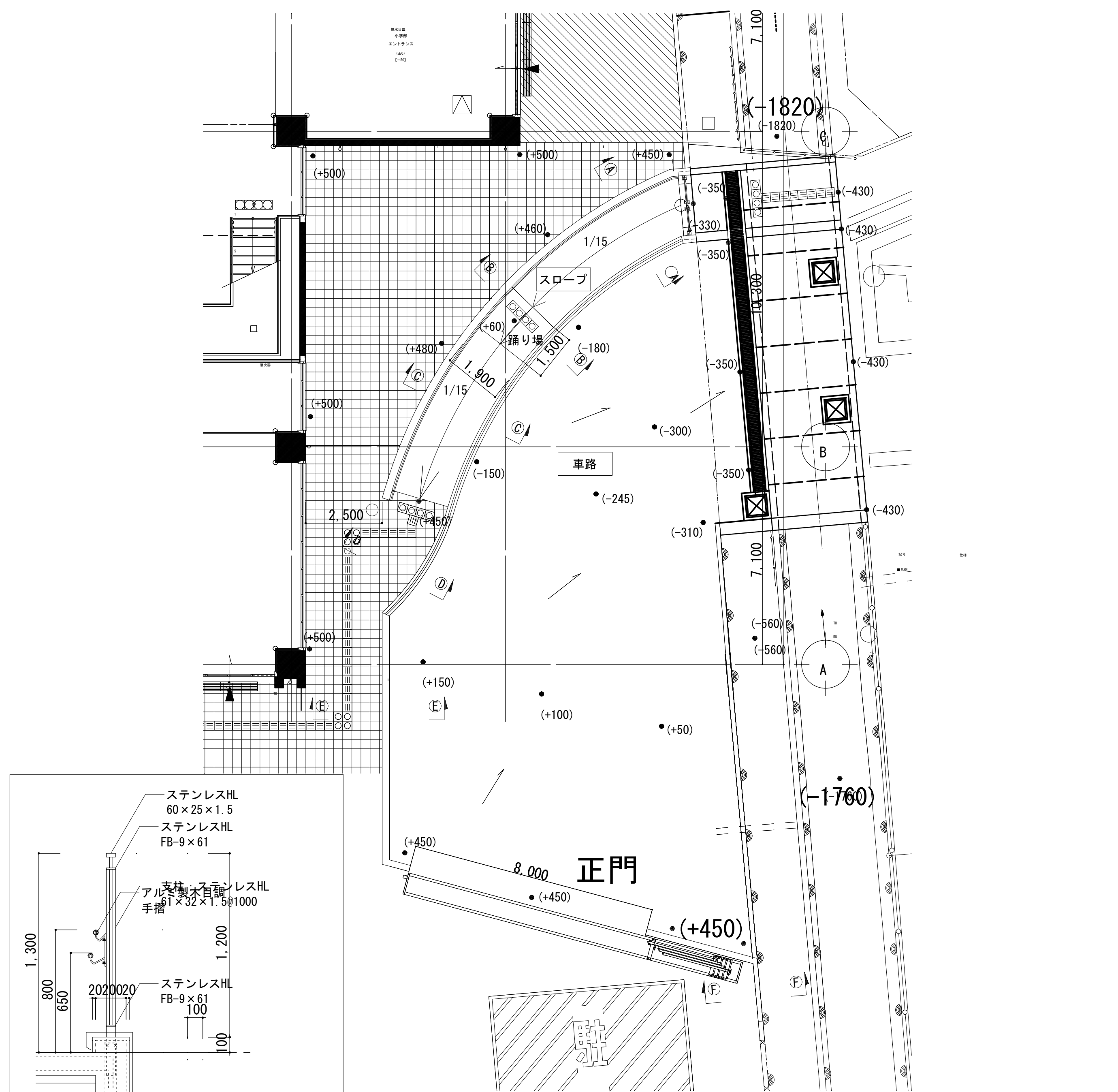
※基礎工事で地山を荒した箇所は十分な締固め若しくは地盤改良を行うこと。

徳島県土整備部営繕課	●工事名 R6 営繕 国府支援学校 徳・国府 外構他工事	●図面番号 A-225	株式会社 あい設計 四国支社 一級建築士事務所 一級建築士事務所 愛媛県知事登録 第3099号 一級建築士 大臣登録 第218291号 津田 孝二
	●図面名 外構詳細図(9)	●縮尺 図示	

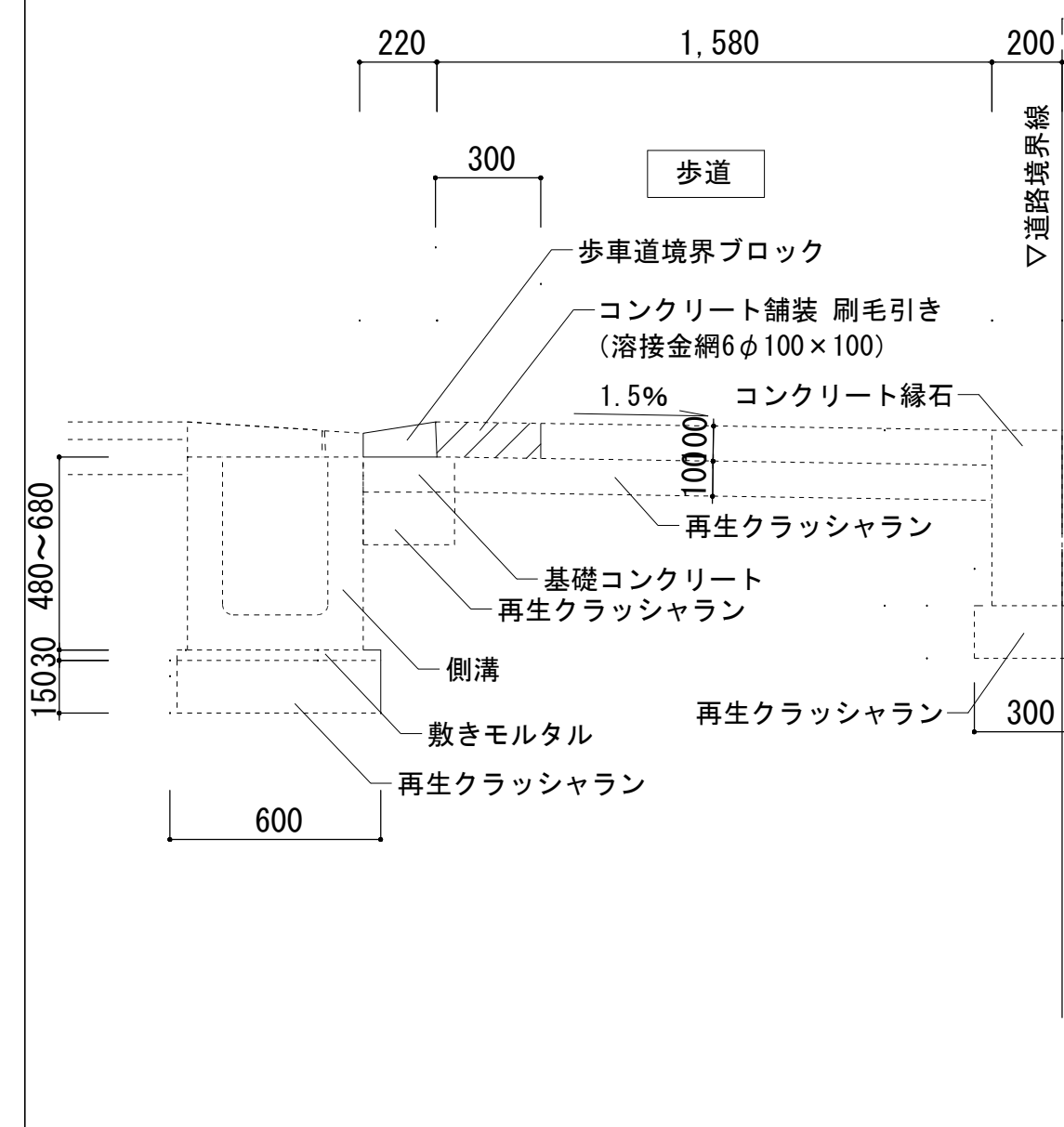
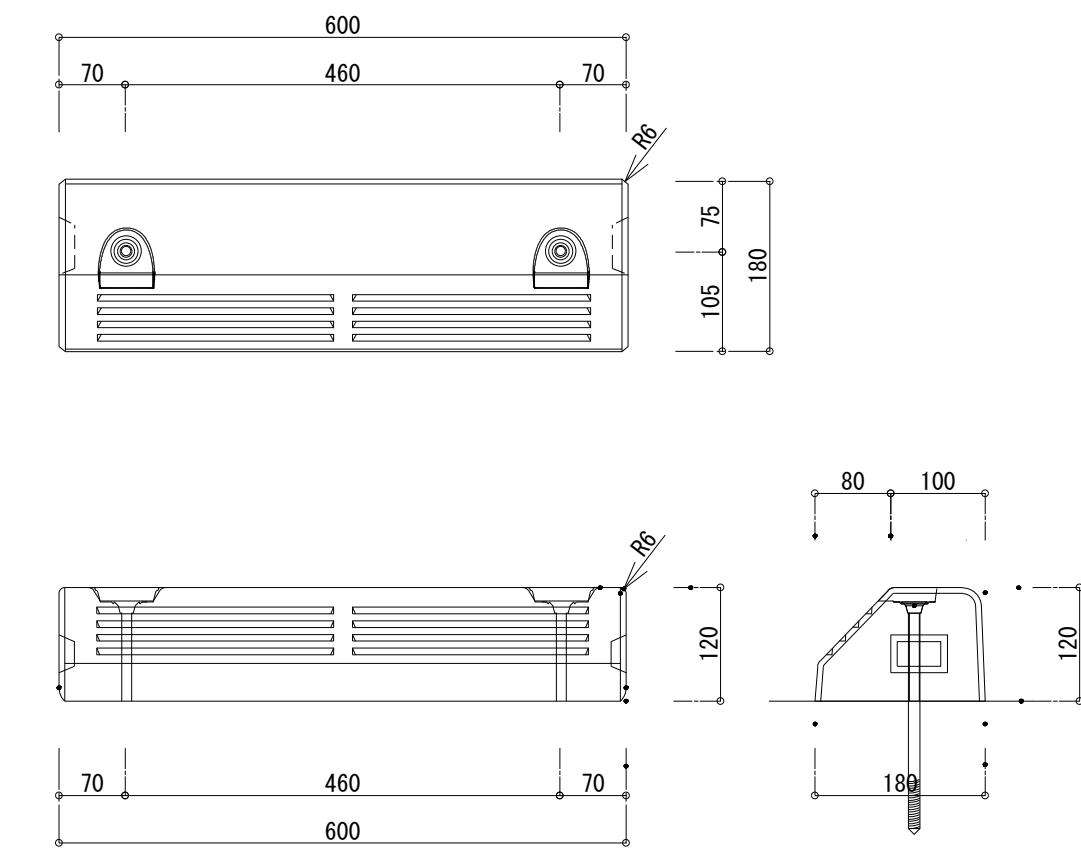
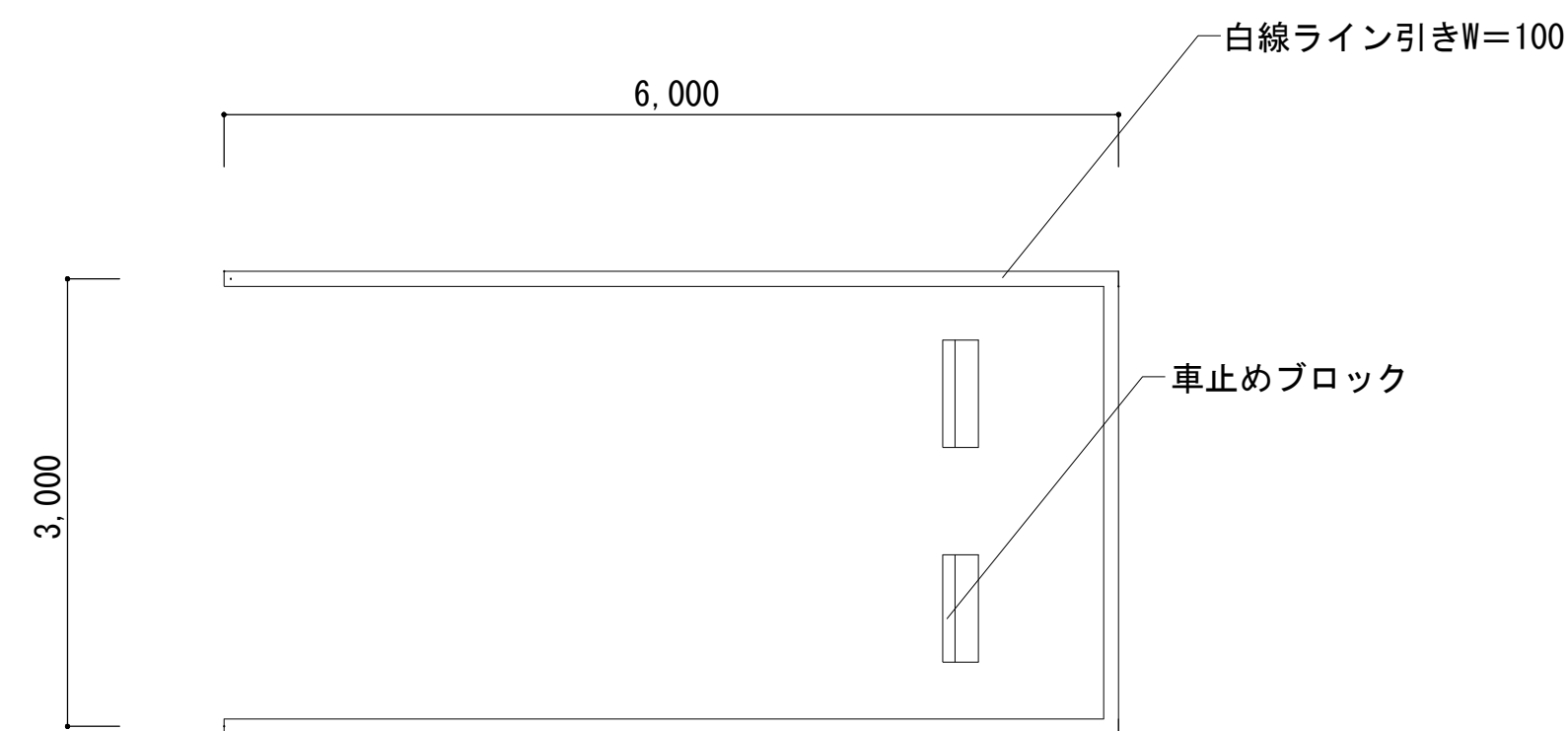
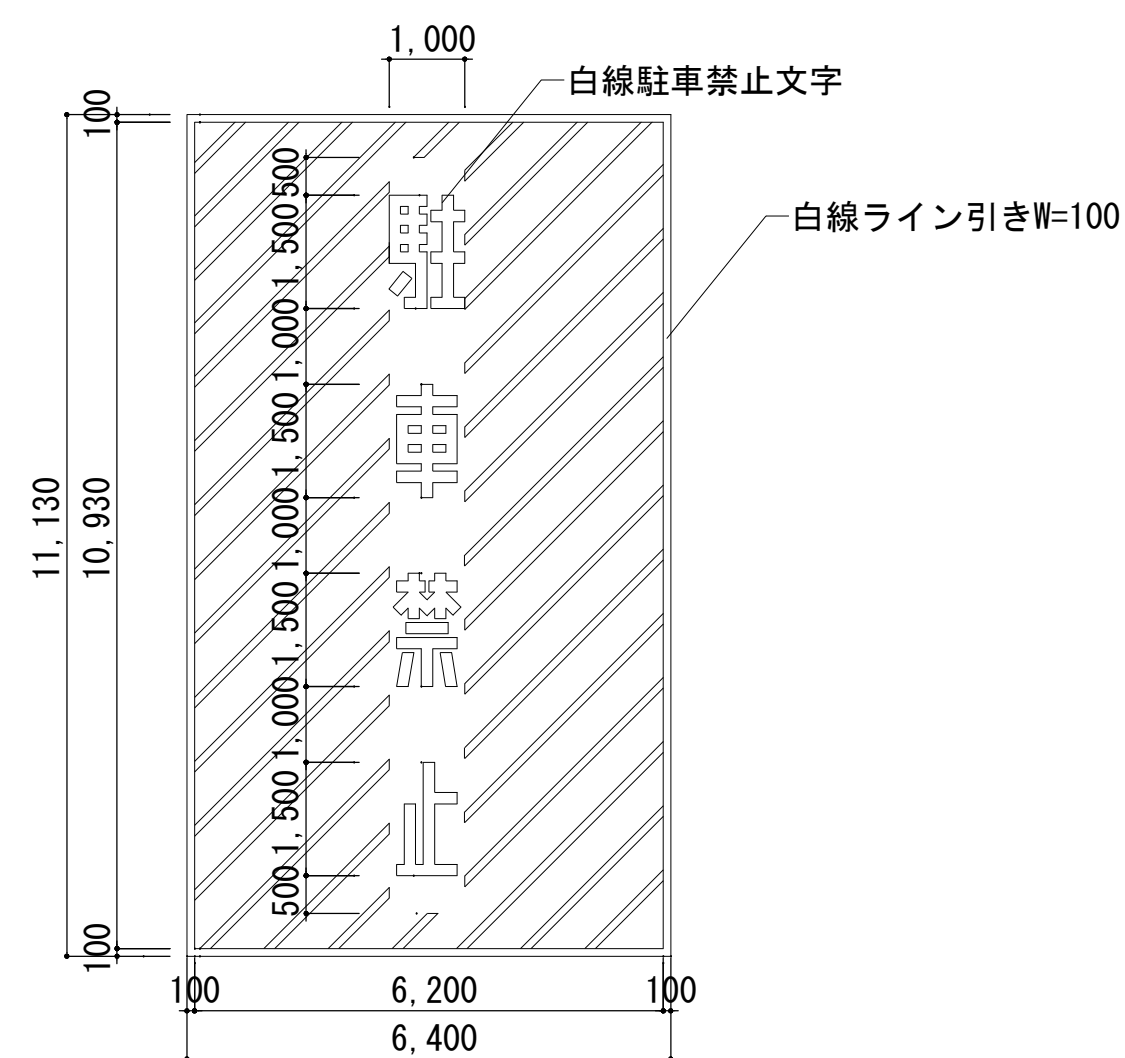


※基礎工事で地山を荒した箇所は十分な締固め若しくは地盤改良を行うこと。

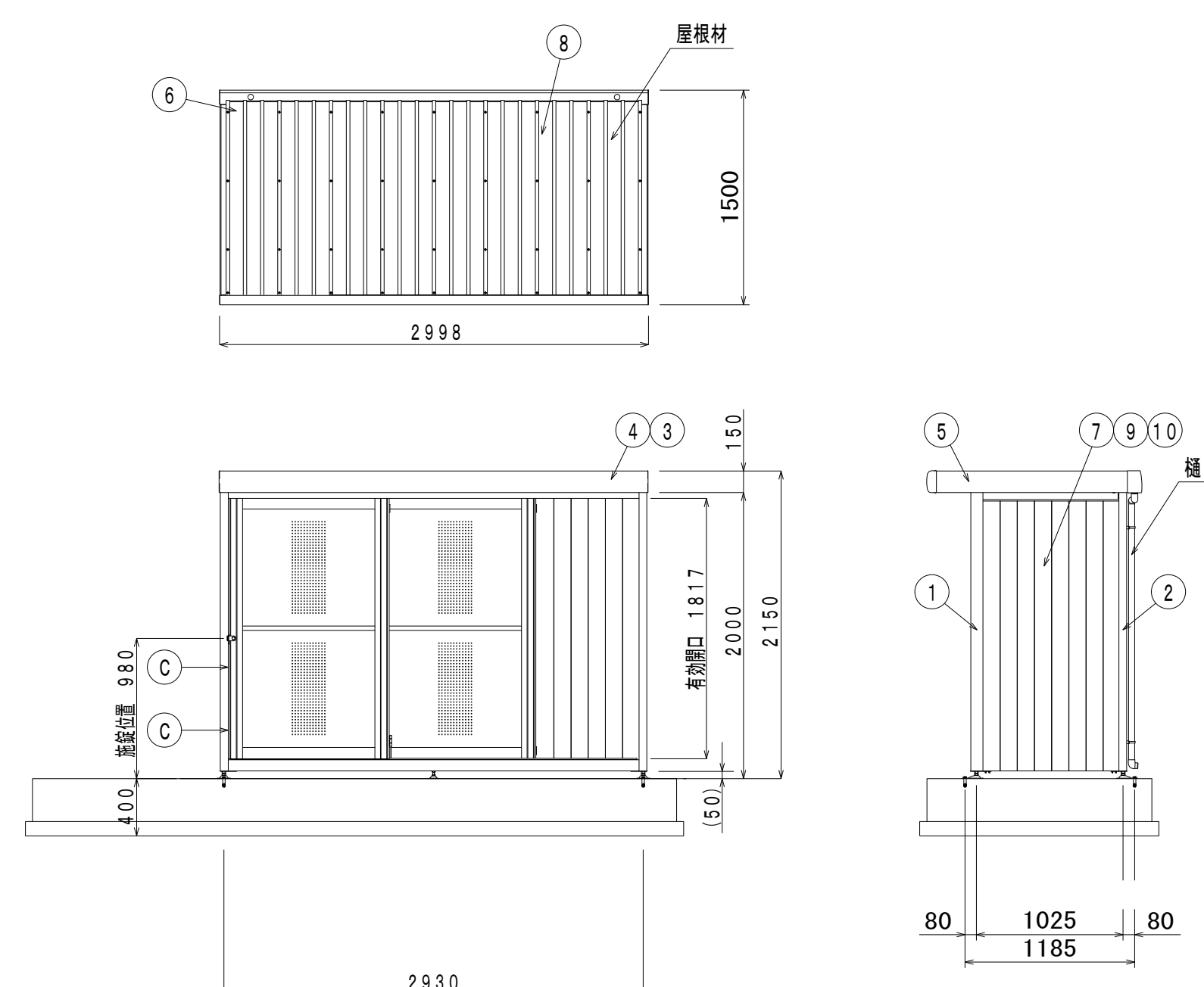
徳島県土整備部営繕課 R6 営繕 国府支援学校 徳・国府 外構他工事	●工事名 R6 営繕 国府支援学校 徳・国府 外構他工事 ●図面名 外構詳細図(10)	●図面番号 A-226 ●縮尺 図示	株式会社 あい設計 四国支社 一級建築士事務所 一級建築士事務所 愛媛県知事登録 第3099号 一級建築士 大臣登録 第218291号 津田 孝二
---------------------------------------	--	-----------------------------	---



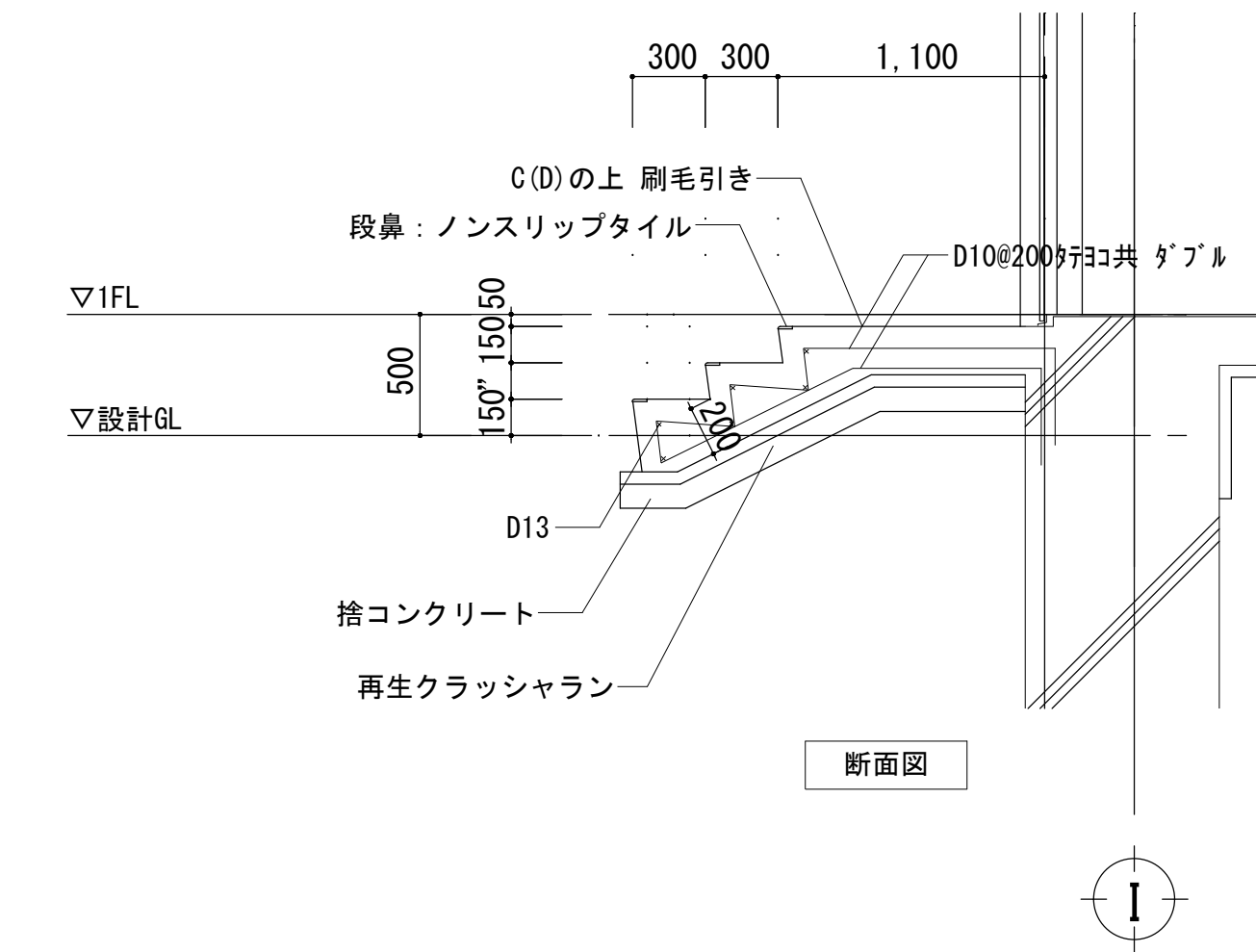
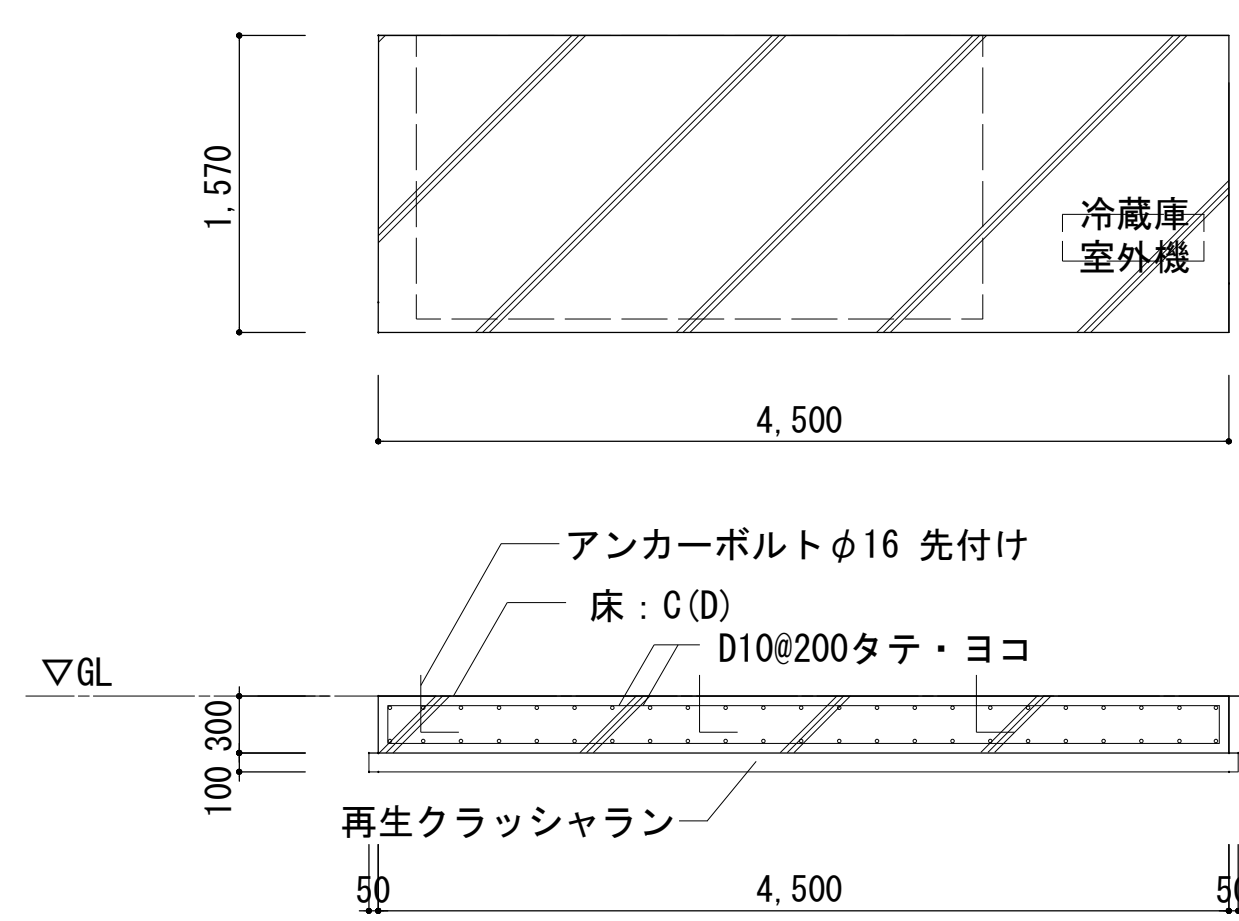
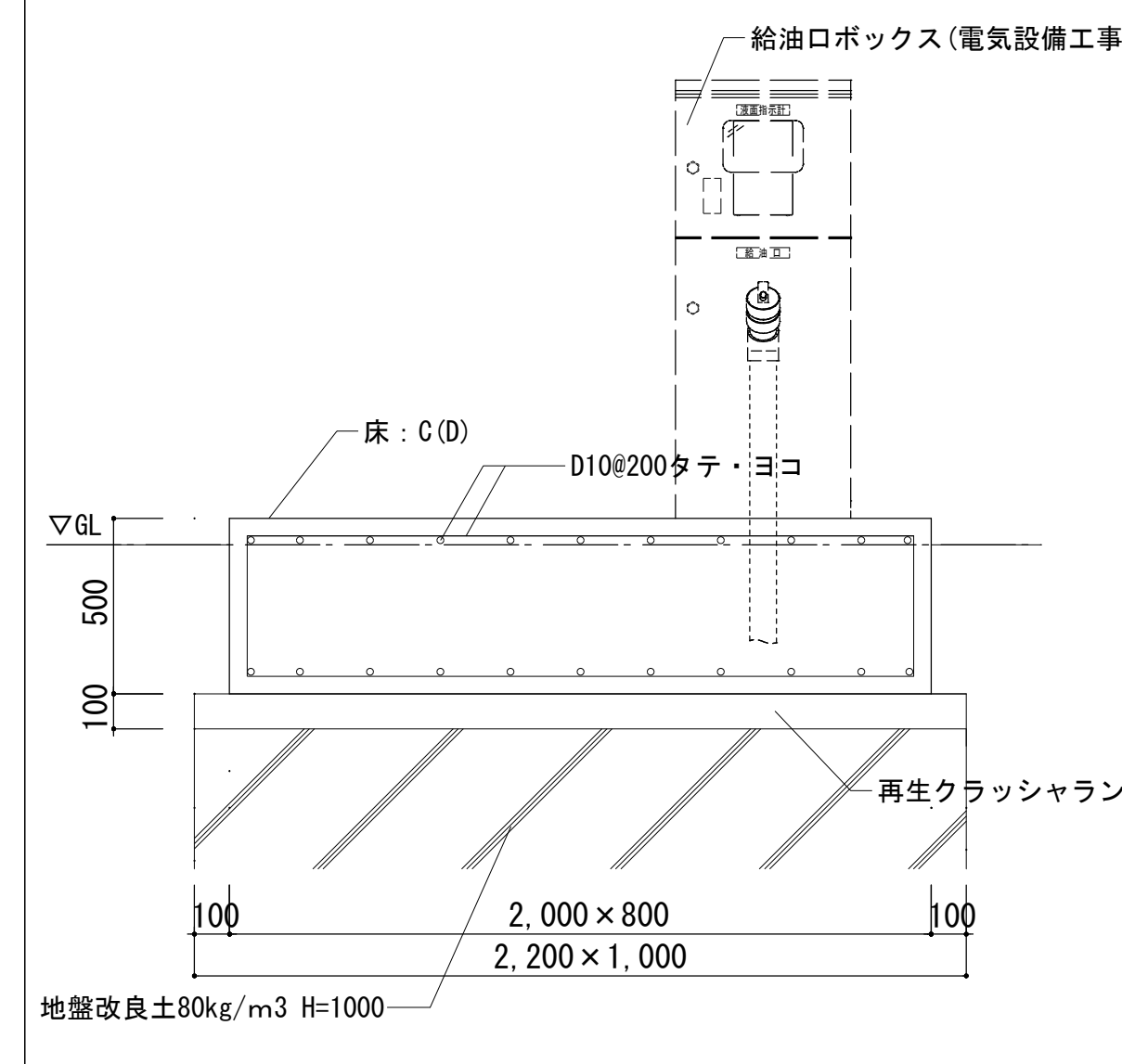
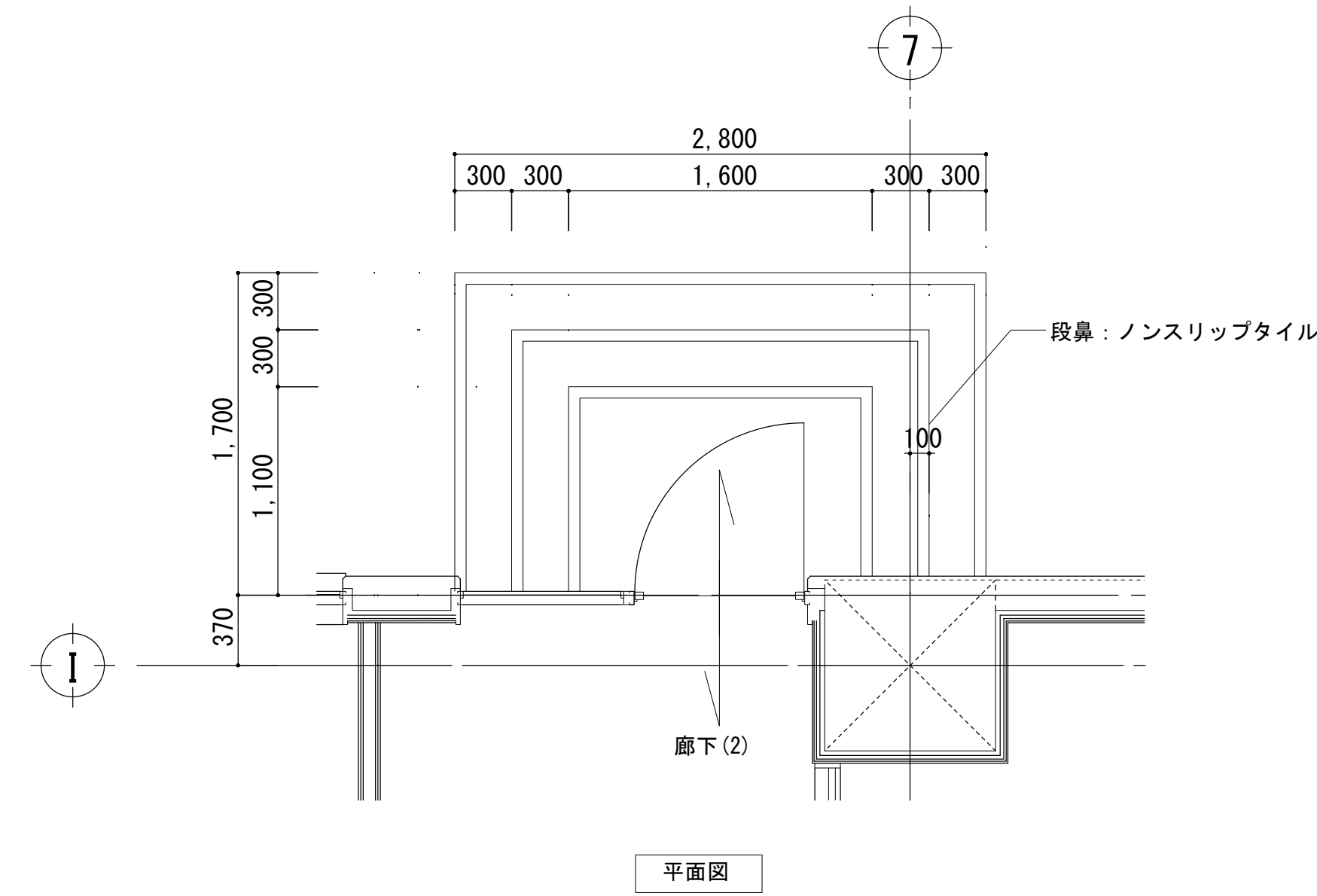
徳島県土整備部営繕課	●工事名 R6 営繕 国府支援学校 徳・国府 外構他工事	●図面番号 A-227	株式会社 あい設計 四国支社 一級建築士事務所 一級建築士事務所 愛媛県知事登録 第3099号 一級建築士 大臣登録 第218291号 津田 孝二
	●図面名 外構詳細図(11)	●縮尺 図示	



据付図 (S=1/40)



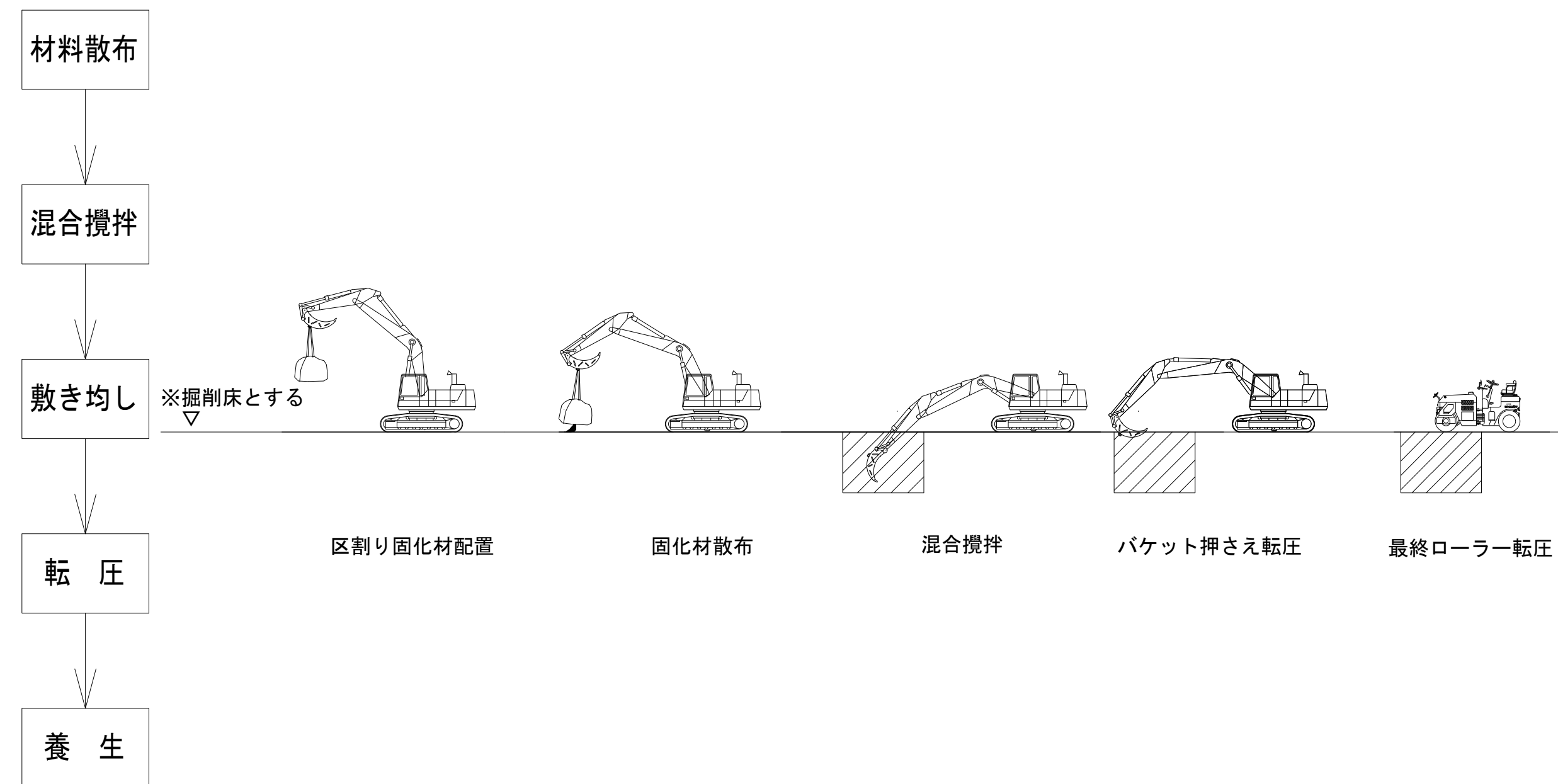
ボルト・ナット類	ステンレス (SUS)
組立金具類	冷間圧延鋼板
戸車	格-冷間圧延鋼板 ジンクロメート 車-6ナイロン、ステンレスリング巻き
錠受板	ステンレス (SUS304) ヘアライン
差込錠	ZDC (亜鉛ダイキャスト) クロームメッキ
パンチング板	アルミ樹脂複合板
屋根材	亜鉛・アルミメッキ鋼板「ガルタイト」 ポリエスチレン樹脂樹脂塗膜 (ステンカラー)
⑩ パネルB	アルミ押出形材 腐蝕防止・塗装複合皮膜
⑨ パネルA	アルミ押出形材 腐蝕防止・塗装複合皮膜
⑧ 屋根受け	アルミ押出形材 腐蝕防止・塗装複合皮膜
⑦ 胴縁	アルミ押出形材 腐蝕防止・塗装複合皮膜
⑥ 桁 C	アルミ押出形材 腐蝕防止・塗装複合皮膜
⑤ 桁 B	アルミ押出形材 腐蝕防止・塗装複合皮膜
④ 桁 A	アルミ押出形材 腐蝕防止・塗装複合皮膜
③ 正面水切り	アルミ押出形材 腐蝕防止・塗装複合皮膜
② 支柱 (後)	アルミ押出形材 腐蝕防止・塗装複合皮膜
① 支柱 (前)	アルミ押出形材 腐蝕防止・塗装複合皮膜
主要部材	仕様 (材質・塗装)



表層改良工法特記仕様書

1 工法概要

本工法は現地盤土とセメント系固化材とをバックホウで混合し、所要の強度を有する改良体を造成する工法である。



2 一般事項

本工事は、本特記仕様書によるほか、「2018年版 建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針 平成30年11月」（財）日本建築センターによる。

改良厚さ、土量、位置および固化材の配合等は、土質や地盤状況により変更することがある。本工事に先立ち、施工計画書を提出し監督員の承認を得るものとする。施工計画書には次の事項を明記する。

- (1) 工事内容（改良厚さ、土量、位置、設計基準強度等）
- (2) 工程表
- (3) 施工方法（仕様固化材、配合量等）
- (4) 施工機械
- (5) 施工管理方法
- (6) 品質管理方法
- (7) 安全管理方法
- (8) 請負業者の本工事責任者名
- (9) 本工事施工業者名および施工責任者名

3 特記事項

- (1) 改良厚さ、位置等は設計図による。
- (2) 改良体の設計基準強度：Fc=150.0kN/m
- (3) 必ず事前に配合試験を行い配合量の妥当性を確認する。

4 固化材配合量

- (1) 固化材
特殊土用セメント系固化材
- (2) 推定配合
1) 固化材量：80kg/m³

（上記配合は推定値であり、実施工における配合は、室内配合試験により決定する。）

5 施工機械

- (1) 施工機械本体は、改良厚さに見合った掘削、混合能力を有すること。

6 施工

- (1) 施工
改良対象地盤にマーキングしできあがった升目に改良材を散布する。
混合した改良土は、状況を見てできるだけ早期に転圧を行う。
改良土は、転圧完了後所定の強度を得るまで養生する。
施工に対して疑義が生じた場合は、直ちに監督員と協議し、その指示を受ける。
施工精度を満足しない場合は、監督員と協議しその指示を受け適切な処置をする。

7 施工管理

施工過程における管理方法は次の通りとする。

- (1) 固化材散布量
マーキングに基づき1tフレコンを所定面積内に均一に散布する。
- (2) 改良厚さ
混合中に機械を止めて、改良厚さをスタッフ等により測定する。
改良厚さは、1層当り1.00m以下とする。
- (3) 混合程度
固化材と改良対象土の色むらがなくなるまで混合する。

8 報告

工事完了後、次の事項について報告書をまとめて 部を監督員に提出する。

- (1) 施工日報（改良厚さ、位置、土量、配合量、固化材使用量等）
- (2) 固化材散布量、改良厚さの状況写真
- (3) 管理試験結果

9 管理試験

- (1) 一軸圧縮試験
1) 現場採取供試体
500m³につき1ヶ所改良土を採取し、寸法φ5cm×10cmの供試体を 3個/箇所作成し、一軸圧縮試験を行う。
2) 材令28日で各箇所の圧縮強度の平均値が設計基準強度を上回ること。
- (2) 六価クロム溶出試験
国土交通省 国官技第16号、国営建第1号（平成13年4月20日） 「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験要領（案）」による六価クロム溶出試験を実施し試験結果を提出するものとする。

事前配合試験段階 1検体

【注記】

本仕様書における施工要領は参考であり、採用する地盤改良材製造者の標準的な施工要領により施工すること。

徳島県土整備部営繕課	●工事名 R6 営繕 国府支援学校 徳・国府 外構他工事	●図面番号 A-229	株式会社 あい設計 四国支社 一級建築士事務所 一級建築士事務所 愛媛県知事登録 第3099号 一級建築士 大臣登録 第218291号 津田 孝二
	●図面名 表層地盤改良仕様書	●縮尺 A1:- A3:-	